

PaperStream NX Manager 2.6

ユーザーズガイド

目次

はじめに	7
マニュアルの種類	7
商標および登録商標	9
開発・販売元	9
発行日・発行責任	10
ハイセイフティ用途での使用について	10
本書での略記	10
連続する操作の表記	11
本書に掲載している画面	11
お願い	12
お使いになる前に	13
概要	13
特長	14
主な機能	14
システム構成	18
動作環境	20
導入～運用までの流れ	25
導入	26
NX Manager をインストールする	26
証明書をインポートする（HTTPS の場合）	28
ファイアウォールの設定を変更する	29
Web API 連携、Web Scan 連携の認証機能で使用するユーザーを設定する	30
ユーザーを作成する（「ローカルユーザーとグループ」画面の場合）	31
ユーザーを作成する（コマンドプロンプトの場合）	31
ユーザーをグループに追加する（「ローカルユーザーとグループ」画面の場合）	31
ユーザーをグループに追加する（コマンドプロンプトの場合）	32
設定	33
NX Manager にログインする	33
NX Manager の環境設定をする	35
認証方式を設定する	36

ユーザーを登録する	37
スキャナーを登録する	39
スキャナーの情報をインポートする（「CSV ファイル」の場合）	39
スキャナーの情報をインポートする（「ローカルネットワーク検索」の場合）	41
スキャナーを 1 台登録する	43
スキャナーをまとめて登録する	45
ジョブ設定の流れを知る	46
ジョブを設定する	48
ジョブを新規作成する	48
ジョブを参照作成する	50
ジョブを編集する	52
ジョブを削除する	54
ジョブを絞り込む	55
ジョブグループを設定する	56
ジョブグループを新規作成する（認証方式が「認証なし」または「ジョブグループコード」の場合）	56
ジョブグループを新規作成する（認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、または「ユーザー名 ／パスワードまたは NFC」の場合）	63
ジョブグループを新規作成する（認証方式が「スキャナー」の場合）	70
ジョブグループを参照作成する	78
ジョブグループを編集する	81
ジョブグループを削除する	82
IC カードを登録する	83
運用	85
スキャナーでジョブを実行する	85
スキャナーを管理する	86
スキャナーを確認する	87
スキャナーを削除する	87
スキャナーをまとめて削除する	88
スキャナーを絞り込む	88
スキャナーを交換する	89
ユーザーを管理する	90
ユーザーを確認する	90
ユーザーを絞り込む	90
ユーザーを削除する	91
ユーザーの IC カードを削除する	92
ユーザーまたはユーザーの IC カードをまとめて削除する	93
ユーザーを更新する（Active Directory）	94
プロフィールを管理する	95

プロフィールを確認する	95
プロフィールをインポートする	96
プロフィールを削除する	97
プロフィールを絞り込む	98
ステータスを確認する	99
読み取り状況を監視する	100
読み取り状況を確認する	100
読み取り状況をエクスポートする	101
読み取り状況の状態をエラーから確認済みにする	102
読み取り状況を絞り込む	103
バッチを再試行する	104
バッチを削除する	105
イベントログを管理する	106
イベントログを確認する	106
イベントログをエクスポートする	107
イベントログをクリアする	108
イベントログの種別をエラーから確認済みにする	109
イベントログを絞り込む	110
NX Manager にログインするときのパスワードを変更する	111
保守	113
NX Manager に関するデータを退避・復元する	113
NX Manager に関するデータを退避する	113
NX Manager に関するデータを復元する	114
NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する	114
NX Manager の Database に関するデータを退避する	114
NX Manager の Database に関するデータを復元する	115
NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する（簡易ツール）	115
NX Manager の Database に関するデータを退避する（簡易ツール）	116
NX Manager の Database に関するデータを復元する（簡易ツール）	116
NX Manager の保守情報を採取する	117
画面	119
ログインの画面	119
NX Manager の管理者用 Web 画面の共通項目	119
「パスワード変更」画面	120
スキャナー	120

「スキャナー一覧」画面	120
「スキャナーのインポート」画面	122
「スキャナーの登録」画面	124
認証	125
「認証一覧」画面	125
「認証の新規作成(1/2)」画面	125
「認証の新規作成(2/2)」画面	130
設定した認証方式に紐付けるスキャナーを選択する画面	130
「認証編集」画面	131
「認証参照」画面	135
「Active Directory 接続テスト」画面/「Active Directory 接続」画面	138
ジョブ	138
「ジョブ一覧」画面	138
「ジョブの新規作成」画面/「ジョブの編集」画面	139
「カウンタ設定」画面	167
ジョブグループ	168
「ジョブグループ一覧」画面	168
「ジョブグループの新規作成 (1/2)」画面/「ジョブグループの新規作成 (1/3)」画面	169
「ジョブグループの新規作成 (2/2)」画面/「ジョブグループの新規作成 (2/3)」画面	170
「ジョブグループの新規作成 (3/3)」画面	172
「ジョブグループ参照作成」画面/「ジョブグループ編集」画面	174
「階層の編集」画面	177
「ジョブグループ参照」画面	178
ジョブグループにジョブを追加する画面	179
ジョブグループにユーザーを追加する画面	180
ジョブグループにスキャナーを追加する画面	181
ユーザー	182
「ユーザー一覧」画面	182
NX Manager にユーザーを追加する画面	185
「プロファイル一覧」画面	186
「ステータス」画面	187
バッチログ	189
「バッチログ一覧」画面	189
「バッチログ詳細」画面	192
イベントログ	193
「イベントログ一覧」画面	193
「イベントログ詳細」画面	194
「設定」画面	196
「コネクター設定」画面	203

「情報」画面	203
付録	204
メッセージ一覧	204
NX Manager の管理者用 Web 画面に表示されるバッチログのメッセージ	204
NX Manager の管理者用 Web 画面に表示されるイベントログのメッセージ	207
NX Manager に関するデータの退避・復元コマンドのメッセージ	214
NX Manager の Database に関するデータの退避・復元コマンドのメッセージ	218
Windows Server のイベントログのメッセージ	221
ジョブ/ジョブグループの仕様	224
インデックスファイルの仕様	225
PaperStream IP ドライバーのプロファイルの動作仕様	229
画像ファイルの仕様	231
バーコードの仕様	232
異常通知メールの仕様	236
バッチログ通知メールの仕様	237
NX Manager を移行する	238
NX Manager をアップグレードする	239
NX Manager をアンインストールする	240
一時的にスキャナーをコンピューターに接続して使用する	240
コンピューターとの接続（USB 接続）に切り替える [fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270]	241
コンピューターとの接続（USB 接続）に切り替える [fi-8150/fi-8250]	241
SMTP サーバーの認証方式に「Exchange Online OAuth 2.0 認証」を使用する	241

はじめに

このたびは、PaperStream NX Manager をご利用いただき、誠にありがとうございます。

本書では、本製品の概要、導入、設定、運用、保守、画面、トラブル対処について説明しています。

本書の内容は、本製品のアップグレードに伴い、変更になる場合があります。

最新の PaperStream NX Manager ユーザーズガイドは、次のホームページからダウンロードできます。

ダウンロードするには、インターネットに接続する環境が必要です。

<https://www.pfu.ricoh.com/fi/manual/software.html>

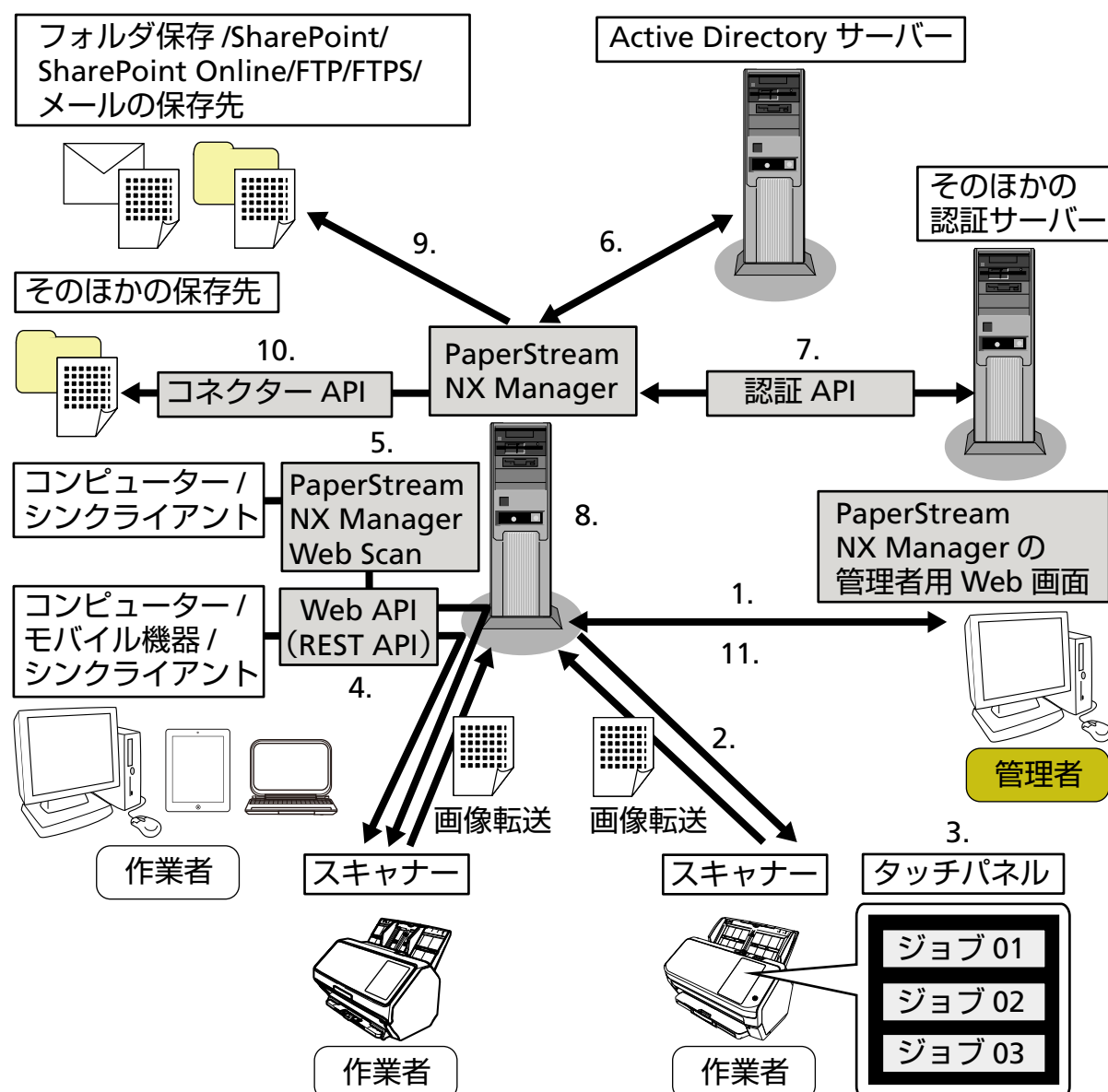
マニュアルの種類

本製品には、次のマニュアルが用意されています。

必要に応じてお読みください。

マニュアル	内容
PaperStream NX Manager ユーザーズガイド（本書）（HTML/PDF）	本製品の概要、導入方法、設定方法、運用方法、保守方法、画面項目を説明しています。
	最新の PaperStream NX Manager ユーザーズガイドは、次のホームページからダウンロードできます。
	ダウンロードするには、インターネットに接続する環境が必要です。
	https://www.pfu.ricoh.com/fi/manual/software.html
PaperStream NX Manager Web Scan ユーザーズガイド（HTML/PDF）	本製品で提供している PaperStream NX Manager Web Scan の概要、操作方法、画面項目について説明しています。
	最新の PaperStream NX Manager Web Scan ユーザーズガイドは、次のホームページからダウンロードできます。
	ダウンロードするには、インターネットに接続する環境が必要です。
	https://www.pfu.ricoh.com/fi/manual/software.html
PaperStream NX Manager SDK リファレンスガイド（PDF）	本製品で提供している SDK の概要、開発環境、システム設計、使用方法、API リファレンス、トラブル対処について説明しています。
	PaperStream NX Manager SDK リファレンスガイドの入手方法については、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。
	株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

機能/読み取り方法に応じて、次のマニュアルを参照してください。



機能/読み取り方	参照マニュアル
1.ジョブ機能（ジョブ設定）（*1）	PaperStream NX Manager ユーザーズガイド
2.ジョブ機能（ジョブ配信）	
3.スキャナーのタッチパネルまたは操作パネルから読み取り実行（プッシュスキャン）（コンピューター不要）	
4.コンピューター/モバイル機器/シンククライアントから読み取り実行（プルスキャン）（Web API（REST API）連携）（*2）	PaperStream NX Manager SDK リファレンスガイド
5.コンピューター/シンククライアントから読み取り実行（プルスキャン）（PaperStream NX Manager Web Scan 連携）（*3）	PaperStream NX Manager Web Scan ユーザーズガイド

機能/読み取り方	参照マニュアル
	PaperStream NX Manager SDK リファレンスガイド
6.ユーザー認証機能（Active Directory 連携）	PaperStream NX Manager ユーザーズガイド
7.ユーザー認証機能（認証 API 連携）	PaperStream NX Manager SDK リファレンスガイド
8.画像処理機能	PaperStream NX Manager ユーザーズガイド
9.リリース機能（標準コネクタ連携）	
10.リリース機能（コネクタ API 連携）	PaperStream NX Manager SDK リファレンスガイド
11.読み取り状況監視機能	PaperStream NX Manager ユーザーズガイド

*1：検索可能な PDF にする機能をオプションとして用意しています。

オプションの詳細は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。

株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

*2：Web API（REST API）連携では、Web API（REST API）を使用してユーザーアプリケーションを作成することで、コンピューター/モバイル機器/シンクライアントから読み取りを実行できます。

fi-8040 は未サポートです。

*3：PaperStream NX Manager Web Scan 連携では、ユーザーアプリケーションを作成することなく、コンピューター/シンクライアントから読み取りを実行できます。fi-8040 は未サポートです。

商標および登録商標

Google および Google Chrome は、Google LLC.の商標または登録商標です。

PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標です。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発・販売元

株式会社 PFU

〒220-8567

神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5（横浜アイマークプレイス）

発行日・発行責任

発行日 2025 年 8 月
 発行責任 株式会社 PFU
 © PFU Limited 2018-2025

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

本書での略記

本書では、次の名称について省略して記載しています。

名称	本文中の表記
Windows® 10 Home (32/64 ビット) Windows® 10 Pro (32/64 ビット) Windows® 10 Enterprise (32/64 ビット) Windows® 10 Education (32/64 ビット)	Windows 10 (*1)
Windows Server® 2016 Standard (64 ビット)	Windows Server 2016 (*1) (*2)
Windows Server® 2019 Standard (64 ビット)	Windows Server 2019 (*1) (*2)
Windows Server® 2022 Standard (64 ビット)	Windows Server 2022 (*1) (*2)
Windows Server® 2025 Standard (64 ビット)	Windows Server 2025 (*1) (*2)
Windows® 11 Home (64 ビット) Windows® 11 Pro (64 ビット) Windows® 11 Enterprise (64 ビット) Windows® 11 Education (64 ビット)	Windows 11 (*1)
PaperStream IP (TWAIN) PaperStream IP (TWAIN x64)	PaperStream IP ドライバー
Microsoft® SharePoint® Server 2016	SharePoint Server (*3)

名称	本文中の表記
Microsoft® SharePoint® Server 2019	
Microsoft® SharePoint® Online	SharePoint Online (*3)
Microsoft® .NET Framework	.NET Framework
Microsoft® Internet Information Services	IIS
Microsoft® SQL Server™ 2017 Express Edition (64 ビット) Microsoft® SQL Server™ 2019 Express Edition (64 ビット) Microsoft® SQL Server™ 2022 Express Edition (64 ビット)	SQL Server (*4)
Active Directory™	Active Directory
Google Chrome™	Google Chrome
PaperStream NX Manager	NX Manager
PaperStream NX Manager Database	NX Manager Database
PaperStream NX Manager Web Scan	Web Scan
Web API (REST API)	Web API

*1：すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、「Windows」と表記しています。

*2：Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows Server 2022、および Windows Server 2025 を区別しないで使用する場合は、「Windows Server」と表記しています。

*3：SharePoint Server および SharePoint Online を区別しないで使用する場合は、「SharePoint」と表記しています。

*4：エディションを区別しないで使用する場合は、「SQL Server」と表記しています。

連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

例：スタート画面を右クリックし、アプリバーの「すべてのアプリ」→「Windows システムツール」の「コントロール パネル」をクリックします。

本書に掲載している画面

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考に、実際の画面に従って操作してください。

本書では、Windows 10 の画面を例に説明しています。オペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。また、ソフトウェアをアップデートすると、本書で掲載している画面お

よび操作が異なることがあります。その場合は、アップデートするときに提供されるマニュアルを参照してください。

お願い

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

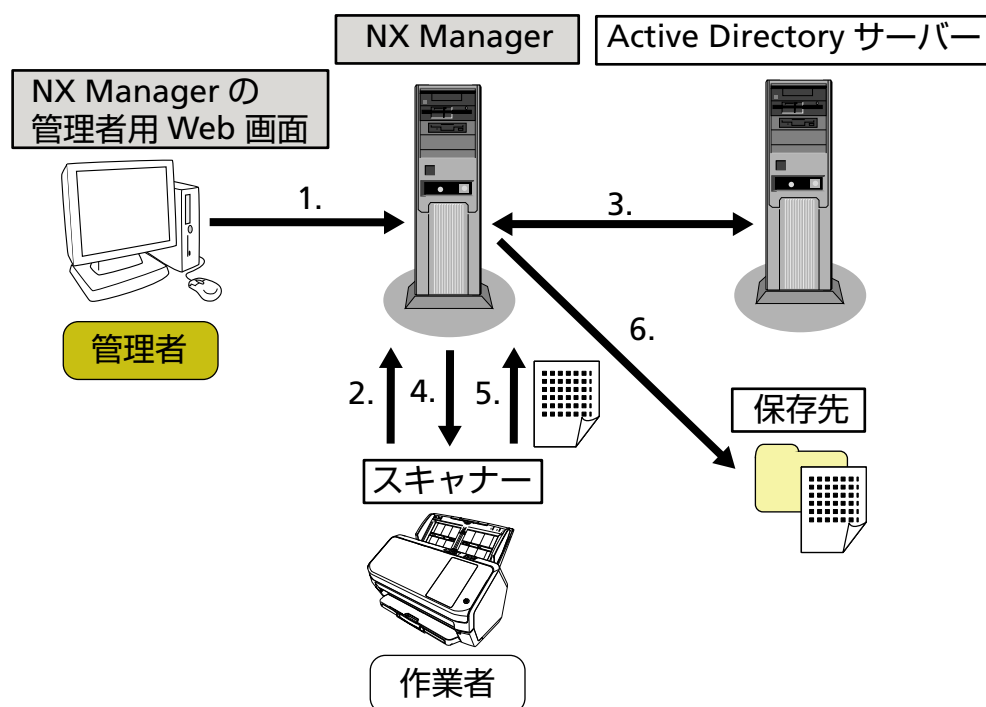
お使いになる前に

ここでは、NX Manager の概要、特長、主な機能などのお使いになる前に知っておく必要がある情報について説明します。

概要

NX Manager は、当社スキャナーを管理対象として登録することで、作業者に応じた読み取りをスキャナー単体で実行できるようにするアプリケーションです。

管理対象として登録できる当社スキャナーについては、NX Manager の readme (*1) を参照してください。概要図について、ユーザー名およびパスワードで認証し Active Directory を使用する場合を例に説明します。



- 1 管理者は、NX Manager の管理者用 Web 画面でユーザーに応じた読み取りを設定します。
- 2 作業者は、スキャナーにログインします (NX Manager にユーザー情報を通知します)。
- 3 NX Manager は、通知されたユーザー情報を Active Directory サーバーでユーザー認証します。
- 4 NX Manager は、ユーザーに応じた読み取りをスキャナーに配信します。
スキャナーには、ユーザーに応じた読み取りメニューが表示されます。
- 5 作業者は、表示された読み取りメニューに従って読み取りを実行します (画像を NX Manager に転送します)。
- 6 NX Manager は、画像を保存先に保存します。

*1 : NX Manager の readme は、NX Manager が公開されているホームページから参照できます。

特長

NX Manager の特長については、次のとおりです。

- **作業者に応じた読み取りを実現**

作業者に応じた読み取りメニューが表示されるため、作業者は表示された読み取りメニューに従って定型の読み取り業務を簡単に実行できます。

- **画像を環境に応じた保存先に保存**

画像をフォルダーや SharePoint などの保存先に保存できます。

環境に応じて保存先を選択できます。

- **読み取り状況を監視**

NX Manager での画像処理状況を監視できます。

また、NX Manager での処理結果を履歴管理できます。

- **NX Manager で発生したエラーをメールで通知**

NX Manager で発生したエラー（バッチログまたはイベントログ）を管理者にメールで通知できます。管理者は通知されたメールを確認することで、NX Manager で発生したエラーに対して迅速に対応できます。

このメール通知を利用する運用は、既存のメールシステムを利用できるため、簡単に導入できます。

- **スキャナーを集中運用**

複数台のスキャナーを集中運用できます。

各拠点に点在するスキャナーに対して、作業者に応じた読み取りを配信できます。

各スキャナーから転送される画像を NX Manager で画像処理して、環境に応じた保存先に保存できます。

また、NX Manager での画像処理状況を監視できます。

主な機能

NX Manager の主な機能については、次のとおりです。

- **ユーザー認証機能**

ユーザー認証機能とは、スキャナーを使用するユーザーを特定する機能です。

認証方式によって、認証サーバーが必要となります。

標準機能で Active Directory サーバーを使用して、Active Directory 連携できます。

標準機能以外の認証サーバーを使用する場合は、認証 API による連携が必要となります。

認証方式と必要となる連携については、次のとおりです。

認証方式	説明	Active Directory 連携	認証 API による 連携
認証なし	認証なしでスキャナーを利用する方式です。	—	—
ジョブグループ コード	ジョブグループコードで認証する方式です。	—	—
ユーザー名／パス ワード	ユーザー名およびパスワードで認証する方式です。	○	○ (*3)
NFC	IC カード (*1) で認証する方式です。	○ (*2)	○ (*3)
ユーザー名／パス ワードまたは NFC	次のどちらかで認証する方式です。 ● ユーザー名およびパスワード ● IC カード (*1)	○ (*2)	○ (*3)
スキャナー	スキャナーで認証する方式です。	—	—

○：連携必要

—：連携不要

*1：NFC 認証には IC カードが必要になります。スマートフォンによる認証はできません。また、NFC 認証は Type-A [MIFARE]、Type-B、FeliCa に対応しておりますが、Type-A / FeliCa での認証時、暗号化されたブロックデータは使用できません。

*2：Type-A [MIFARE]および FeliCa に対応しています。Type-B には対応していません。

*3：PaperStream NX Manager SDK を使用した開発が必要です。

認証 API による連携の詳細は、PaperStream NX Manager SDK リファレンスガイドを参照してください。

また、スキャナーごとに認証方式が設定できます。

複数の機種のスキャナーを運用する場合も、スキャナーごとに認証方式を分けて運用できます。

各スキャナーで利用可能な認証方式については、[スキャナー \(23 ページ\)](#)を参照してください。

● ジョブ機能

ジョブ機能とは、作業者に応じた読み取りを設定し、スキャナーに配信する機能です。

作業者に応じた読み取り設定を「ジョブ」と呼びます。

複数のジョブは 1 個のジョブグループとしてグルーピングできます。

認証方式が「ジョブグループコード」の場合、グルーピングしたジョブグループをジョブグループコードに設定することで、ジョブグループとジョブグループコードが紐付けされ、ジョブグループコードに応じたジョブをスキャナーに配信できます。

認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合、グルーピングしたジョブグループにユーザーを追加することで、ジョブグループとユーザーが紐付けされ、ユーザーに応じたジョブをスキャナーに配信できます。

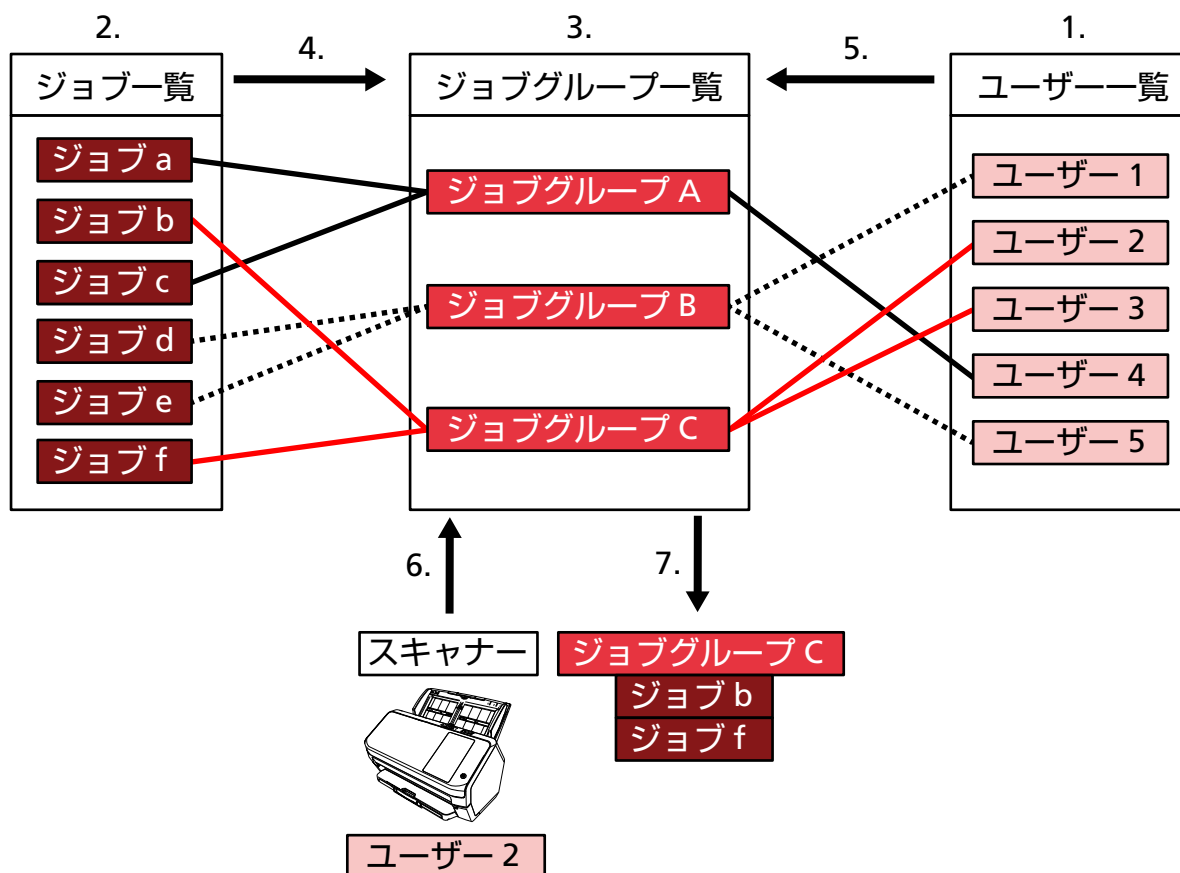
認証方式が「スキャナー」の場合、グルーピングしたジョブグループにスキャナーを追加することで、ジョブグループとスキャナーが紐付けされ、スキャナーに応じたジョブをスキャナーに配信できます。なお、ジョブグループの紐付けは、認証方式によって次のようになります。

認証方式	ジョブグループの紐付け	スキャナーの操作
認証なし	なし	スキャナーの電源を投入すると、ジョブが表示されます。
ジョブグループコード	ジョブグループコード	スキャナーのタッチパネルまたは操作パネルでジョブグループコードを入力すると、ジョブグループコードに応じたジョブが表示されます。
ユーザー名／パスワード	ユーザー(*1)	スキャナーのタッチパネルでユーザー名およびパスワードを入力すると、ユーザーに応じたジョブが表示されます。
NFC	ユーザー(*1)	スキャナーの非接触 IC カードリーダーに IC カードで認証すると、IC カードで認証したユーザーに応じたジョブが表示されます。
ユーザー名／パスワードまたは NFC	ユーザー(*1)	次のどちらかで認証すると、認証したユーザーに応じたジョブが表示されます。 ● ユーザー名およびパスワード ● IC カード
スキャナー	スキャナー	スキャナーの電源を投入すると、スキャナーに応じたジョブが表示されます。

*1：Active Directory 連携の場合、認証サーバーに登録されているグループもジョブグループに紐付けできます。

また、ジョブグループに階層を作成できるため、ジョブグループ内でジョブを分類して整理できます。作成できるジョブ数/ジョブグループ数などの仕様については、[ジョブ/ジョブグループの仕様 \(224 ページ\)](#)を参照してください。

ジョブ、ジョブグループ、ユーザーの関係図については、次のとおりです。



- 1 認証方式で「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」を選択します。
- 2 ジョブを作成します。
- 3 ジョブグループを作成します。
- 4 ジョブグループにジョブを設定します。
- 5 ジョブグループにユーザーを追加します。
- 6 ログインします（ユーザー情報を通知します）。
- 7 ユーザーに応じたジョブを配信します。
スキャナーには、ユーザーに応じたジョブが表示されます。

上記のジョブ、ジョブグループ、ユーザーの関係図では、ユーザー 2 がスキャナーにログインすると、ユーザー 2 に応じたジョブ（ジョブ b とジョブ f が設定されたジョブグループ C）が配信されます。スキャナーには、ユーザー 2 に応じたジョブ（ジョブ b とジョブ f が設定されたジョブグループ C）が表示されます。

スキャナーの機種によって利用できる認証方式が異なります。

各スキャナーで利用可能な認証方式については、[スキャナー \(23 ページ\)](#)を参照してください。

- **画像処理機能**

PaperStream IP ドライバーのプロファイルに従って画像処理を実行する機能です。

PaperStream IP ドライバーのプロファイルの動作仕様については、[PaperStream IP ドライバーのプロファイルの動作仕様 \(229 ページ\)](#)を参照してください。

- **リリース機能**

リリース機能とは、画像を保存先に保存する機能です。

標準機能でフォルダ保存/SharePoint/SharePoint Online/FTP/FTPS/メールの保存先に画像を保存できます。メールを保存先にすると、画像を添付してメール送信できます。

標準機能以外の保存先に画像を保存する場合は、コネクタ API による連携が必要となります。ECM (Enterprise Contents Management) などの保存先に画像を保存できます。

コネクタ API による連携の詳細は、PaperStream NX Manager SDK リファレンスガイドを参照してください。

また、画像に関するメタ情報をインデックスファイルとして生成して、画像と合わせて保存できます。インデックスファイルの仕様については、[インデックスファイルの仕様 \(225 ページ\)](#)を参照してください。

- **読み取り状況監視機能**

読み取り状況監視機能とは、NX Manager での画像処理状況を監視したり、画像処理の再試行、保存先への画像保存の再試行をしたりする機能です。

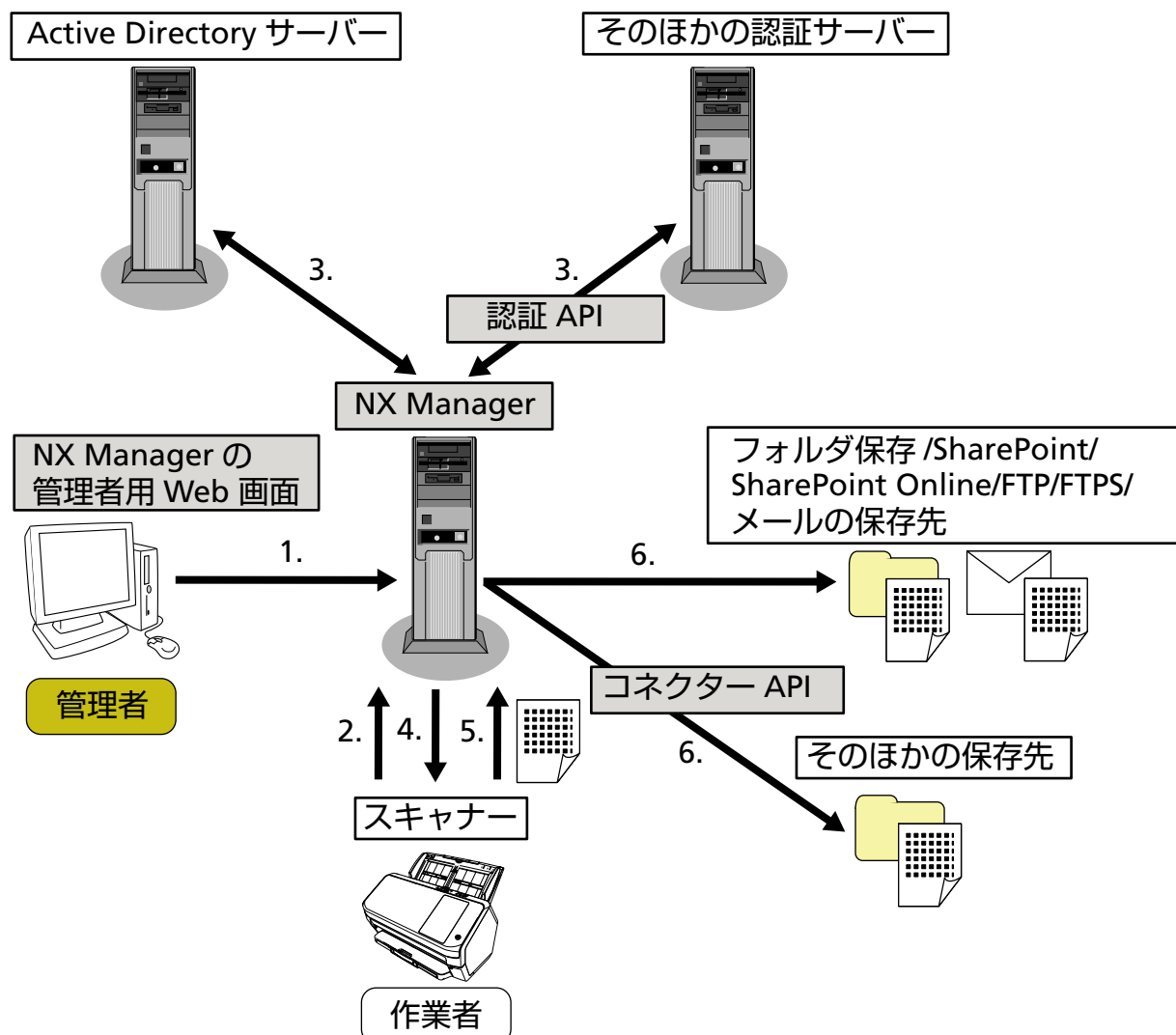
読み取り状況の監視は、NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「バッチログ」をクリックして表示される「バッチログ一覧」画面でできます。

また、NX Manager での処理結果を履歴管理したり、NX Manager で発生したエラーを管理者にメールで通知したりもできます。

システム構成

NX Manager のシステム構成について説明します。

システム構成図については、次のとおりです。



- 1 認証方式/ジョブを設定します。
- 2 ログインします（ユーザー情報を通知します）。
- 3 ユーザー認証します。
- 4 ジョブを配信します。
- 5 画像を転送します。
- 6 画像を保存します。

上記のシステム構成図の構成要素については、次のとおりです。

- NX Manager
スキャナーのユーザー認証、ジョブの設定/管理/配信、画像の保存を行うアプリケーションです。
- NX Manager の管理者用 Web 画面
NX Manager の環境設定、認証方式の設定、ジョブの設定を行う画面です。

また、この画面では、NX Manager での画像処理状況も確認できます。

- スキャナー
NX Manager に管理対象として登録できる当社スキャナーです。
作業者に応じた読み取りを実行し、画像を NX Manager に転送できます。
- Active Directory サーバー
標準機能で連携できる認証サーバーです。
スキャナーから NX Manager に通知されたユーザー情報を、Active Directory 連携によって認証できます。
- そのほかの認証サーバー
標準機能以外の認証サーバーです。
認証 API による連携が必要となります。
スキャナーから NX Manager に通知されたユーザー情報を、認証 API による連携によって認証できます。
- 認証 API
そのほかの認証サーバーと連携するための API（Application Programming Interface）です。
詳細は、PaperStream NX Manager SDK リファレンスガイドを参照してください。
- フォルダ保存/SharePoint/SharePoint Online/FTP/FTPS/メールの保存先
標準機能として提供している画像の保存先です。
メールを保存先にすると、画像を添付してメール送信できます。
- そのほかの保存先
標準機能以外の保存先です。
コネクタ API による連携によって、標準機能として提供している保存先以外にも画像を保存できます。
例えば、ECM（Enterprise Contents Management）などの保存先に画像を保存できます。
- コネクタ API
そのほかの保存先と連携するための API（Application Programming Interface）です。
詳細は、PaperStream NX Manager SDK リファレンスガイドを参照してください。
- 管理者
NX Manager の管理者用 Web 画面を使用して NX Manager を利用するユーザーです。
- 作業員
スキャナーを使用して読み取りを実行するユーザーです。

動作環境

NX Manager の動作環境については、次のとおりです。

- ソフトウェア
 - オペレーティングシステム（*1）
 - Windows Server 2016
 - Windows Server 2019
 - Windows Server 2022
 - Windows Server 2025
 - .NET Framework 4.7.2 以降

- IIS 8.0 以降
- SQL Server (*2)
 - Microsoft® SQL Server™ 2017 Express Edition (64 ビット)
 - Microsoft® SQL Server™ 2019 Express Edition (64 ビット)
 - Microsoft® SQL Server™ 2022 Express Edition (64 ビット)
- ブラウザー
 - Google Chrome 87.0 以降
 - Microsoft Edge 87.0 以降

重要

ブラウザーの設定を以下にしてください。

- Cookie が有効
- JavaScript が有効

*1：NX Manager を Windows で使用する場合、クライアント アクセス ライセンス (CAL) の購入が必要です。

NX Manager に接続するスキャナー装置ごと、または、NX Manager に接続するスキャナーを使用するユーザーごとに CAL をご用意のうえ、NX Manager を使用してください。

CAL の詳細は、マイクロソフトにお問い合わせください。

*2：NX Manager をインストールするときに、新規で SQL Server をインストールするか、または既存の SQL Server を使用するかを選択できます。

新規でインストールする場合は、Microsoft® SQL Server™ 2017 Express Edition (64 ビット) がインストールされます。

● ハードウェア

ハードウェアの推奨値は、次のとおりです。

CPU	3.5GHz クアッドコアプロセッサ以上
メモリー容量	16GB 以上
ディスク容量	120GB 以上の空き容量が必要

重要

- NX Manager 専用のコンピューターとすることを推奨します。
NX Manager と同時に次のようなサーバー機能を使用する場合は、コンピューターの負荷に注意してシステム設計してください。
 - NX Manager 以外の製品のデータベース
 - Active Directory などの認証サーバー

詳細は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。

株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

- NX Manager と PaperStream Central Admin および Scanner Central Admin は、同じコンピューターにインストールできます。

● ネットワーク条件

- スキャナーから NX Manager への HTTP/HTTPS 通信が可能であること。
- IPv4 であること (IPv6 はサポートしていません)。

重要

スキャナー側の通信プロトコルは、NX Manager で設定した通信プロトコルと同じ設定にしてください。

● 使用するポート番号一覧

機能	接続方向	ポート番号	プロトコル番号
スキャナー接続	スキャナー→NX Manager	20447 (HTTP/HTTPS) (*1)	6 (TCP)
ブラウザー接続	ブラウザー→NX Manager	10447 (HTTP/HTTPS) (*1)	6 (TCP)
Web API 連携	Web API 用ユーザーアプリケーション→NX Manager	30447 (HTTP/HTTPS) (*1)	6 (TCP)
Web Scan 連携	Web Scan→NX Manager	40447 (HTTP/HTTPS) (*1)	6 (TCP)
Active Directory 連携	NX Manager→Active Directory サーバー	3268 (Active Directory Global Catalog) (*1)	6 (TCP)
		3269 (Active Directory Global Catalog over SSL) (*1)	6 (TCP)
フォルダ保存	NX Manager→フォルダー	137,138,139,445 (SMB)	6 (TCP) 17 (UDP)
SharePoint	NX Manager→SharePoint Server	80 (HTTP) (*1) /443 (HTTPS) (*1)	6 (TCP)
SharePoint Online	NX Manager→SharePoint Online	443 (HTTPS) (*1)	6 (TCP)
FTP	NX Manager→FTP サーバー	20,21 (FTP) (*1)	6 (TCP)
FTPS	NX Manager→FTPS サーバー	989,990 (FTPS) (*1)	6 (TCP)
メール	NX Manager→SMTP サーバー	25 (SMTP) /465 (SSL) /587 (STARTTLS) (*1) (*2)	6 (TCP)

*1：変更が可能です。

*2：認証方式によっては、ポート番号が固定の場合があります。詳細は「[設定](#)」画面 (196 ページ) を参照してください。

重要

- 個人情報を保護するために、ファイアウォールなどでアクセス制限されたサーバーに NX Manager をインストールすることを推奨します。
- 個人情報を取り扱う場合は、暗号化通信の設定を推奨します。

● スキャナー

- fi-8040 (0F00 版以降)
- fi-8190 (0E00 版以降)
- fi-8290 (0E00 版以降)
- fi-8170 (0E00 版以降)
- fi-8270 (0E00 版以降)
- fi-8150 (0E00 版以降)
- fi-8250 (0E00 版以降)
- fi-7300NX

ヒント

各スキャナーで利用可能な認証方式は、次のとおりです。

認証方式	fi-8040	fi-8190/ fi-8290/ fi-8170/fi-8270	fi-8150/fi-8250	fi-7300NX
認証なし	○	○	○	○
ジョブグループコード	○ (*1)	○ (*1)	×	○
ユーザー名／パスワード	×	×	×	○
NFC	×	×	×	○
ユーザー名／パスワードまたは NFC	×	×	×	○
スキャナー	○	○	○	○

○： 利用可能

×： 利用不可

1*： 数字の入力だけサポートします。

● 登録できるスキャナー台数

NX Manager に登録できるスキャナー台数は、最大 1000 台です。

NX Manager が管理対象としているスキャナーのうち、同時に読み取りできるスキャナーの台数は、最大 40 台です。

重要

- 同時に読み取りできるスキャナーの台数は、推奨環境での値であり、実際のネットワーク帯域やハードディスクドライブ性能などによって変化します。
事前に、評価してから使用してください。
- 同時に読み取りできるスキャナーの台数を超えた場合でもエラーは発生しませんが、各スキャナーで読み取った原稿の画像を NX Manager に転送する速度が遅くなります。

ヒント

同時に読み取るとは、各スキャナーで読み取った原稿の画像を NX Manager に同時に転送することです。

● 個人情報や秘密情報を扱う場合

次のとおりセキュリティを確保した環境を推奨します。

- NX Manager にログインするときのパスワードに、8 文字以上かつ、英字、数字、記号のうち 2 種類以上の文字種を含んでいる文字列を設定する。
- ディスクの暗号化処理が実行された環境で運用する。
- 通信（NX Manager の管理者用 Web 画面、画像を保存先に保存する方式）の暗号化をする。

例：画像を保存先に保存する方式を暗号化する場合

- 「FTP」→「FTPS」に変更する。
- SharePoint のプロトコルを「http」→「https」に変更する。

ヒント

暗号化通信の設定では、十分な強度の暗号方式だけを使用する設定を推奨します。

十分な強度の暗号方式については、本製品を使用される国/地域で求められる、各国の機関や業界団体が提示している SSL/TLS 暗号の使用/設定に関するドキュメントを参照してください。

導入～運用までの流れ

ここでは、NX Manager の導入～運用までの流れについて説明します。
導入～運用までの流れは、次のとおりです。

導入 (26 ページ)	● NX Manager をインストールする (26 ページ) ● 証明書をインポートする (HTTPS の場合) (28 ページ) ● ファイアウォールの設定を変更する (29 ページ) ● Web API 連携、Web Scan 連携の認証機能で使用するユーザーを設定する (30 ページ)
-------------	---



設定 (33 ページ)	● NX Manager にログインする (33 ページ) ● NX Manager の環境設定をする (35 ページ) ● 認証方式を設定する (36 ページ) ● ユーザーを登録する (37 ページ) ● スキャナーを登録する (39 ページ) ● ジョブ設定の流れを知る (46 ページ) ● ジョブを設定する (48 ページ) ● ジョブグループを設定する (56 ページ) ● IC カードを登録する (83 ページ)
-------------	--



運用 (85 ページ)	● スキャナーでジョブを実行する (85 ページ) ● スキャナーを管理する (86 ページ) ● ユーザーを管理する (90 ページ) ● プロファイルを管理する (95 ページ) ● ステータスを確認する (99 ページ) ● 読み取り状況を監視する (100 ページ) ● イベントログを管理する (106 ページ) ● NX Manager にログインするときのパスワードを変更する (111 ページ)
-------------	---

導入

ここでは、NX Manager の導入について説明します。

NX Manager をインストールする

- 1 コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows Server にログインします。
- 2 NX Manager のインストーラーを入手します。
NX Manager のインストーラーの入手方法については、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。
株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
- 3 NX Manager のインストーラーを起動します。
- 4 表示される画面の指示に従ってインストールします。

重要

旧バージョンの NX Manager または NX Manager Database がインストールされている場合、アップグレードインストールします。

万一に備えて、事前に NX Manager に関するデータおよび NX Manager の Database に関するデータを退避してください。

詳細は、[NX Manager に関するデータを退避・復元する \(113 ページ\)](#)および [NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する \(114 ページ\)](#)を参照してください。

ヒント

- 必要に応じて、インストールするソフトウェアを選択します。
次のソフトウェアを選択できます。

- PaperStream NX Manager
- PaperStream NX Manager Database
- PaperStream IP (TWAIN x64) (*1)

*1: NX Manager のインストーラーに同梱されている PaperStream IP ドライバーを使用してください。ほかのバージョンの PaperStream IP ドライバーを使用した場合、NX Manager が正しく動作しない可能性があります。

NX Manager をサーバー 1 台で運用する場合は、初期値から変更する必要はありません。1 台のサーバーに上記 3 つのソフトウェアをインストールしてください。

NX Manager Database を別サーバーで運用する場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。

株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

- NX Manager Database をインストールするコンピュータに、「Microsoft VC++ 2015 Redistributable(x64)」がインストールされている場合、「Microsoft VC++ 2015 Redistributable(x64)」をアンインストールしてから、NX Manager Database をインストールしてください（NX Manager Database をインストールすることで、「Microsoft VC++ 2015 Redistributable(x64)」は同時にインストールされます）。
- NX Manager Database をインストールすると同時に、SQL Server 2017 Express Edition がインストールされます。
SQL Server 2017 Express Edition のインストール後、Microsoft から最新の Service Pack をダウンロードして適用してください。
- NX Manager のインストール中に「データベースが存在しません。他のデータベースを設定してください。」のメッセージが表示された場合、次の手順で「SQL Server Configuration Manager」画面を開いて、SQL Server(NXMANAGER)を再起動してから、再度インストールを行ってください。
 - 1 [Windows] キーと [R] キーを同時に押して、「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。
 - 2 「名前」に「SQLServerManager14.msc」を入力し、[OK] ボタンをクリックして、「SQL Server Configuration Manager」画面を表示します。
 - 3 左メニューの「SQL Server Services」をクリックします。
 - 4 右側に表示される「SQL Server(NXMANAGER)」を右クリックし、「Restart」をクリックします。
- 必要に応じて、SQL Server の設定を変更します。
NX Manager をサーバー 1 台で運用する場合は、初期値から変更する必要はありません。
NX Manager Database を別サーバーで運用する場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。
株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
- SQL Server 2017 Express Edition 以外を使用する場合、次の条件/設定にする必要があります。
 - 認証モードは SQL Server 認証モードを有効にする必要があります。
 - SQL Server で FILESTREAM 機能を有効にする必要があります。
FILESTREAM 機能を有効にする方法については、マイクロソフトの Web サイトの「FILESTREAM の有効化と構成」を参照してください。
なお、32 ビットの SQL Server では FILESTREAM を有効にできません。
 - 既定のインスタンスを使用している場合は、インスタンス名を空欄にして接続してください。
インスタンス名を初期値の「MSSQLSERVER」とした場合は接続できません。
- 必要に応じて、次の設定を変更します。
 - スキャナーと通信するための設定
通信ポート番号（初期値：20447）
通信プロトコルの設定（初期値：HTTP 通信を使用する）
 - ブラウザーと通信するための設定
通信ポート番号（初期値：10447）

通信プロトコルの設定（初期値：HTTP 通信を使用する）

- Web API 連携するための設定

通信ポート番号（初期値：30447）

通信プロトコルの設定（初期値：HTTPS 通信を使用する）

- Web Scan 連携するための設定

通信ポート番号（初期値：40447）

通信プロトコルの設定（初期値：HTTPS 通信を使用する）

ポート番号の詳細は、[動作環境 \(20 ページ\)](#)を参照してください。

- 必要に応じて、Web API 連携、Web Scan 連携の認証機能の設定を変更します。

Web API 連携、Web Scan 連携の認証機能を有効にする場合は、初期値から変更する必要はありません。

この場合、認証機能で使用するユーザーを設定する必要があります。

詳細は、[Web API 連携、Web Scan 連携の認証機能で使用するユーザーを設定する \(30 ページ\)](#)を参照してください。

5 インストール完了後、コンピューターの再起動を問い合わせる画面が表示されたら、再起動します。

重要

インストールしているときに、メッセージ「インストールは失敗しました。エラーコード：5401」が表示された場合は、次の手順で対処してください。

- 1 表示される画面の指示に従ってインストールを終了します。
- 2 インストールするときに指定した、インスタンスのデータベースファイルが保存されているフォルダー配下にある次のファイルを削除します。

- NxManagerSessionDB.mdf

- NxManagerSessionDB_log.ldf

初期値では、次のフォルダーに格納されています。

C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL12.[インスタンス名]\MSSQL\DATA フォルダ配下

- 3 再度、インストールします。

証明書をインポートする（HTTPS の場合）

HTTPS を使用して通信する場合、証明書をインポートします。

ここでは、IIS 8.0 の場合を例に説明します。

- 1 IIS を表示します。
- 2 ホーム画面内の「サーバー証明書」をクリックします。
- 3 操作内の「インポート」をクリックします。

4 表示される画面の指示に従って操作します。

5 次の各サイトを右クリックし、「バインドの編集」をクリックします。

- NmConsole
- NmWebAPI
- NmWebService
- NmWebScanApp

6 種類が「https」となっているポートをクリックし、[編集] ボタンをクリックします。

7 インポートした証明書を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

ヒント

インポートした証明書の拇印データを CertHash.xml に設定してください。

- CertHash.xml の格納先は、次のとおりです。

NX Manager のインストールフォルダー¥NXManager¥Application¥Bin¥CertHash.xml

- 証明書の拇印データ「cc ce a0 66 e3 9c 9b 2a 65 45 03 a3 c4 f4 e5 e6 ad ec df 9f」を設定する場合の例を、次に示します。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<IISPolicy>
<CertHash>cc ce a0 66 e3 9c 9b 2a 65 45 03 a3 c4 f4 e5 e6 ad ec df 9f</CertHash>
</IISPolicy>
```

ファイアウォールの設定を変更する

NX Manager で、次のポート番号が通信できるようにファイアウォールを設定します。

機能	接続方向	ポート番号	プロトコル番号
スキャナー接続	スキャナー→NX Manager	20447 (HTTP/HTTPS) (*1)	6 (TCP)
ブラウザー接続	ブラウザー→NX Manager	10447 (HTTP/HTTPS) (*2)	6 (TCP)
Web API 連携	Web API 用ユーザーアプリケーション→NX Manager	30447 (HTTP/HTTPS) (*3)	6 (TCP)
Web Scan 連携	Web Scan→NX Manager	40447 (HTTP/HTTPS) (*4)	6 (TCP)

*1：NX Manager をインストールしたときに設定した、または IIS で設定した、スキャナーと通信するためのポート番号です。

*2：NX Manager をインストールしたときに設定した、または IIS で設定した、ブラウザーと通信するためのポート番号です。

*3：NX Manager をインストールしたときに設定した、または IIS で設定した、Web API 連携するためのポート番号です。

*4：NX Manager をインストールしたときに設定した、または IIS で設定した、Web Scan 連携するためのポート番号です。

ファイアウォールの設定方法は、各サーバーで使用するファイアウォールソフトウェアのマニュアルを参照してください。

Web API 連携、Web Scan 連携の認証機能で使用するユーザーを設定する

NX Manager をインストールするときに、Web API 連携、Web Scan 連携の認証機能を有効にした場合、認証機能で使用するユーザーを設定します。

1 ユーザーを作成します。

認証機能で使用するユーザーを新規に用意する場合、NX Manager をインストールした Windows Server でユーザーを作成してください。

認証機能で既存のユーザーを使用する場合、手順 2 だけ実施してください。

認証機能で利用できるのは、NX Manager をインストールした Windows Server のローカルユーザーだけです。

詳細は、以下を参照してください。

- 「ローカルユーザーとグループ」画面でユーザーを作成する場合
ユーザーを作成する（「ローカルユーザーとグループ」画面の場合）（31 ページ）を参照してください。
- コマンドプロンプトでユーザーを作成する場合
ユーザーを作成する（コマンドプロンプトの場合）（31 ページ）を参照してください。

重要

「ローカルユーザーとグループ」画面で操作できない場合は、コマンドプロンプトでユーザーを作成してください。

2 グループを設定します。

認証機能で使用するユーザーを PaperStreamNxManagerOperators グループに追加してください。PaperStreamNxManagerOperators グループは NX Manager をインストールすることで作成されます。

詳細は、以下を参照してください。

- 「ローカルユーザーとグループ」画面でユーザーをグループに追加する場合
ユーザーをグループに追加する（「ローカルユーザーとグループ」画面の場合）（31 ページ）を参照してください。
- コマンドプロンプトでユーザーをグループに追加する場合
ユーザーをグループに追加する（コマンドプロンプトの場合）（32 ページ）を参照してください。

重要

「ローカルユーザーとグループ」画面で操作できない場合は、コマンドプロンプトでユーザーをグループに追加してください。

ユーザーを作成する（「ローカルユーザーとグループ」画面の場合）

- 1 [Windows] キーと [R] キーを同時に押して、「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。
- 2 「名前」に「lusrmgr.msc」を入力し、[OK] ボタンをクリックして、「ローカルユーザーとグループ」画面を表示します。
- 3 左メニューの「ユーザー」をクリックして、右側にユーザー一覧を表示します。
- 4 右側に表示されたユーザー一覧で右クリックし、「新しいユーザー」をクリックして、「新しいユーザー」画面を表示します。
- 5 次の項目を設定して、[作成] ボタンをクリックします。
 - ユーザー名
認証機能で使用するユーザー名を入力します。
 - パスワード/パスワードの確認入力
認証機能で使用するユーザーのパスワードを入力します。
 - 「ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要」チェックボックス
チェックボックスのチェックを外します。
- 6 ユーザー一覧に、作成したユーザーが表示されていることを確認します。

ユーザーを作成する（コマンドプロンプトの場合）

- 1 コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、コマンドプロンプトを表示します。
- 2 次のコマンドを実行して、ユーザーを作成します。

```
net user ユーザー名 パスワード /add
```

- 3 次のコマンドを実行して、作成したユーザーが表示されていることを確認します。

```
net user
```

ユーザーをグループに追加する（「ローカルユーザーとグループ」画面の場合）

- 1 [Windows] キーと [R] キーを同時に押して、「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。
- 2 「名前」に「lusrmgr.msc」を入力し、[OK] ボタンをクリックして、「ローカルユーザーとグループ」画面を表示します。
- 3 左メニューの「グループ」をクリックして、右側にグループ一覧を表示します。

- 4 右側に表示されたグループ一覧から「PaperStreamNxManagerOperators」を右クリックし、「プロパティ」をクリックして、「PaperStreamNxManagerOperators のプロパティ」画面を表示します。
- 5 [追加] ボタンをクリックして、「ユーザーの選択」画面を表示します。
- 6 [詳細設定] ボタンをクリックし、[検索] ボタンをクリックして、「検索結果」を表示します。
- 7 「検索結果」から認証機能で使用するユーザーを選択し、[OK] ボタンをクリックします。
- 8 「選択するオブジェクト名を入力してください」に、選択したユーザーが表示されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。
- 9 「所属するメンバー」に、選択したユーザーが表示されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

ユーザーをグループに追加する（コマンドプロンプトの場合）

- 1 コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、コマンドプロンプトを表示します。
- 2 次のコマンドを実行して、ユーザーをグループに追加します。

```
net localgroup PaperStreamNxManagerOperators ユーザー名 /add
```

- 3 次のコマンドを実行して、ユーザーがグループに追加されていることを確認します。

```
net localgroup PaperStreamNxManagerOperators
```

設定

ここでは、NX Manager の管理者用 Web 画面での設定について説明します。

NX Manager にログインする

ブラウザから、NX Manager にログインします。

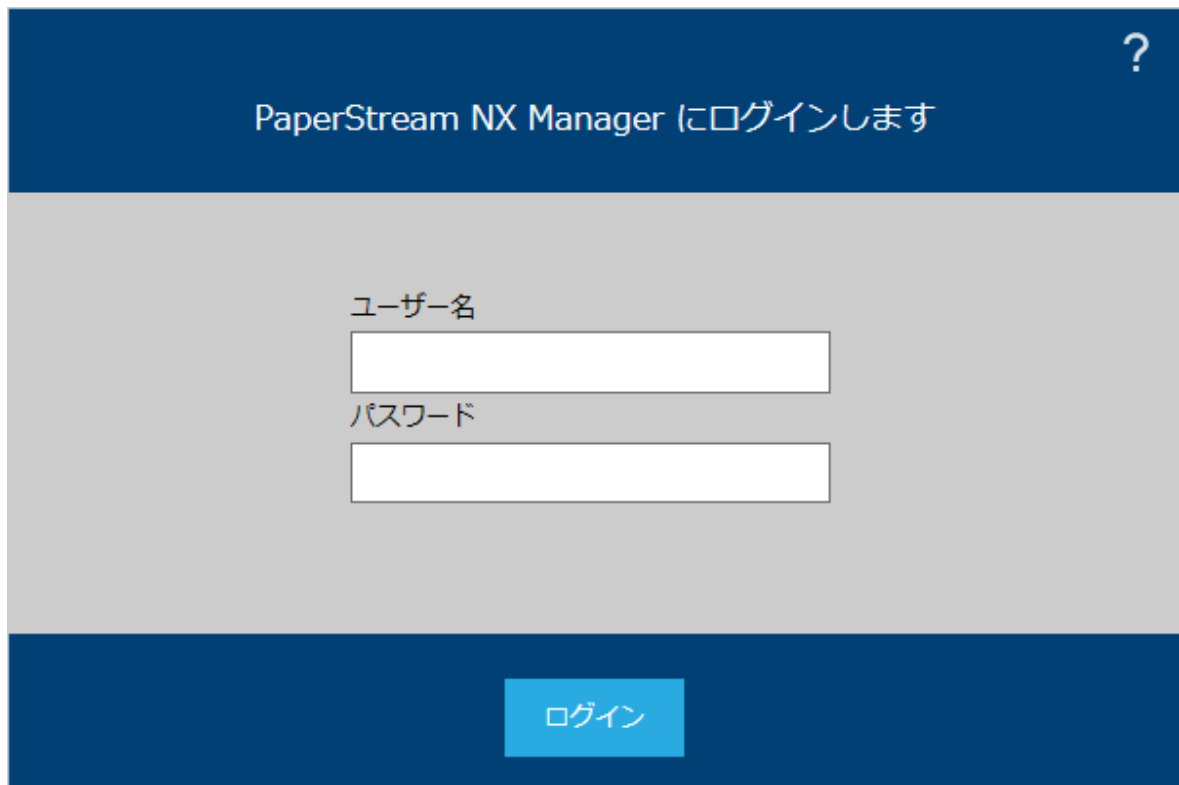
管理者は NX Manager の管理者用 Web 画面から、NX Manager の環境設定、認証方式の設定、ジョブの設定などの NX Manager の設定を行えます。

また、NX Manager の管理者用 Web 画面では、NX Manager での画像処理状況も確認できます。

1 コンピューターの電源を投入して、ブラウザの URL 入力域に次の URL を入力して接続します。

http または https://[NX Manager をインストールしたコンピューターの IP アドレスまたはホスト名]:[NX Manager と通信するためのポート番号]/NmConsole/Login/Login

ログインの画面が表示されます。



スクリーンショットは、PaperStream NX Manager のログイン画面を示しています。画面の上部には「PaperStream NX Manager にログインします」というタイトルと、右上にはヘルプアイコン（？）があります。中央には「ユーザー名」と「パスワード」のラベルがあり、それぞれに対応する入力フィールドがあります。画面の下部には「ログイン」ボタンがあります。

重要

- HTTPS を使用する場合で、「この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります。」の画面が表示されたときは、証明書をインポートしてください。
詳細は、[証明書をインポートする（HTTPS の場合）（28 ページ）](#)を参照してください。
- NX Manager の管理者用 Web 画面の項目が一部適切に表示されない場合があります。

この場合、「コントロール パネル」画面の「インターネット オプション」をクリックして表示される「インターネットのプロパティ」画面で、次の対処をしてから、コンピューターを再起動してください。

- 「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」を選択して [サイト] ボタンをクリックして表示される「信頼済みサイト」画面で、NX Manager をインストールしたコンピューターの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を追加してください。

- 「全般」タブの [削除] ボタンをクリックして、一時ファイルや履歴を削除してください。

Windows Server の場合で、この対処で解決しないときは、「サーバー マネージャー」画面の「ローカル サーバー」の「プロパティ」にある「IE セキュリティ強化の構成」を「無効」にしてください。

2 各項目を入力します。

ユーザー名およびパスワードの初期値は、次のとおりです。

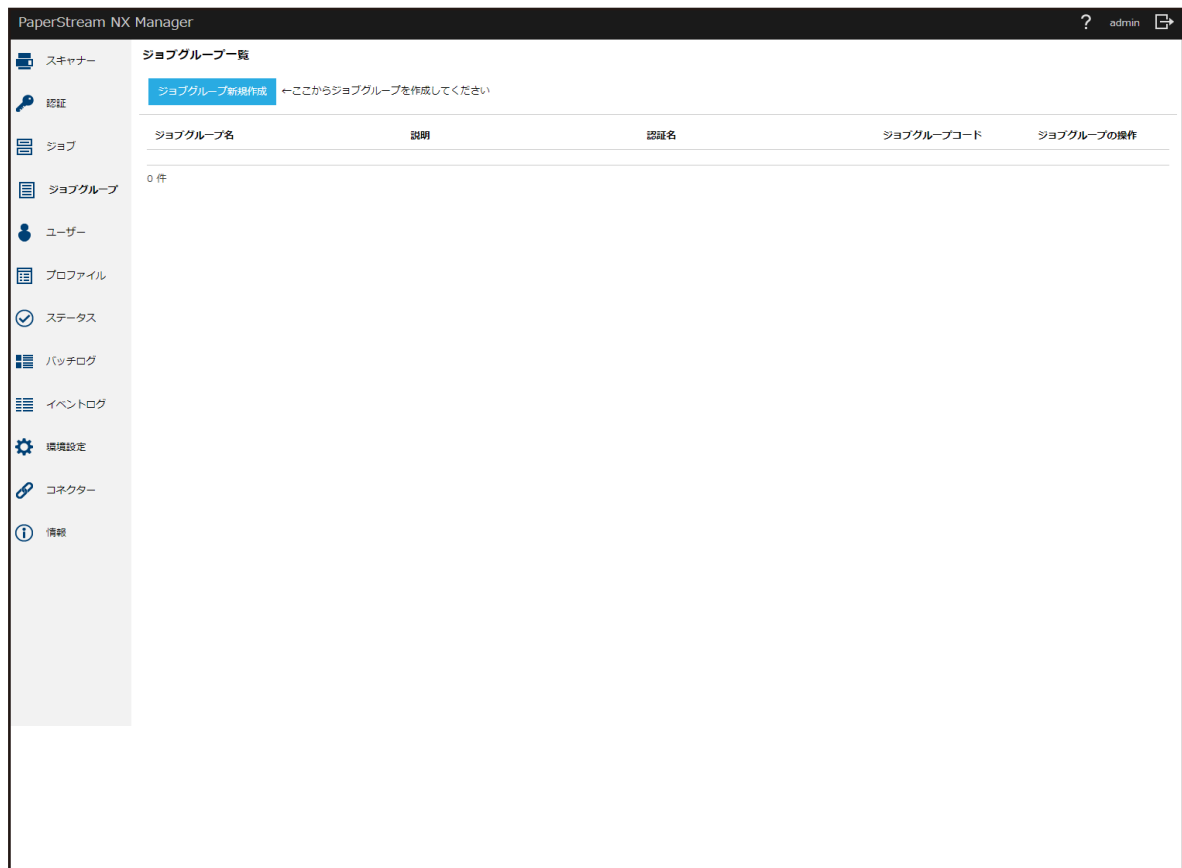
ユーザー名：admin

パスワード：password

各項目の詳細は、[ログインの画面 \(119 ページ\)](#)を参照してください。

3 [ログイン] ボタンをクリックします。

認証されると、NX Manager の管理者用 Web 画面が表示されます。



重要

ユーザー名およびパスワードを正しく入力して【ログイン】 ボタンをクリックしても、再度、ログインの画面が表示される場合があります。
この場合、ブラウザのセキュリティ設定で信頼済みサイトに、NX Manager をインストールしたコンピュータの IP アドレスまたはホスト名を追加してください。

重要

初めて NX Manager にログインした場合は、パスワードを変更してください。
また、パスワードは定期的に変更してください。
詳細は、[NX Manager にログインするときのパスワードを変更する \(111 ページ\)](#)を参照してください。

NX Manager の環境設定をする

NX Manager の管理者用 Web 画面から、画面設定、SMTP 設定、異常通知設定、バッチログ通知設定、ネットワーク設定などの NX Manager の環境設定をします。

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「環境設定」をクリックします。
「設定」画面が表示されます。

設定	
ブラウザ設定	
☐ 通信にHTTPSを使用する	
ポート番号 :	10447
スキャナー通信設定	
☐ 通信にHTTPSを使用する	
ポート番号 :	20447
画面設定	
画面更新間隔	60 秒
SMTP設定	
SMTPサーバー :	(IPアドレス、ホスト名、または、FQDN)
SMTPサーバーポート番号 :	25
SSL通信 :	無効
☐ サーバー認証が必要	
認証方式 :	基本認証
ユーザー名 :	
パスワード :	
メール保存設定	
添付ファイルサイズ :	10 MB
異常通知設定	
☐ 異常通知メールを送信する	
送信先メールアドレス :	

2 各項目を設定します。

各項目の詳細は、「[設定](#)」画面 (196 ページ)を参照してください。

SMTP サーバーの認証方式に Exchange Online OAuth 2.0 認証を使用する場合、[SMTP サーバーの認証方式に「Exchange Online OAuth 2.0 認証」を使用する \(241 ページ\)](#)を参照してください。

3 【保存】 ボタンをクリックします。

設定内容が保存されます。

認証方式を設定する

NX Manager の管理者用 Web 画面から、認証方式を設定します。

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「認証」をクリックします。

「認証一覧」画面が表示されます。

認証一覧

認証方式新規作成

←ここから認証方式を作成してください

認証名	説明	認証方式	アカウント管理	認証の操作
0 件				

2 【認証方式新規作成】 ボタンをクリックします。

「認証の新規作成(1/2)」画面が表示されます。

認証の新規作成 (1/2)

認証名:

説明:

認証方式:

キャンセル 次へ

3 各項目を設定します。

各項目の詳細は、「[認証の新規作成\(1/2\)](#)」画面 (125 ページ)および「[認証の新規作成\(2/2\)](#)」画面 (130 ページ)を参照してください。

ユーザーの認証で IC カードを使用する場合、IC カードの登録が必要です。IC カードの登録方法は [IC カードを登録する \(83 ページ\)](#)を参照してください。

各スキャナーで利用可能な認証方式については、[スキャナー \(23 ページ\)](#)を参照してください。

4 「認証の新規作成(2/2)」画面で【完了】 ボタンをクリックします。

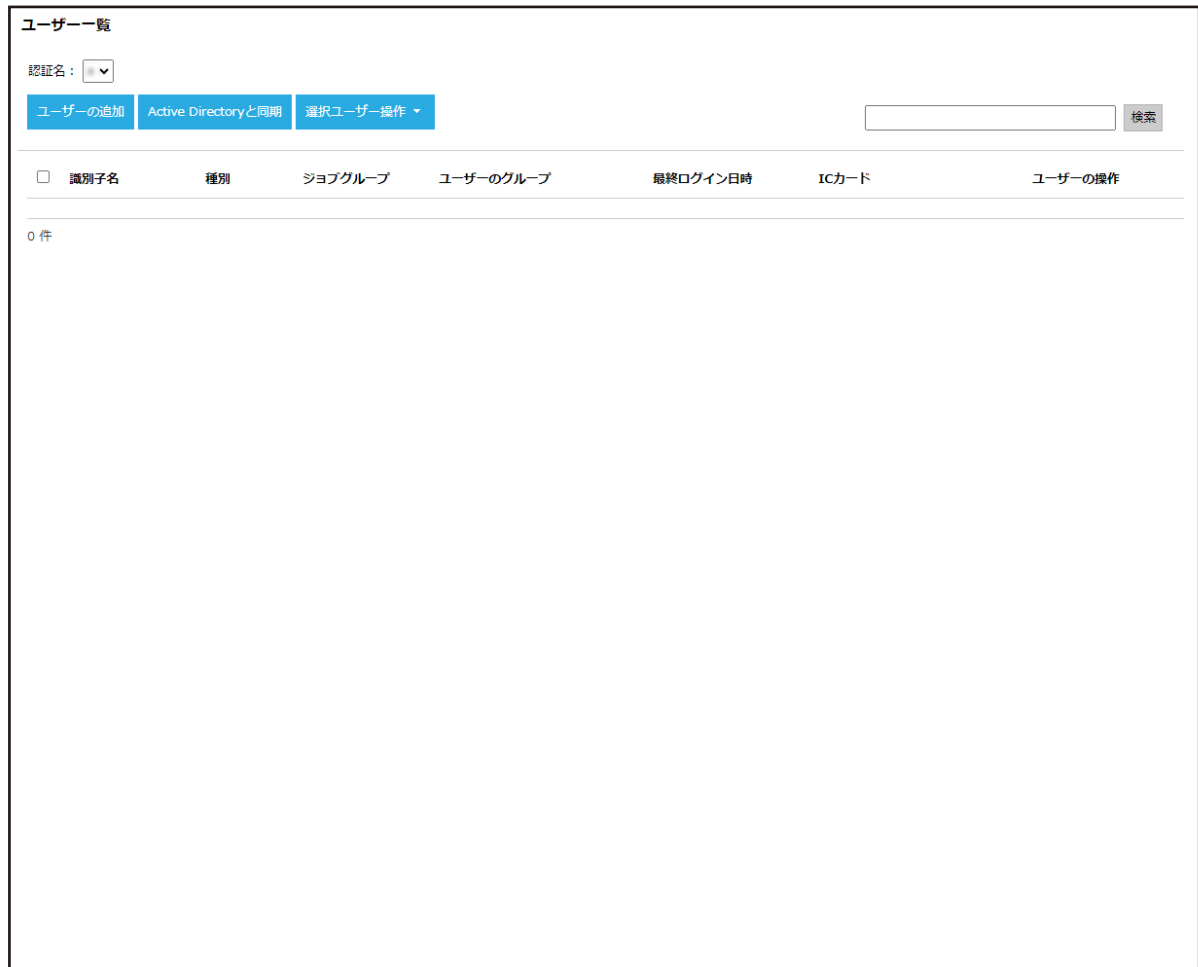
設定内容が保存され、「認証一覧」画面が表示されます。

ユーザーを登録する

NX Manager で管理するユーザーを登録します。

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ユーザー」をクリックします。

「ユーザー一覧」画面が表示されます。



ユーザー一覧

認証名:

ユーザーの追加 Active Directoryと同期 選択ユーザー操作 ▼

検索

☐ 識別子名	種別	ジョブグループ	ユーザーのグループ	最終ログイン日時	ICカード	ユーザーの操作
0 件						

- 2 「認証名」からユーザーを追加したい認証方式を選択し、[ユーザーの追加]ボタンをクリックします。
「Active Directory 接続」画面が表示されます。
「Active Directory 接続」画面の詳細は、[「Active Directory 接続テスト」画面/「Active Directory 接続」画面 \(138 ページ\)](#)を参照してください。
- 3 ユーザー名とパスワードを入力し、[接続] ボタンをクリックします。
NX Manager にユーザーを追加する画面が表示されます。
NX Manager にユーザーを追加する画面の詳細は、[NX Manager にユーザーを追加する画面 \(185 ページ\)](#)を参照してください。
- 4 追加するユーザーの識別子名の左にあるチェックボックスにチェックを付けます。
- 5 [OK] ボタンをクリックします。
ユーザーが追加されます。
ユーザーの認証に IC カードを使用する場合、IC カードの登録が必要です。詳細は [IC カードを登録する \(83 ページ\)](#)を参照してください。

スキャナーを登録する

NX Manager で管理するスキャナーを登録します。
次の登録方法があります。

- スキャナーで、NX Manager を使用する設定をする
スキャナーの「PaperStream NX Manager」の設定を有効にすることで、NX Manager にスキャナーを登録します。
詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
- NX Manager の管理者用 Web 画面から、スキャナーを登録する
スキャナーの情報をインポートして、NX Manager の管理者用 Web 画面からスキャナーを登録します。複数台のスキャナーをまとめて登録できます。
登録対象は、fi-8040、fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250 です。
次のどちらかの方法で、スキャナーの情報をインポートします。
 - CSV ファイルのインポート
詳細は、[スキャナーの情報をインポートする（「CSV ファイル」の場合）（39 ページ）](#)を参照してください。
 - ローカルネットワーク検索
詳細は、[スキャナーの情報をインポートする（「ローカルネットワーク検索」の場合）（41 ページ）](#)を参照してください。スキャナーを登録する方法は、[スキャナーを 1 台登録する（43 ページ）](#)または[スキャナーをまとめて登録する（45 ページ）](#)を参照してください。

スキャナーの情報をインポートする（「CSV ファイル」の場合）

重要

スキャナーを同じ機種で交換して、同じスキャナー名で使用する場合、交換する前に使用していたスキャナーを NX Manager に接続しないでください。
交換したスキャナーの情報が、NX Manager に正しく反映されない可能性があります。
スキャナーを交換する方法は、[スキャナーを交換する（89 ページ）](#)を参照してください。

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「スキャナー」をクリックします。

「スキャナー一覧」画面が表示されます。

スキャナー一覧

スキャナーのインポート

選択スキャナー操作 ▼

絞り込み:

検索

☐	ID	状態	スキャナー名	機種名	ファームウェアバージョン	シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス	通信方式	認証名	ジョブグループ	スキャナーの操作
0件												

2 「スキャナーのインポート」 ボタンをクリックします。

「スキャナーのインポート」画面が表示されます。

スキャナーのインポート

インポート方法

※ 状態が「未登録」としてスキャナー一覧に登録されます

☒ CSVファイル

☐ ローカルネットワーク検索

サーバ側の検索用ポート: 20447

☒ スキャナー全検索

☐ スキャナーIP範囲検索 [] ~ []

オプション

☐ 登録済みのスキャナーと同じ名前で、シリアル番号が異なる場合は追加する。

OK キャンセル

3 「CSV ファイル」を選択します。

各項目の詳細および CSV ファイルの仕様は、「スキャナーのインポート」画面 (122 ページ) を参照してください。

4 [OK] ボタンをクリックします。

CSV ファイルを選択する画面が表示されます。

5 インポートする CSV ファイルを選択します。

6 [開く] ボタンをクリックします。

インポートしたスキャナーの情報が「スキャナー一覧」画面 (120 ページ) に追加されます。

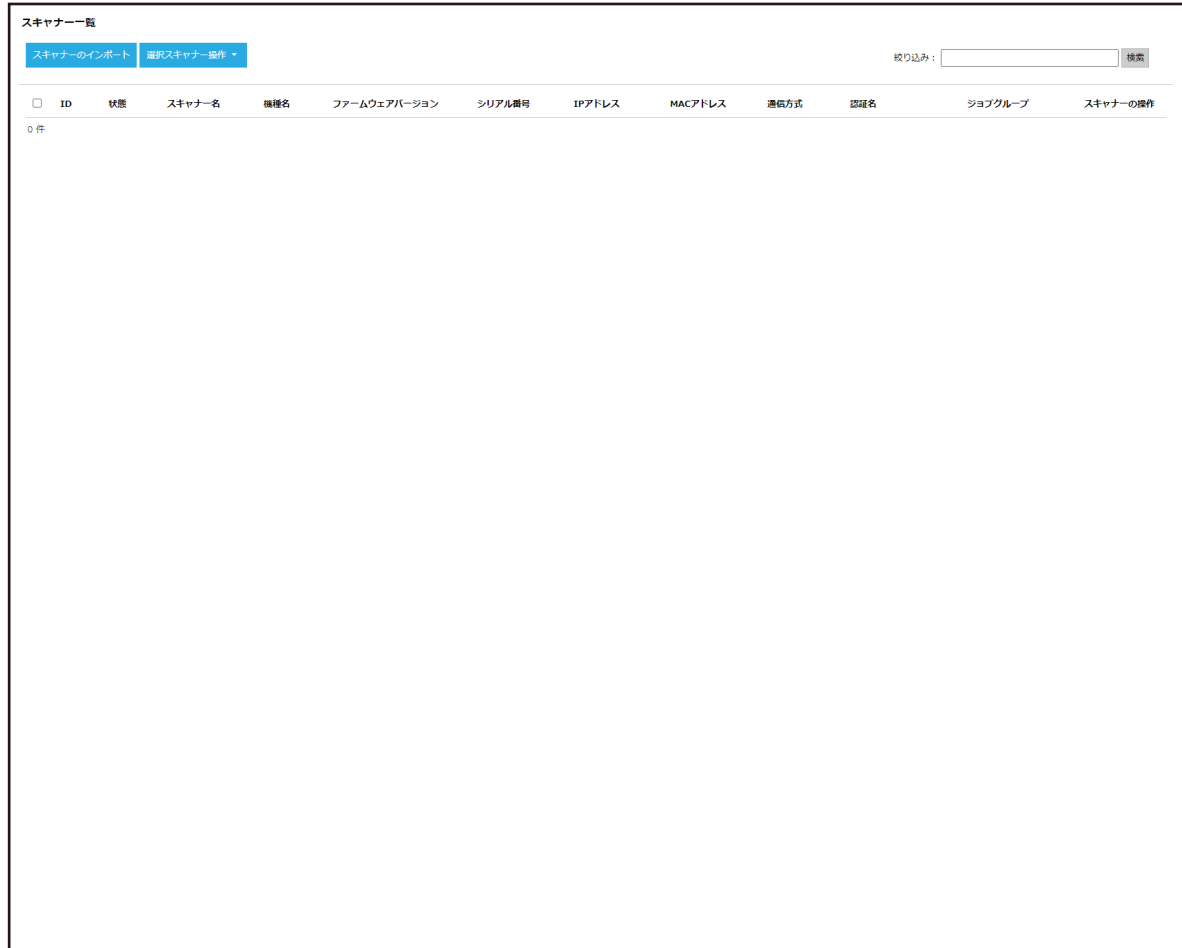
スキャナーの情報をインポートする（「ローカルネットワーク検索」の場合）

重要

- スキャナーを検索するときは、スキャナーのすべてのジョブが完了していることを確認してください。スキャナーの検索中にジョブが実行されていると、実行中のジョブがエラーとなる可能性があります。
- スキャナーを同じ機種で交換して、同じスキャナー名で使用する場合、交換する前に使用していたスキャナーを NX Manager に接続しないでください。交換したスキャナーの情報が、NX Manager に正しく反映されない可能性があります。

スキャナーを交換する方法は、[スキャナーを交換する \(89 ページ\)](#)を参照してください。

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「スキャナー」をクリックします。
「スキャナー一覧」画面が表示されます。



- 2 「スキャナーのインポート」 ボタンをクリックします。

「スキャナーのインポート」画面が表示されます。

スキャナーのインポート?

インポート方法

※ 状態が「未登録」としてスキャナー一覧に登録されます

☒ CSVファイル

☐ ローカルネットワーク検索

サーバ側の検索用ポート:

☒ スキャナー全検索

☐ スキャナーIP範囲検索 ~

オプション

☐ 登録済みのスキャナーと同じ名前で、シリアル番号が異なる場合は追加する。

OK

キャンセル

3 「ローカルネットワーク検索」とスキャナーを検索する範囲を選択します。

各項目の詳細は、「スキャナーのインポート」画面 (122 ページ) を参照してください。

4 [OK] ボタンをクリックします。

検索範囲に該当するスキャナーの情報が「スキャナー一覧」画面 (120 ページ) に追加されます。

スキャナーを 1 台登録する

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「スキャナー」をクリックします。

「スキャナー一覧」画面が表示されます。

スキャナー一覧

スキャナーのインポート 選択スキャナー操作

絞り込み: 検索

ID	状態	スキャナー名	機種名	ファームウェアバージョン	シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス	通信方式	証明書名	ジョブグループ	スキャナーの操作
1	未登録	fi-7300NX	fi-7300NX		XXXXXXXXXX	192.168.1.100	AA-AA-AA-AA-AA-AA	HTTP			登録 削除
2	未登録	fi-7300NX	fi-7300NX		XXXXXXXXXX	192.168.1.101	AA-AA-AA-AA-AA-AA	HTTP			
3	未登録	fi-7300NX	fi-7300NX		XXXXXXXXXX	192.168.1.102	AA-AA-AA-AA-AA-AA	HTTP			
4	未登録	fi-7300NX	fi-7300NX		XXXXXXXXXX	192.168.1.103	AA-AA-AA-AA-AA-AA	HTTP			

4件

- スキャナーの行をマウスでポイントすると表示される「スキャナーの操作」列の「登録」をクリックします。

「スキャナーの登録」画面が表示されます。

スキャナーの登録

ホスト名 / IPアドレス:

ポート番号:

注意事項

- ・ fi-7300NXは登録機能をサポートしていません。
- ・ 通信方式 (http/https) をスキャナーとNX Managerで一致させてください。

スキャナー名	シリアル番号	通信方式
fi-7300NX	XXXXXXXXXX	HTTP

OK キャンセル

- NX Manager の「ホスト名 / IP アドレス」と「ポート番号」を入力します。
各項目の詳細は、「スキャナーの登録」画面 (124 ページ)を参照してください。

- 【OK】 ボタンをクリックします。

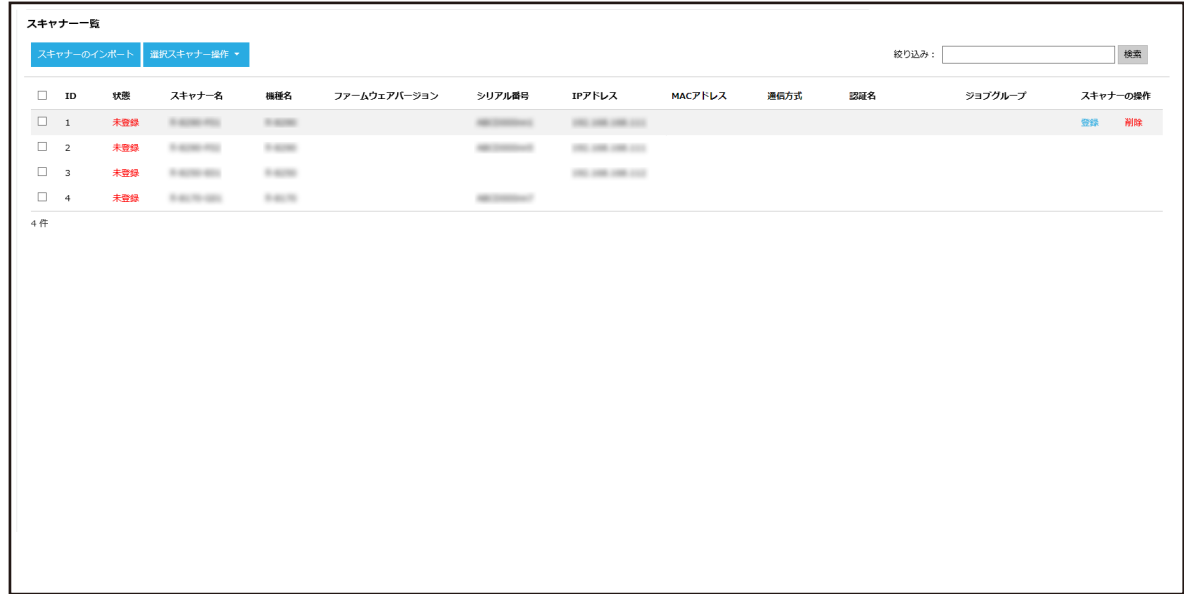
スキャナーが登録されます。

重要

スキャナー側の通信プロトコルと NX Manager で設定した通信プロトコルが一致しない場合は、登録できません。

スキャナーをまとめて登録する

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「スキャナー」をクリックします。
「スキャナー一覧」画面が表示されます。



- 2 ID の左にあるチェックボックスにチェックを付けて、登録するスキャナーを選択します。
- 3 「選択スキャナー操作」の「スキャナー登録」をクリックします。

「スキャナーの登録」画面が表示されます。

スキャナーの登録

ホスト名 / IPアドレス :

ポート番号 :

注意事項

- ・ fi-7300NXは登録機能をサポートしていません。
- ・ 通信方式 (http/https) をスキャナーとNX Managerで一致させてください。

スキャナー名	シリアル番号	通信方式
fi-7300NX	XXXXXXXXXX	HTTP
fi-7300NX	XXXXXXXXXX	HTTPS

OK キャンセル

- 4 NX Manager の「ホスト名 / IP アドレス」と「ポート番号」を入力します。
各項目の詳細は、[「スキャナーの登録」画面 \(124 ページ\)](#)を参照してください。
- 5 [OK] ボタンをクリックします。
選択したスキャナーが登録されます。

重要

スキャナー側の通信プロトコルと NX Manager で設定した通信プロトコルが一致しない場合は、登録できません。

ジョブ設定の流れを知る

ジョブ設定の流れは、認証方式によって次のようになります。

- 認証方式が「認証なし」または「ジョブグループコード」の場合

ジョブを作成します	詳細は、 ジョブを新規作成する (48 ページ) を参照してください。
-----------	---



認証方式を設定します	詳細は、 認証方式を設定する (36 ページ) を参照してください。
------------	--



ジョブグループを作成します	詳細は、 ジョブグループを新規作成する（認証方式が「認証なし」または「ジョブグループコード」の場合） (56 ページ) を参照してください。
---------------	--



ジョブグループにジョブを設定します	ジョブグループを作成するときに、ジョブを設定します。 詳細は、 ジョブグループを新規作成する（認証方式が「認証なし」または「ジョブグループコード」の場合） (56 ページ) を参照してください。
-------------------	--

● **認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合**

ジョブを作成します	詳細は、 ジョブを新規作成する (48 ページ) を参照してください。
-----------	---



認証方式を設定します	詳細は、 認証方式を設定する (36 ページ) を参照してください。
------------	--



ジョブグループを作成します	詳細は、 ジョブグループを新規作成する（認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合） (63 ページ) を参照してください。
---------------	--



ジョブグループにジョブを設定します	ジョブグループを作成するときに、ジョブを設定します。 詳細は、 ジョブグループを新規作成する（認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合） (63 ページ) を参照してください。
-------------------	--



ジョブグループにユーザーを追加します	ジョブグループを作成するときに、ユーザーを追加します。
--------------------	-----------------------------

	詳細は、 ジョブグループを新規作成する（認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合）（63 ページ） を参照してください。
--	---

● 認証方式が「スキャナー」の場合

ジョブを作成します	詳細は、 ジョブを新規作成する（48 ページ） を参照してください。
-----------	--



認証方式を設定します	詳細は、 認証方式を設定する（36 ページ） を参照してください。
------------	---



ジョブグループを作成します	詳細は、 ジョブグループを新規作成する（認証方式が「スキャナー」の場合）（70 ページ） を参照してください。
---------------	---



ジョブグループにジョブを設定します	ジョブグループを作成するときに、ジョブを設定します。 詳細は、 ジョブグループを新規作成する（認証方式が「スキャナー」の場合）（70 ページ） を参照してください。
-------------------	---



ジョブグループにスキャナーを追加します	ジョブグループを作成するときに、スキャナーを追加します。 詳細は、 ジョブグループを新規作成する（認証方式が「スキャナー」の場合）（70 ページ） を参照してください。
---------------------	---

ジョブを設定する

NX Manager の管理者用 Web 画面から、ジョブを設定します。

ジョブを新規作成する

ここでは、認証方式が「認証なし」の場合を例に説明します。

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ジョブ」をクリックします。

「ジョブ一覧」画面が表示されます。

ジョブ一覧

ジョブ新規作成

←ここからジョブを作成してください

絞り込み :

検索

ジョブ名	説明	ジョブグループ	ジョブの操作
0 件			

2 「ジョブ新規作成」 ボタンをクリックします。

「ジョブの新規作成」画面が表示されます。

ジョブの新規作成

ジョブ名:

説明:

▼ プロファイル設定

使用するスキャナードライバ/プロファイル:

インポート...

▼ スキャナー固有設定

スキャナー:

設定を全機種に適用する

装置パネル設定

ジョブボタンカラー:

☐ 継続読み取りする

☐ サムネイルを表示する

画質モード:

標準

☐ スキャンボタンを表示する

☐ メッセージを表示する

メッセージ:

☐ メタデータをスキャナーから入力する

フィールド名:

☐ 入力を数字だけにする

☐ メッセージを表示する

メッセージ:

☐ ジョブ終了後に即時ログアウトする

3 各項目を設定します。

各項目の詳細は、「[「ジョブの新規作成」画面](#) / 「[ジョブの編集](#)」画面 (139 ページ)を参照してください。

ヒント

「スキャナー固有設定」は、「スキャナー」で選択したスキャナーによって、設定できる項目が異なります。

4 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブが作成されます。

ジョブを参照作成する

ここでは、認証方式が「認証なし」の場合を例に説明します。

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ジョブ」をクリックします。

「ジョブ一覧」画面が表示されます。

ジョブ一覧			
ジョブ新規作成 ←ここからジョブを作成してください		絞り込み :	検索
ジョブ名	説明	ジョブグループ	ジョブの操作
ジョブ名	説明	ジョブグループ	
ジョブ名	説明	ジョブグループ	編集 参照作成 削除
ジョブ名	説明	ジョブグループ	
ジョブ名	説明	ジョブグループ	
ジョブ名	説明	ジョブグループ	
ジョブ名	説明	ジョブグループ	
ジョブ名	説明	ジョブグループ	
ジョブ名	説明 (SharePoint)	ジョブグループ	
ジョブ名	説明 (SharePoint)	ジョブグループ	
10 件			

- 2 ジョブの行をマウスでポイントすると表示される「ジョブの操作」列の「参照作成」をクリックします。

「ジョブの新規作成」画面が表示されます。

3 各項目を設定します。

各項目の詳細は、「[ジョブの新規作成](#)」画面/「[ジョブの編集](#)」画面 (139 ページ)を参照してください。

ヒント

「スキャナー固有設定」は、「スキャナー」で選択したスキャナーによって、設定できる項目が異なります。

4 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブが作成されます。

ジョブを編集する

ここでは、認証方式が「認証なし」の場合を例に説明します。

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ジョブ」をクリックします。

「ジョブ一覧」画面が表示されます。

ジョブ一覧			
ジョブ新規作成 ←ここからジョブを作成してください		絞り込み :	検索
ジョブ名	説明	ジョブグループ	ジョブの操作
ジョブ名	説明	ジョブグループ	
ジョブ名	説明	ジョブグループ	編集 参照作成 削除
ジョブ名	説明	ジョブグループ	
ジョブ名	説明	ジョブグループ	
ジョブ名	説明	ジョブグループ	
ジョブ名	説明	ジョブグループ	
ジョブ名	説明	ジョブグループ	
ジョブ名	説明 (SharePoint)	ジョブグループ	
ジョブ名	説明 (SharePoint)	ジョブグループ	
10 件			

- 2 ジョブの行をマウスでポイントすると表示される「ジョブの操作」列の「編集」をクリックします。

「ジョブの編集」画面が表示されます。

ジョブの編集

このジョブは、以下のジョブグループに追加されています。

ジョブ名:

説明:

▼ プロファイル設定

使用するスキャナードライバ(プロファイル):

インポート...

▼ スキャナー固有設定

スキャナー:

設定を全機種に適用する

装置パネル設定

ジョブボタンカラー:

☐ 継続読み取りする

☐ サムネイルを表示する

画質モード:

標準

☐ スキャンボタンを表示する

☐ メッセージを表示する

メッセージ:

☐ メタデータをスキャナーから入力する

フィールド名:

☐ 入力を数字だけにする

☐ メッセージを表示する

メッセージ:

3 各項目を設定します。

各項目の詳細は、「[ジョブの新規作成](#)」画面/「[ジョブの編集](#)」画面 (139 ページ)を参照してください。

ヒント

「スキャナー固有設定」は、「スキャナー」で選択したスキャナーによって、設定できる項目が異なります。

4 [保存] ボタンをクリックします。

設定内容が保存されます。

ジョブを削除する

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ジョブ」をクリックします。

ジョブ一覧			
ジョブ新規作成 ←ここからジョブを作成してください		絞り込み : 検索	
ジョブ名	説明	ジョブグループ	ジョブの操作
ジョブ1		グループ1	
ジョブ2		グループ2	
ジョブ3		グループ3	編集 参照作成 削除
ジョブ4		グループ4	
ジョブ5		グループ5	
ジョブ6		グループ6	
ジョブ7		グループ7	
ジョブ8		グループ8	
ジョブ9		グループ9	
ジョブ10		グループ10	
ジョブ11		グループ11	
ジョブ12		グループ12	
ジョブ13		グループ13	
ジョブ14		グループ14	
ジョブ15		グループ15	
ジョブ16		グループ16	
ジョブ17		グループ17	
ジョブ18		グループ18	
ジョブ19		グループ19	
ジョブ20		グループ20	
ジョブ21		グループ21	
ジョブ22		グループ22	
ジョブ23		グループ23	
ジョブ24		グループ24	
ジョブ25		グループ25	
ジョブ26		グループ26	
ジョブ27		グループ27	
ジョブ28		グループ28	
ジョブ29		グループ29	
ジョブ30		グループ30	
ジョブ31		グループ31	
ジョブ32		グループ32	
ジョブ33		グループ33	
ジョブ34		グループ34	
ジョブ35		グループ35	
ジョブ36		グループ36	
ジョブ37		グループ37	
ジョブ38		グループ38	
ジョブ39		グループ39	
ジョブ40		グループ40	
ジョブ41		グループ41	
ジョブ42		グループ42	
ジョブ43		グループ43	
ジョブ44		グループ44	
ジョブ45		グループ45	
ジョブ46		グループ46	
ジョブ47		グループ47	
ジョブ48		グループ48	
ジョブ49		グループ49	
ジョブ50		グループ50	
ジョブ51		グループ51	
ジョブ52		グループ52	
ジョブ53		グループ53	
ジョブ54		グループ54	
ジョブ55		グループ55	
ジョブ56		グループ56	
ジョブ57		グループ57	
ジョブ58		グループ58	
ジョブ59		グループ59	
ジョブ60		グループ60	
ジョブ61		グループ61	
ジョブ62		グループ62	
ジョブ63		グループ63	
ジョブ64		グループ64	
ジョブ65		グループ65	
ジョブ66		グループ66	
ジョブ67		グループ67	
ジョブ68		グループ68	
ジョブ69		グループ69	
ジョブ70		グループ70	
ジョブ71		グループ71	
ジョブ72		グループ72	
ジョブ73		グループ73	
ジョブ74		グループ74	
ジョブ75		グループ75	
ジョブ76		グループ76	
ジョブ77		グループ77	
ジョブ78		グループ78	
ジョブ79		グループ79	
ジョブ80		グループ80	
ジョブ81		グループ81	
ジョブ82		グループ82	
ジョブ83		グループ83	
ジョブ84		グループ84	
ジョブ85		グループ85	
ジョブ86		グループ86	
ジョブ87		グループ87	
ジョブ88		グループ88	
ジョブ89		グループ89	
ジョブ90		グループ90	
ジョブ91		グループ91	
ジョブ92		グループ92	
ジョブ93		グループ93	
ジョブ94		グループ94	
ジョブ95		グループ95	
ジョブ96		グループ96	
ジョブ97		グループ97	
ジョブ98		グループ98	
ジョブ99		グループ99	
ジョブ100		グループ100	
ジョブ101		グループ101	
ジョブ102		グループ102	
ジョブ103		グループ103	
ジョブ104		グループ104	
ジョブ105		グループ105	
ジョブ106		グループ106	
ジョブ107		グループ107	
ジョブ108		グループ108	
ジョブ109		グループ109	
ジョブ110		グループ110	
ジョブ111		グループ111	
ジョブ112		グループ112	
ジョブ113		グループ113	
ジョブ114		グループ114	
ジョブ115		グループ115	
ジョブ116		グループ116	
ジョブ117		グループ117	
ジョブ118		グループ118	
ジョブ119		グループ119	
ジョブ120		グループ120	
ジョブ121		グループ121	
ジョブ122		グループ122	
ジョブ123		グループ123	
ジョブ124			

- ## ジョブを絞り込む
- ジョブ一覧に表示するジョブを絞り込みます。
- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ジョブ」をクリックします。

ジョブ一覧に表示するジョブを絞り込みます。

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ジョブ」をクリックします。

「ジョブ一覧」画面が表示されます。

ジョブ一覧			
ジョブ新規作成 ←ここからジョブを作成してください		絞り込み：	検索
ジョブ名	説明	ジョブグループ	ジョブの操作
ジョブ1		グループ1	
ジョブ2		グループ1	
ジョブ3		グループ1	編集 参照作成 削除
ジョブ4		グループ1	
ジョブ5		グループ1	
ジョブ6		グループ1	
ジョブ7		グループ1	
ジョブ8		グループ1	
ジョブ9		グループ1	
ジョブ10		グループ1	
ジョブ11		グループ1	
ジョブ12		グループ1	
ジョブ13		グループ1	
ジョブ14		グループ1	
ジョブ15		グループ1	
ジョブ16		グループ1	
ジョブ17		グループ1	
ジョブ18		グループ1	
ジョブ19		グループ1	
ジョブ20		グループ1	
ジョブ21		グループ1	
ジョブ22		グループ1	
ジョブ23		グループ1	
ジョブ24		グループ1	
ジョブ25		グループ1	
ジョブ26		グループ1	
ジョブ27		グループ1	
ジョブ28		グループ1	
ジョブ29		グループ1	
ジョブ30		グループ1	
ジョブ31		グループ1	
ジョブ32		グループ1	
ジョブ33		グループ1	
ジョブ34		グループ1	
ジョブ35		グループ1	
ジョブ36		グループ1	
ジョブ37		グループ1	
ジョブ38		グループ1	
ジョブ39		グループ1	
ジョブ40		グループ1	
ジョブ41		グループ1	
ジョブ42		グループ1	
ジョブ43		グループ1	
ジョブ44		グループ1	
ジョブ45		グループ1	
ジョブ46		グループ1	
ジョブ47		グループ1	
ジョブ48		グループ1	
ジョブ49		グループ1	
ジョブ50		グループ1	
ジョブ51		グループ1	
ジョブ52		グループ1	
ジョブ53		グループ1	
ジョブ54		グループ1	
ジョブ55		グループ1	
ジョブ56		グループ1	
ジョブ57		グループ1	
ジョブ58		グループ1	
ジョブ59		グループ1	
ジョブ60		グループ1	
ジョブ61		グループ1	
ジョブ62		グループ1	
ジョブ63		グループ1	
ジョブ64		グループ1	
ジョブ65		グループ1	
ジョブ66		グループ1	
ジョブ67		グループ1	
ジョブ68		グループ1	
ジョブ69		グループ1	
ジョブ70		グループ1	
ジョブ71		グループ1	
ジョブ72		グループ1	
ジョブ73		グループ1	
ジョブ74		グループ1	
ジョブ75		グループ1	
ジョブ76		グループ1	
ジョブ77		グループ1	
ジョブ78		グループ1	
ジョブ79		グループ1	
ジョブ80		グループ1	
ジョブ81		グループ1	
ジョブ82		グループ1	
ジョブ83		グループ1	
ジョブ84		グループ1	
ジョブ85		グループ1	
ジョブ86		グループ1	
ジョブ87		グループ1	
ジョブ88		グループ1	
ジョブ89		グループ1	
ジョブ90		グループ1	
ジョブ91		グループ1	
ジョブ92		グループ1	
ジョブ93		グループ1	
ジョブ94		グループ1	
ジョブ95		グループ1	
ジョブ96		グループ1	
ジョブ97		グループ1	
ジョブ98		グループ1	
ジョブ99		グループ1	
ジョブ100		グループ1	
ジョブ101		グループ1	
ジョブ102		グループ1	
ジョブ103		グループ1	
ジョブ104		グループ1	
ジョブ105		グループ1	
ジョブ106		グループ1	
ジョブ107		グループ1	
ジョブ108		グループ1	
ジョブ109		グループ1	
ジョブ110		グループ1	
ジョブ111		グループ1	
ジョブ112		グループ1	
ジョブ113		グループ1	
ジョブ114		グループ1	
ジョブ115		グループ1	
ジョブ116		グループ1	
ジョブ117		グループ1	
ジョブ118		グループ1	
ジョブ119		グループ1	
ジョブ120		グループ1	
ジョブ121		グループ1	
ジョブ122		グループ1	
ジョブ123		グループ1	
ジョブ124		グループ1	
ジョブ125		グループ1	
ジョブ126		グループ1	
ジョブ127		グループ1	
ジョブ128		グループ1	
ジョブ129			

- 2 **「絞り込み」**に表示対象を絞り込むための文字列の一部またはすべてを入力します。
各項目の詳細は、**「ジョブ一覧」画面 (138 ページ)**を参照してください。
- 3 **「検索」** ボタンをクリックします。
絞り込み結果が表示されます。

ジョブグループを設定する

NX Manager の管理者用 Web 画面から、ジョブグループを設定します。

ジョブグループを新規作成する（認証方式が「認証なし」または「ジョブグループコード」の場合）

認証方式が「認証なし」または「ジョブグループコード」の場合、次の手順でジョブグループを新規作成します。

ここでは、認証方式が「認証なし」の場合を例に説明します。

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ジョブグループ」をクリックします。

「ジョブグループ一覧」画面が表示されます。

ジョブグループ一覧

ジョブグループ新規作成

 ←ここからジョブグループを作成してください

ジョブグループ名	説明	認証名	ジョブグループコード	ジョブグループの操作
0 件				

2 「ジョブグループ新規作成」 ボタンをクリックします。

「ジョブグループの新規作成（1/2）」画面が表示されます。

ジョブグループの新規作成（1/2）

このジョブグループの名前と説明を入力し、認証名を選択してください。

ジョブグループ：

説明：

認証名：

キャンセル

次へ

3 「ジョブグループ」、「説明」を入力し、「認証名」を選択します。

各項目の詳細は、「ジョブグループの新規作成（1/2）」画面/「ジョブグループの新規作成（1/3）」画面
(169 ページ)を参照してください。

ヒント

- 認証方式が「ジョブグループコード」の場合、「ジョブグループコード」も入力します。
- 認証方式が「認証なし」の場合、ジョブグループは1つの認証につき1つだけ作成できます。

4 「次へ」ボタンをクリックします。

「ジョブグループの新規作成（2/2）」画面が表示されます。

ジョブグループの新規作成 (2/2)

このジョブグループに含めるジョブを追加してください。

ジョブグループ: jobgroup

説明: jobgroup

認証名:

ジョブ一覧

ジョブ追加

ジョブ作成

履歴作成

一覧の操作

ジョブ名

説明

ジョブの操作

キャンセル

戻る

完了

5 ジョブグループにジョブを設定します。

各項目の詳細は、「[ジョブグループの新規作成（2/2）](#)」画面/「[ジョブグループの新規作成（2/3）](#)」画面（[170 ページ](#)）を参照してください。

- ジョブグループにジョブを追加する場合、次の手順で操作します。

a 「ジョブ追加」をクリックします。

ジョブグループにジョブを追加する画面が表示されます。

追加するジョブを選択してください。
ジョブグループ: jobgroup

検索

ジョブ名	説明	ジョブグループ名
☐		
☐		
☐		
☐		
☐		
☐	0000000053	
☐		

OK キャンセル

- b 追加するジョブのチェックボックスにチェックを付けます。
各項目の詳細は、[ジョブグループにジョブを追加する画面 \(179 ページ\)](#)を参照してください。
- c [OK] ボタンをクリックします。
ジョブグループにジョブが追加されます。
- ジョブグループにジョブを作成する場合、次の手順で操作します。
 - a 「ジョブ作成」をクリックします。

「ジョブの新規作成」画面が表示されます。

ジョブの新規作成

ジョブ名:

説明:

▼ プロファイル設定

使用するスキャナードライバ/プロファイル:

インポート...

▼ スキャナー固有設定

スキャナー:

設定を全機種に適用する

装置パネル設定

ジョブボタンカラー:

☐ 継続読み取りする

☐ サムネイルを表示する

画質モード:

標準

☐ スキャンボタンを表示する

☐ メッセージを表示する

メッセージ:

☐ メタデータをスキャナーから入力する

フィールド名:

☐ 入力を数字だけにする

☐ メッセージを表示する

メッセージ:

☐ ジョブ終了後に即時ログアウトする

b 各項目を設定します。

各項目の詳細は、「[ジョブの新規作成](#)」画面/「[ジョブの編集](#)」画面 (139 ページ)を参照してください。

c [保存] ボタンをクリックします。

ジョブグループにジョブが作成されます。

- ジョブグループに階層を作成する場合、次の手順で操作します。

a 「階層作成」をクリックします。

「階層の編集」画面が表示されます。

- b** 各項目を設定します。
各項目の詳細は、「[階層の編集](#)」画面 (177 ページ)を参照してください。
 - c** [OK] ボタンをクリックします。
ジョブグループに階層が作成されます。
- ジョブまたは階層の行をマウスでポイントすると表示される「一覧の操作」列で次の操作ができます。
 - (上へ移動)
ジョブまたは階層を上へ移動します。
 - (下へ移動)
ジョブまたは階層を下へ移動します。
 - (一覧から削除)
ジョブまたは階層を一覧から削除します。
- 「ジョブ名」列に階層名が表示されている場合は、およびが表示されます。
をクリックすると、階層を開きます。
をクリックすると、階層を閉じます。
- ジョブの行をマウスでポイントすると表示される「ジョブの操作」列で次の操作ができます。
 - 編集、参照作成
ジョブグループにジョブを作成する場合と同様の操作となります。

- 階層の行をマウスでポイントすると表示される「ジョブの操作」列で次の操作ができます。
 - ジョブ追加
ジョブグループにジョブを追加する場合と同様の操作となります。
 - ジョブ作成
ジョブグループにジョブを作成する場合と同様の操作となります。
 - 階層作成、編集、参照作成
ジョブグループに階層を作成する場合と同様の操作となります。

6 【完了】 ボタンをクリックします。

ジョブグループが作成されます。

ジョブグループを新規作成する（認証方式が「ユーザー名／パスワード」、 「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合）

認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合、次の手順でジョブグループを新規作成します。

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ジョブグループ」をクリックします。

「ジョブグループ一覧」画面が表示されます。

ジョブグループ一覧

ジョブグループ新規作成

←ここからジョブグループを作成してください

ジョブグループ名	説明	認証名	ジョブグループコード	ジョブグループの操作
0 件				

2 【ジョブグループ新規作成】 ボタンをクリックします。

「ジョブグループの新規作成（1/3）」画面が表示されます。

ジョブグループの新規作成（1/3）

このジョブグループの名前と説明を入力し、認証名を選択してください。

ジョブグループ：

説明：

認証名：

キャンセル

次へ

3 「ジョブグループ」、「説明」を入力し、「認証名」を選択します。

各項目の詳細は、「ジョブグループの新規作成（1/2）」画面/[「ジョブグループの新規作成（1/3）」画面（169 ページ）](#)を参照してください。

4 「次へ」 ボタンをクリックします。

「ジョブグループの新規作成（2/3）」画面が表示されます。

ジョブグループの新規作成 (2/3)

このジョブグループに含めるジョブを追加してください。

ジョブグループ: jobgroup

説明: jobgroup

認証名:

ジョブ一覧

ジョブ追加

ジョブ作成

離脱作成

一覧の操作

ジョブ名

説明

ジョブの操作

キャンセル

戻る

次へ

5 ジョブグループにジョブを設定します。

各項目の詳細は、「[ジョブグループの新規作成（2/2）](#)」画面/「[ジョブグループの新規作成（2/3）](#)」画面（170 ページ）を参照してください。

- ジョブグループにジョブを追加する場合、次の手順で操作します。

a 「ジョブ追加」をクリックします。

ジョブグループにジョブを追加する画面が表示されます。

追加するジョブを選択してください。
ジョブグループ: jobgroup

検索

ジョブ名	説明	ジョブグループ名
☐		
☐		
☐		
☐		
☐		
☐	0000000053	
☐		

OK キャンセル

- b 追加するジョブのチェックボックスにチェックを付けます。
各項目の詳細は、[ジョブグループにジョブを追加する画面 \(179 ページ\)](#)を参照してください。
- c [OK] ボタンをクリックします。
ジョブグループにジョブが追加されます。
- ジョブグループにジョブを作成する場合、次の手順で操作します。
 - a 「ジョブ作成」をクリックします。

「ジョブの新規作成」画面が表示されます。

ジョブの新規作成

ジョブ名:

説明:

▼ プロファイル設定

使用するスキャナードライバ/プロファイル:

インポート...

▼ スキャナー固有設定

スキャナー:

設定を全機種に適用する

装置パネル設定

ジョブボタンカラー:

☐ 継続読み取りする

☐ サムネイルを表示する

画質モード:

標準

☐ スキャンボタンを表示する

☐ メッセージを表示する

メッセージ:

☐ メタデータをスキャナーから入力する

フィールド名:

☐ 入力を数字だけにする

☐ メッセージを表示する

メッセージ:

☐ ジョブ終了後に即時ログアウトする

b 各項目を設定します。

各項目の詳細は、「[ジョブの新規作成](#)」画面/「[ジョブの編集](#)」画面 (139 ページ)を参照してください。

c [保存] ボタンをクリックします。

ジョブグループにジョブが作成されます。

- ジョブグループに階層を作成する場合、次の手順で操作します。

a 「階層作成」をクリックします。

「階層の編集」画面が表示されます。

- b** 各項目を設定します。
各項目の詳細は、「[階層の編集](#)」画面 (177 ページ)を参照してください。
 - c** [OK] ボタンをクリックします。
ジョブグループに階層が作成されます。
- ジョブまたは階層の行をマウスでポイントすると表示される「一覧の操作」列で次の操作ができます。
 - (上へ移動)
ジョブまたは階層を上へ移動します。
 - (下へ移動)
ジョブまたは階層を下へ移動します。
 - (一覧から削除)
ジョブまたは階層を一覧から削除します。
- 「ジョブ名」列に階層名が表示されている場合は、およびが表示されます。
 - をクリックすると、階層を開きます。
 - をクリックすると、階層を閉じます。
- ジョブの行をマウスでポイントすると表示される「ジョブの操作」列で次の操作ができます。
 - 編集、参照作成
ジョブグループにジョブを作成する場合と同様の操作となります。

- 階層の行をマウスでポイントすると表示される「ジョブの操作」列で次の操作ができます。
 - ジョブ追加
ジョブグループにジョブを追加する場合と同様の操作となります。
 - ジョブ作成
ジョブグループにジョブを作成する場合と同様の操作となります。
 - 階層作成、編集、参照作成
ジョブグループに階層を作成する場合と同様の操作となります。

6 【次へ】 ボタンをクリックします。

「ジョブグループの新規作成（3/3）」画面が表示されます。

ジョブグループの新規作成 (3/3)

このジョブグループを利用するユーザーを追加してください。

ジョブグループ: jobgroup
説明: jobgroup
認証名:

ユーザー一覧 [追加](#)

一覧の操作

識別子名

キャンセル

戻る

完了

7 ジョブグループにユーザーを設定します。

各項目の詳細は、「[ジョブグループの新規作成（3/3）画面（172 ページ）](#)」を参照してください。

- ジョブグループにユーザーを追加する場合、次の手順で操作します。
 - a 「追加」をクリックします。

ジョブグループにユーザーを追加する画面が表示されます。

このグループで利用するユーザーを選択してください。
ジョブグループ: jobgroup

検索

☐	ユーザー名	ジョブグループ名
☐	[blurred]	
☐	[blurred]	
☐	[blurred]	
☐	[blurred]	
☐	[blurred]	

OK キャンセル

- b 追加するユーザーのチェックボックスにチェックを付けます。
各項目の詳細は、[ジョブグループにユーザーを追加する画面 \(180 ページ\)](#)を参照してください。
- c [OK] ボタンをクリックします。
ジョブグループにユーザーが追加されます。

- ユーザーの行をマウスでポイントすると表示される「一覧の操作」列の (一覧から削除) をクリックして、ユーザーを一覧から削除できます。

- 8 **【完了】 ボタンをクリックします。**
ジョブグループが作成されます。

ジョブグループを新規作成する（認証方式が「スキャナー」の場合）

認証方式が「スキャナー」の場合、次の手順でジョブグループを新規作成します。

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ジョブグループ」をクリックします。

「ジョブグループ一覧」画面が表示されます。

ジョブグループ一覧

ジョブグループ新規作成

 ←ここからジョブグループを作成してください

ジョブグループ名	説明	認証名	ジョブグループコード	ジョブグループの操作
0 件				

2 「ジョブグループ新規作成」 ボタンをクリックします。

「ジョブグループの新規作成（1/3）」画面が表示されます。

ジョブグループの新規作成（1/3）

このジョブグループの名前と説明を入力し、認証名を選択してください。

ジョブグループ：

説明：

認証名：

キャンセル

次へ

3 「ジョブグループ」、「説明」を入力し、「認証名」を選択します。

各項目の詳細は、「ジョブグループの新規作成（1/2）」画面/[「ジョブグループの新規作成（1/3）」画面（169 ページ）](#)を参照してください。

4 「次へ」 ボタンをクリックします。

「ジョブグループの新規作成（2/3）」画面が表示されます。

ジョブグループの新規作成 (2/3)

このジョブグループに含めるジョブを追加してください。

ジョブグループ: jobgroup

説明: jobgroup

認証名:

ジョブ一覧

ジョブ追加

ジョブ作成

離脱作成

一覧の操作

ジョブ名

説明

ジョブの操作

キャンセル

戻る

次へ

5 ジョブグループにジョブを設定します。

各項目の詳細は、「[ジョブグループの新規作成（2/2）](#)」画面/「[ジョブグループの新規作成（2/3）](#)」画面（170 ページ）を参照してください。

- ジョブグループにジョブを追加する場合、次の手順で操作します。

a 「ジョブ追加」をクリックします。

ジョブグループにジョブを追加する画面が表示されます。

追加するジョブを選択してください。
ジョブグループ: jobgroup

検索

ジョブ名	説明	ジョブグループ名
☐ [redacted]	[redacted]	
☐ [redacted]		
☐ [redacted]		
☐ [redacted]		
☐ [redacted]		
☐ [redacted] 0000000053		
☐ [redacted]		

OK キャンセル

- b** 追加するジョブのチェックボックスにチェックを付けます。
各項目の詳細は、[ジョブグループにジョブを追加する画面 \(179 ページ\)](#)を参照してください。
- c** [OK] ボタンをクリックします。
ジョブグループにジョブが追加されます。
- ジョブグループにジョブを作成する場合、次の手順で操作します。
 - a** 「ジョブ作成」をクリックします。

「ジョブの新規作成」画面が表示されます。

ジョブの新規作成

ジョブ名:

説明:

▼ プロファイル設定

使用するスキャナードライバ/プロファイル:

インポート...

▼ スキャナー固有設定

スキャナー:

設定を全機種に適用する

装置パネル設定

ジョブボタンカラー:

☐ 継続読み取りする

☐ サムネイルを表示する

画質モード:

標準

☐ スキャンボタンを表示する

☐ メッセージを表示する

メッセージ:

☐ メタデータをスキャナーから入力する

フィールド名:

☐ 入力を数字だけにする

☐ メッセージを表示する

メッセージ:

☐ ジョブ終了後に即時ログアウトする

b 各項目を設定します。

各項目の詳細は、「[ジョブの新規作成](#)」画面/「[ジョブの編集](#)」画面 (139 ページ)を参照してください。

c [保存] ボタンをクリックします。

ジョブグループにジョブが作成されます。

- ジョブグループに階層を作成する場合、次の手順で操作します。

a 「階層作成」をクリックします。

「階層の編集」画面が表示されます。

- b** 各項目を設定します。
各項目の詳細は、「[階層の編集](#)」画面 (177 ページ)を参照してください。
 - c** [OK] ボタンをクリックします。
ジョブグループに階層が作成されます。
- ジョブまたは階層の行をマウスでポイントすると表示される「一覧の操作」列で次の操作ができます。
 - (上へ移動)
ジョブまたは階層を上へ移動します。
 - (下へ移動)
ジョブまたは階層を下へ移動します。
 - (一覧から削除)
ジョブまたは階層を一覧から削除します。
- 「ジョブ名」列に階層名が表示されている場合は、およびが表示されます。
 - をクリックすると、階層を開きます。
 - をクリックすると、階層を閉じます。
- ジョブの行をマウスでポイントすると表示される「ジョブの操作」列で次の操作ができます。
 - 編集、参照作成
ジョブグループにジョブを作成する場合と同様の操作となります。

- 階層の行をマウスでポイントすると表示される「ジョブの操作」列で次の操作ができます。

- ジョブ追加
ジョブグループにジョブを追加する場合と同様の操作となります。
- ジョブ作成
ジョブグループにジョブを作成する場合と同様の操作となります。
- 階層作成、編集、参照作成
ジョブグループに階層を作成する場合と同様の操作となります。

6 【次へ】 ボタンをクリックします。

「ジョブグループの新規作成（3/3）」画面が表示されます。

ジョブグループの新規作成 (3/3)

このジョブグループを利用するスキャナーを追加してください。

ジョブグループ: jobgroup
説明: jobgroup
認証名:

スキャナー一覧 [追加](#)

一覧の操作

スキャナー名

キャンセル

戻る

完了

7 ジョブグループにスキャナーを設定します。

各項目の詳細は、「[ジョブグループの新規作成（3/3）画面（172 ページ）](#)」を参照してください。

- ジョブグループにスキャナーを追加する場合、次の手順で操作します。
 - a 「追加」をクリックします。

ジョブグループにスキャナーを追加する画面が表示されます。

このグループで利用するスキャナーを選択してください。
ジョブグループ: jobgroup

検索

☐	スキャナー名	ジョブグループ名
☐	Scanner	
☐	001002	
☐	01-09	
☐	000108	

OK キャンセル

- b 追加するスキャナーのチェックボックスにチェックを付けます。
各項目の詳細は、[ジョブグループにスキャナーを追加する画面 \(181 ページ\)](#)を参照してください。
- c [OK] ボタンをクリックします。
ジョブグループにスキャナーが追加されます。

- スキャナーの行をマウスでポイントすると表示される「一覧の操作」列の （一覧から削除）をクリックして、スキャナーを一覧から削除できます。

- 8 **【完了】 ボタンをクリックします。**
ジョブグループが作成されます。

ジョブグループを参照作成する

ここでは、認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合を例に説明します。

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ジョブグループ」をクリックします。

「ジョブグループ一覧」画面が表示されます。

ジョブグループ一覧				
ジョブグループ新規作成 ←ここからジョブグループを作成してください				
ジョブグループ名	説明	認証名	ジョブグループコード	ジョブグループの操作
jobgroup	jobgroup			編集 参照作成 削除
1 件				

- 2 ジョブグループの行をマウスでポイントすると表示される「ジョブグループの操作」列の「参照作成」をクリックします。

「ジョブグループ参照作成」画面が表示されます。

ジョブグループ参照作成

ジョブグループ:

説明:

認証名:

▼ジョブ一覧

ジョブ追加

ジョブ作成

隔離作成

一覧の操作

ジョブ名

説明

ジョブの操作

▼ユーザー一覧

追加

一覧の操作

識別子名

キャンセル

完了

ヒント

認証方式が「認証なし」の場合、ジョブグループは参照作成できません。

3 各項目を設定します。

各項目の詳細は、「ジョブグループ参照作成」画面/「ジョブグループ編集」画面 (174 ページ)を参照してください。

ヒント

- 認証方式が「認証なし」の場合、ユーザー一覧は表示されません。
- 認証方式が「ジョブグループコード」の場合、ユーザー一覧は表示されません。「ジョブグループコード」の入力域が表示されます。
- 認証方式が「スキャナー」の場合、ユーザー一覧は表示されません。スキャナー一覧が表示されます。
- 参照作成の場合、認証名は変更できません。

4 [完了] ボタンをクリックします。

ジョブグループが作成されます。

ジョブグループを編集する

ここでは、認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合を例に説明します。

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ジョブグループ」をクリックします。
「ジョブグループ一覧」画面が表示されます。

ジョブグループ一覧				
ジョブグループ新規作成 ←ここからジョブグループを作成してください				
ジョブグループ名	説明	認証名	ジョブグループコード	ジョブグループの操作
jobgroup	jobgroup			編集 参照作成 削除
1 件				

- 2 ジョブグループの行をマウスでポイントすると表示される「ジョブグループの操作」列の「編集」をクリックします。

「ジョブグループ編集」画面が表示されます。

ジョブグループ編集

ジョブグループ:

説明:

認証名:

▼ ジョブ一覧

ジョブ追加

ジョブ作成

階層作成

一覧の操作

ジョブ名

説明

ジョブの操作

▼ ユーザー一覧

追加

一覧の操作

識別子名

キャンセル

完了

3 各項目を設定します。

各項目の詳細は、「[ジョブグループ参照作成](#)」画面/「[ジョブグループ編集](#)」画面 (174 ページ)を参照してください。

ヒント

- 認証方式が「認証なし」の場合、ユーザー一覧は表示されません。
- 認証方式が「ジョブグループコード」の場合、ユーザー一覧は表示されません。「ジョブグループコード」の入力域が表示されます。
- 認証方式が「スキャナー」の場合、ユーザー一覧は表示されません。スキャナー一覧が表示されます。

4 [完了] ボタンをクリックします。

設定内容が保存されます。

ジョブグループを削除する

ここでは、認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合を例に説明します。

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ジョブグループ」をクリックします。

「ジョブグループ一覧」画面が表示されます。

ジョブグループ一覧				
ジョブグループ新規作成 ←ここからジョブグループを作成してください				
ジョブグループ名	説明	認証名	ジョブグループコード	ジョブグループの操作
jobgroup	jobgroup			編集 参照作成 削除
1 件				

- 2 ジョブグループの行をマウスでポイントすると表示される「ジョブグループの操作」列の「削除」をクリックします。

確認の画面が表示されます。

- 3 [OK] ボタンをクリックします。

ジョブグループが削除されます。

IC カードを登録する

fi-7300NX (0M00 版以降) で、かつ認証方式と認証方法が以下の組み合わせの場合、IC カードを登録できます。

- 認証方式が「NFC」で、認証方法が「NFC ID 認証」
- 認証方式が「ユーザー名／パスワードまたは NFC」で、認証方法が「ユーザー名/パスワードまたは NFC ID 認証」

ヒント

- 事前に「ユーザー一覧」画面で、ユーザーまたはユーザーが所属するグループを登録してください。

- 以下のユーザーは IC カードを登録できません。
 - パスワードが設定されていないユーザー
 - 「ユーザー一覧」画面で追加したグループに所属するユーザーのうち、ユーザープリンシパル名（User Principal Name（以降、UPN））とパスワードが設定されていないユーザー

1 スキャナーの電源を投入します。

IC カードによるログイン画面が表示されます。
電源の投入方法は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

2 IC カードを非接触 IC カードリーダーにかざします。

IC カードを登録するかどうか、メッセージが表示されます。

3 [はい] ボタンを押します。

IC カードの登録画面が表示されます。

4 Active Directory のユーザー名とパスワードを入力し、[実行] ボタンを押します。

IC カードが NX Manager に登録され、ユーザー一覧画面に追加されます。

ここでは、NX Manager を使用した運用について説明します。

スキャナーでジョブを実行する

1 スキャナーの電源を投入します。

詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

スキャナーのタッチパネルまたは操作パネルの表示は、認証方式によって次のようになります。

認証方式	スキャナーのタッチパネルの表示	スキャナーの操作パネルの表示	
		液晶ディスプレイの場合	ファンクションナンバーディスプレイの場合
認証なし	ジョブが表示されます。	ジョブが表示されます。	「1」が表示されます。
ジョブグループコード	ジョブグループコードを入力する画面が表示されます。 ジョブグループコードを入力すると、ジョブグループコードに応じたジョブが表示されます。	ジョブグループコードを入力する画面が表示されます。 ジョブグループコードを入力すると、ジョブグループコードに応じたジョブが表示されます。	未サポートです。
ユーザー名／パスワード(*1)	ユーザー名およびパスワードを入力する画面が表示されます。 ユーザー名およびパスワードを入力すると、ユーザーに応じたジョブが表示されます。	未サポートです。	未サポートです。
NFC(*1)	非接触 IC カードリーダーに IC カードで認証するよう促す画面が表示されます。 非接触 IC カードリーダーに IC カードで認証すると、IC カードで認証したユーザーに応じたジョブが表示されます。	未サポートです。	未サポートです。
ユーザー名／パスワードまたは NFC(*1)	初期表示では、非接触 IC カードリーダーに IC カードで認証するよう促す画面が表示されます。	未サポートです。	未サポートです。

認証方式	スキャナーのタッチパネルの表示	スキャナーの操作パネルの表示	
		液晶ディスプレイの場合	ファンクションナンバーディスプレイの場合
	タブを切り替えると、ユーザー名およびパスワードを入力する画面が表示されます。非接触 IC カードリーダーに IC カードで認証するよう促す画面の場合、非接触 IC カードリーダーに IC カードで認証すると、IC カードで認証したユーザーに応じたジョブが表示されます。ユーザー名およびパスワードを入力する画面の場合、ユーザー名およびパスワードを入力すると、ユーザーに応じたジョブが表示されます。		
スキャナー	ジョブの一覧が表示されます。	ジョブの一覧が表示されます。	「1」が表示されます。

*1：空のパスワードを使用して認証することはできません。

2 スキャナーに原稿をセットします。

詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

3 ジョブを選択して読み取りを開始します。

- スキャナーにタッチパネルがある場合
タッチパネルでジョブを選択し、画面の指示に従って読み取りを開始します。
- スキャナーの操作パネルに液晶ディスプレイがある場合
[△] ボタン/ [▽] ボタンを押してジョブを選択し、[Scan/Enter] ボタンを押して読み取りを開始します。
- スキャナーに操作パネルにファンクションナンバーディスプレイがある場合
[Function] ボタンを押してジョブの数字（1～9）を選択し、[Scan/Stop] ボタンを押して読み取りを開始します。

スキャナーを管理する

NX Manager の管理者用 Web 画面から、スキャナーを管理します。

スキャナーを確認する

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「スキャナー」をクリックします。
「スキャナー一覧」画面が表示されます。

スキャナー一覧

スキャナーのインポート 選択スキャナー操作

絞り込み: 検索

☐	ID	状態	スキャナー名	機種名	ファームウェアバージョン	シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス	通信方式	認証名	ジョブグループ	スキャナーの操作
☐	1	未登録	スキャナー名	機種名		シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス				登録 削除
☐	2	未登録	スキャナー名	機種名		シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス				
☐	3	未登録	スキャナー名	機種名		シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス				
☐	4	未登録	スキャナー名	機種名		シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス				

4 件

- 2 スキャナーの情報を確認します。
各項目の詳細は、「スキャナー一覧」画面 (120 ページ) を参照してください。

スキャナーを削除する

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「スキャナー」をクリックします。
「スキャナー一覧」画面が表示されます。

スキャナー一覧

スキャナーのインポート 選択スキャナー操作

絞り込み: 検索

☐	ID	状態	スキャナー名	機種名	ファームウェアバージョン	シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス	通信方式	認証名	ジョブグループ	スキャナーの操作
☐	1	未登録	スキャナー名	機種名		シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス				登録 削除
☐	2	未登録	スキャナー名	機種名		シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス				
☐	3	未登録	スキャナー名	機種名		シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス				
☐	4	未登録	スキャナー名	機種名		シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス				

4 件

- 2 スキャナーの行をマウスでポイントすると表示される「スキャナーの操作」列の「削除」をクリックします。
確認の画面が表示されます。
- 3 【OK】 ボタンをクリックします。
スキャナーが削除されます。

スキャナーをまとめて削除する

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「スキャナー」をクリックします。
「スキャナー一覧」画面が表示されます。

ID	状態	スキャナー名	機種名	ファームウェアバージョン	シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス	通信方式	認識名	ジョブグループ	スキャナーの操作
1	未登録	スキャナー名	機種名		シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス				登録 削除
2	未登録	スキャナー名	機種名		シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス				
3	未登録	スキャナー名	機種名		シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス				
4	未登録	スキャナー名	機種名		シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス				

4 件

- 2 ID の左にあるチェックボックスにチェックを付けて、削除するスキャナーを選択します。
- 3 「選択スキャナー操作」の「スキャナー削除」をクリックします。
「スキャナーの削除」画面が表示されます。
- 4 【OK】 ボタンをクリックします。
選択したスキャナーが削除されます。

スキャナーを絞り込む

スキャナー一覧に表示するスキャナーを絞り込みます。

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「スキャナー」をクリックします。

「スキャナー一覧」画面が表示されます。

スキャナー一覧

スキャナーのインポート

選択スキャナー操作

絞り込み:

検索

☐	ID	状態	スキャナー名	機種名	ファームウェアバージョン	シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス	通信方式	認証名	ジョブグループ	スキャナーの操作
☐	1	未登録	スキャナー名	機種名		シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス				登録 削除
☐	2	未登録	スキャナー名	機種名		シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス				
☐	3	未登録	スキャナー名	機種名		シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス				
☐	4	未登録	スキャナー名	機種名		シリアル番号	IPアドレス	MACアドレス				

4 件

- 2 「絞り込み」に表示対象を絞り込むための文字列の一部またはすべてを入力します。
各項目の詳細は、「スキャナー一覧」画面 (120 ページ) を参照してください。

ヒント

絞り込んだ表示対象は、空白で検索するとリセットされます。

- 3 「検索」 ボタンをクリックします。
絞り込み結果が表示されます。

スキャナーを交換する

故障などの理由で、スキャナーを同じ機種のスキャナーに交換して、同じスキャナー名で使用する場合は手順を説明します。

重要

交換する前に使用していたスキャナーを NX Manager に接続しないでください。
交換したスキャナーの情報が、NX Manager に正しく反映されない可能性があります。

- 1 交換する前に使用していたスキャナーをネットワークから切断します。
- 2 交換したスキャナーの情報をインポートします。
詳細は、スキャナーの情報をインポートする (「CSV ファイル」の場合) (39 ページ) またはスキャナーの情報をインポートする (「ローカルネットワーク検索」の場合) (41 ページ) を参照してください。
- 3 交換したスキャナーをネットワークに接続し、電源を投入します。
- 4 スキャナーの登録作業をします。
詳細は、スキャナーを 1 台登録する (43 ページ) を参照してください。

ユーザーを管理する

NX Manager の管理者用 Web 画面から、ユーザーを管理します。

ユーザーを確認する

ここでは、アカウント管理が「Active Directory」の場合を例に説明します。

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ユーザー」をクリックします。
「ユーザー一覧」画面が表示されます。

ユーザー一覧

認証名:

[ユーザーの追加](#) [Active Directory と同期](#) [選択ユーザー操作](#)

[検索](#)

☐ 識別子名	種別	ジョブグループ	ユーザーのグループ	最終ログイン日時	ICカード	ユーザーの操作
0 件						

- 2 ユーザーの情報を確認します。

ユーザーを絞り込む

ユーザー一覧に表示するユーザーを絞り込みます。

ここでは、アカウント管理が「Active Directory」の場合を例に説明します。

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ユーザー」をクリックします。

「ユーザー一覧」画面が表示されます。

ユーザー一覧

認証名:

ユーザーの追加

Active Directoryと同期

選択ユーザー操作 ▾

検索

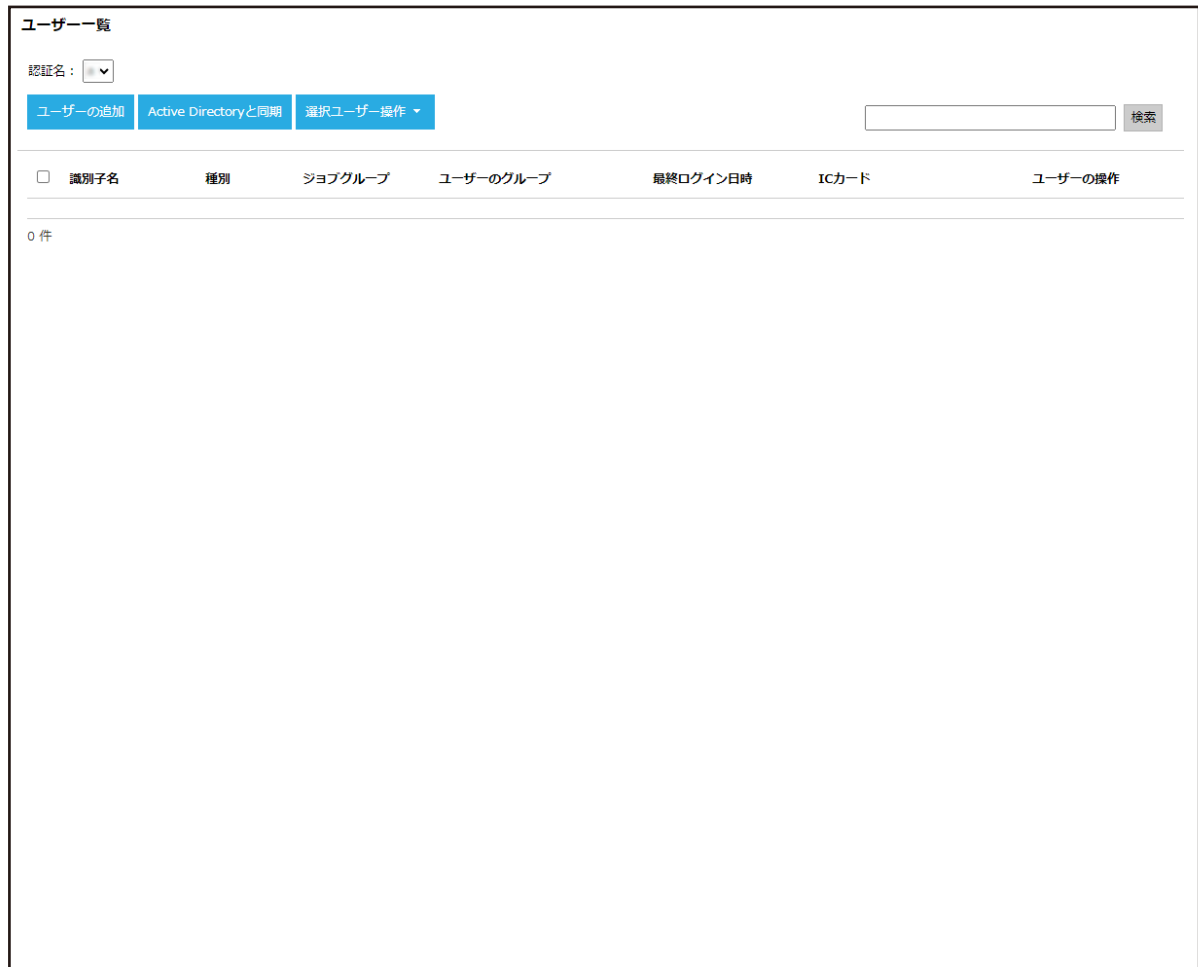
☐	識別子名	種別	ジョブグループ	ユーザーのグループ	最終ログイン日時	ICカード	ユーザーの操作
0 件							

- 2 「絞り込み」に表示対象を絞り込むための文字列の一部またはすべてを入力します。
各項目の詳細は、「ユーザー一覧」画面 (182 ページ)を参照してください。
- 3 【検索】 ボタンをクリックします。
絞り込み結果が表示されます。

ユーザーを削除する

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ユーザー」をクリックします。

「ユーザー一覧」画面が表示されます。



ユーザー一覧

認証名:

ユーザーの追加 Active Directoryと同期 選択ユーザー操作 ▼

検索

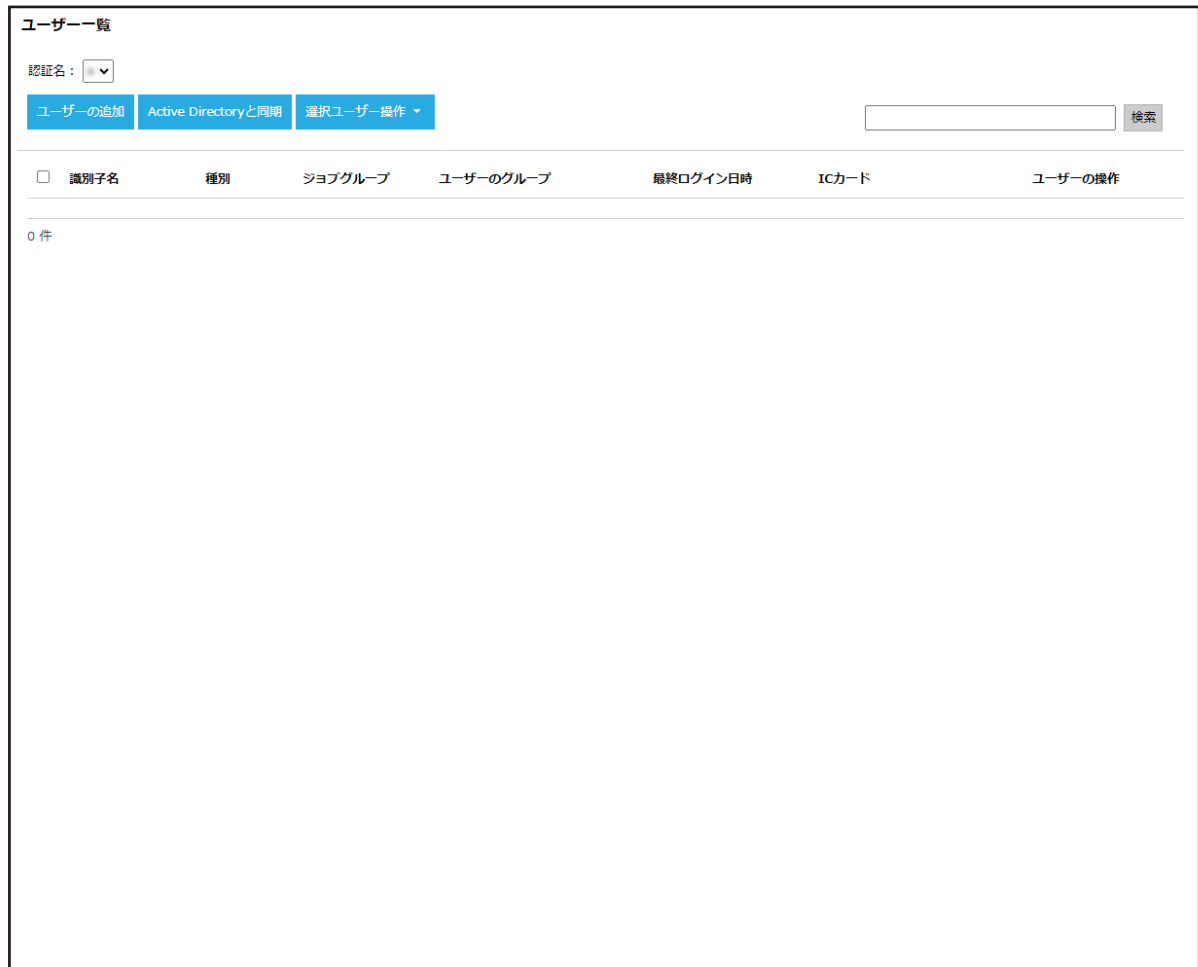
識別子名	種別	ジョブグループ	ユーザーのグループ	最終ログイン日時	ICカード	ユーザーの操作
0 件						

- 2 ユーザーの行をマウスでポイントすると表示される「ユーザーの操作」列の「ユーザーの削除」をクリックします。
確認の画面が表示されます。
- 3 [OK] ボタンをクリックします。
ユーザーが削除されます。

ユーザーの IC カードを削除する

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ユーザー」をクリックします。

「ユーザー一覧」画面が表示されます。



ユーザー一覧

認証名:

ユーザーの追加 Active Directoryと同期 選択ユーザー操作

検索

識別子名	種別	ジョブグループ	ユーザーのグループ	最終ログイン日時	ICカード	ユーザーの操作
0 件						

- 2 ユーザーの行をマウスでポイントすると表示される「ユーザーの操作」列の「IC カードの削除」をクリックします。
確認の画面が表示されます。
- 3 [OK] ボタンをクリックします。
IC カードが削除されます。

ユーザーまたはユーザーの IC カードをまとめて削除する

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ユーザー」をクリックします。

「ユーザー一覧」画面が表示されます。

ユーザー一覧

認証名:

[ユーザーの追加](#) [Active Directoryと同期](#) [選択ユーザー操作 ▼](#) [検索](#)

☐	識別子名	種別	ジョブグループ	ユーザーのグループ	最終ログイン日時	ICカード	ユーザーの操作
0 件							

- 2 識別子名の左にあるチェックボックスにチェックを付けて、削除するユーザーを選択します。
各項目の詳細は、「ユーザー一覧」画面 (182 ページ) を参照してください。
- 3 「選択ユーザー操作」の「ユーザーの削除」をクリックします。
「ユーザーの削除」画面が表示されます。
- 4 [OK] ボタンをクリックします。
選択したユーザーが削除されます。

ユーザーを更新する (Active Directory)

Active Directory でユーザー名やグループ名を更新、またはグループの所属ユーザーを変更した場合、NX Manager のユーザーおよびグループを更新します。

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ユーザー」をクリックします。

「ユーザー一覧」画面が表示されます。

ユーザー一覧

認証名:

ユーザーの追加

Active Directoryと同期

選択ユーザー操作 ▾

検索

☐	識別子名	種別	ジョブグループ	ユーザーのグループ	最終ログイン日時	ICカード	ユーザーの操作
0 件							

2 【Active Directory と同期】 ボタンをクリックします。

ユーザーおよびグループの情報が更新されます。各項目の詳細は、[「ユーザー一覧」画面 \(182 ページ\)](#) を参照してください。

プロフィールを管理する

NX Manager の管理者用 Web 画面から、プロフィールを管理します。

プロフィールを確認する

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「プロフィール」をクリックします。

「プロフィール一覧」画面が表示されます。

プロフィール一覧

プロフィールのインポート

絞り込み:

検索

ID	プロフィール名	プロフィールの操作
1	PaperStreamIP_Default	
2	B&W Default	
3	Color Default	
4	Auto-Color Default	
5		
6		
7	Color A4	削除
8	B&W A4	
9	Auto-Color A4	

9 件

2 プロファイルの情報を確認します。

各項目の詳細は、「[プロフィール一覧](#)」画面 (186 ページ)を参照してください。

プロフィールをインポートする

重要

- プロファイルをインポートする前に、スキャナーのすべてのジョブが完了していることを確認してください。
ジョブが実行されていると、プロフィールをインポートできません。
- プリセットプロフィールと同じ名前のプロフィールはインポートできません。

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「プロフィール」をクリックします。

「プロファイル一覧」画面が表示されます。

プロファイル一覧

プロファイルのインポート

絞り込み:

検索

ID	プロファイル名	プロファイルの操作
1	PaperStreamIP_Default	
2	B&W Default	
3	Color Default	
4	Auto-Color Default	
5		
6		
7	Color A4	削除
8	B&W A4	
9	Auto-Color A4	

9 件

2 【プロファイルのインポート】 ボタンをクリックします。

「アップロードするファイルの選択」画面が表示されます。

3 インポートする PaperStream IP ドライバーのプロファイルを選択します。

インポートできる PaperStream IP ドライバーのプロファイルは、PaperStream IP ドライバーから退避した読み取りプロファイル (*.pav) です。

4 【開く】 ボタンをクリックします。

インポートしたプロファイルが追加されます。

ヒント

インポートするプロファイルと同じ名前のプロファイルがすでにある場合は、メッセージが表示され、すでにあるプロファイルが、インポートするプロファイルで上書きされます。

プロファイルを削除する

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「プロファイル」をクリックします。

「プロファイル一覧」画面が表示されます。

プロファイル一覧

プロファイルのインポート

絞り込み:

検索

ID	プロファイル名	プロファイルの操作
1	PaperStreamIP_Default	
2	B&W Default	
3	Color Default	
4	Auto-Color Default	
5		
6		
7	Color A4	削除
8	B&W A4	
9	Auto-Color A4	

9 件

- 2 プロファイルの行をマウスでポイントすると表示される「プロファイルの操作」列の「削除」をクリックします。

確認の画面が表示されます。

- 3 [OK] ボタンをクリックします。

プロファイルが削除されます。

プロファイルを絞り込む

プロファイル一覧に表示するプロファイルを絞り込みます。

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「プロファイル」をクリックします。

「プロファイル一覧」画面が表示されます。

プロファイル一覧

プロファイルのインポート

絞り込み :

検索

ID	プロファイル名	プロファイルの操作
1	PaperStreamIP_Default	
2	B&W Default	
3	Color Default	
4	Auto-Color Default	
5		
6		
7	Color A4	削除
8	B&W A4	
9	Auto-Color A4	

9 件

2 「絞り込み」に表示対象を絞り込むための文字列の一部またはすべてを入力します。

各項目の詳細は、「[プロファイル一覧](#)」画面 (186 ページ)を参照してください。

3 【検索】 ボタンをクリックします。

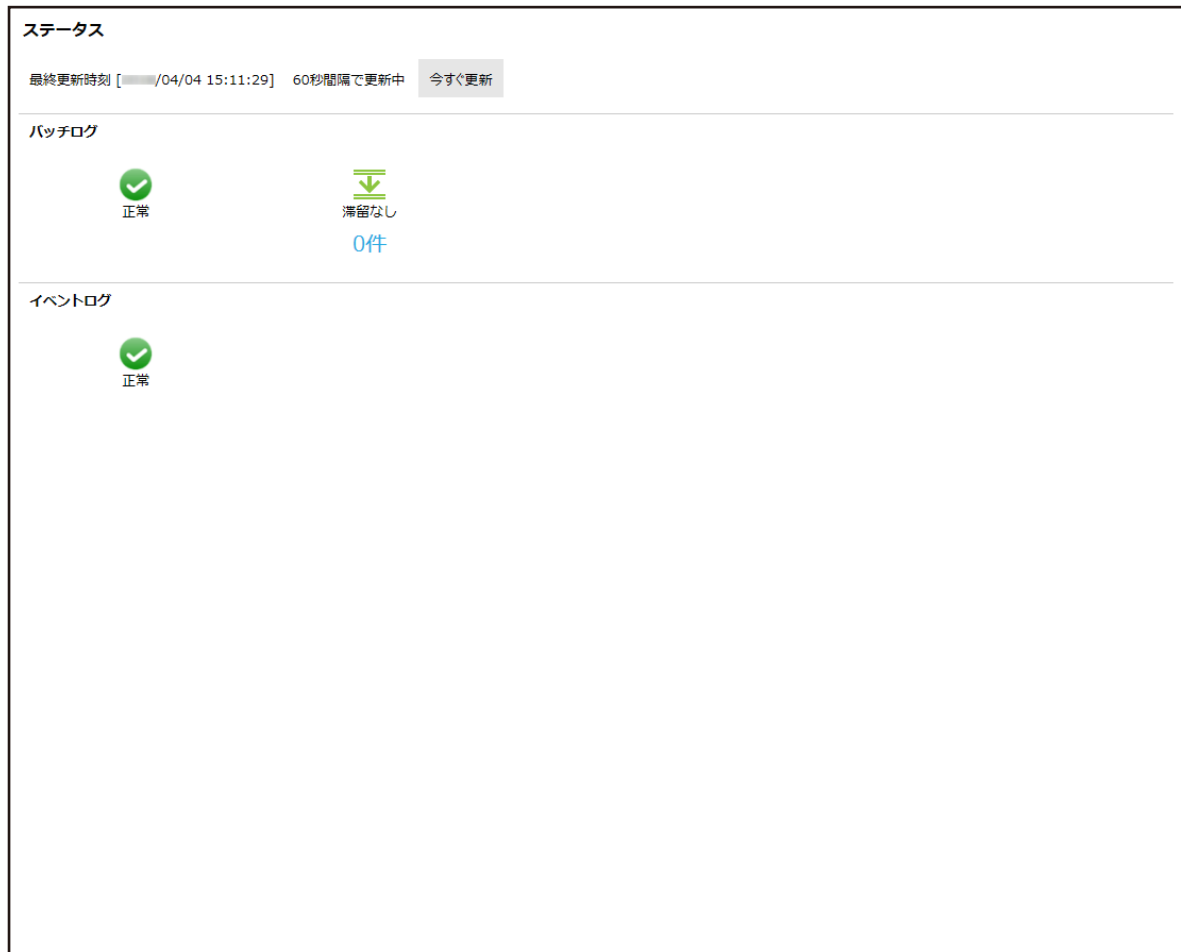
絞り込み結果が表示されます。

ステータスを確認する

NX Manager の管理者用 Web 画面から、ステータスを確認します。

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ステータス」をクリックします。

「ステータス」画面が表示されます。



2 「バッチログ」および「イベントログ」の状態を確認します。

各項目の詳細は、「[ステータス](#)」画面 (187 ページ)を参照してください。

読み取り状況を監視する

NX Manager の管理者用 Web 画面から、読み取り状況を監視します。

読み取り状況を確認する

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「バッチログ」をクリックします。

「バッチログ一覧」画面が表示されます。

[illegible]

2 読み取り状況を確認します。

各項目の詳細は、「バッチログ一覧」画面 (189 ページ) を参照してください。

ヒント

バッチログの詳細は、「開始日時」列のバッチログをクリックして表示される「バッチログ詳細」画面で確認できます。

「バッチログ詳細」画面の詳細は、「バッチログ詳細」画面 (192 ページ)を参照してください。

読み取り状況をエクスポートする

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「バッチログ」をクリックします。

「バッチログ一覧」画面が表示されます。

バッチログ一覧

🟢 滞留バッチ数 : 0 最終更新時刻 [/10/16 10:54:21]

日時: /09/16 10:54:21 - /10/16 10:54:21 状態: すべて

開始日時 ▼	スキャナー名	ユーザー名	ジョブ名	状態	説明	バッチの操作
/10/16 9:07:08				エラー	画像の保存に失敗しました。詳細：指定されたフォルダへの接続に失敗しました。ネットワークに接続されていない可能性があります。フォルダパス：	再試行 削除
/10/16 9:06:51				完了		削除
/10/16 9:06:46				完了		削除

3 件

2 「エクスポート」 ボタンをクリックします。

確認の画面が表示されます。

3 「OK」 ボタンをクリックします。

ファイルを開くか、または保存するか確認する画面が表示されます。

4 「保存」 ボタンの右側にある【▼】 ボタンをクリックし、「名前を付けて保存」をクリックします。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

5 「ファイル名」を入力し、「ファイルの種類」を選択します。

6 「保存」 ボタンをクリックします。

読み取り状況をエクスポートしたファイルが保存されます。

読み取り状況の状態をエラーから確認済みにする

バッチログを確認したことがわかるように、バッチの状態を「エラー」から「エラー(確認済み)」にします。

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「バッチログ」をクリックします。

「バッチログ一覧」画面が表示されます。

[illegible]

- 2 【エラーをすべて確認済みにする】 ボタンをクリックします。**
確認の画面が表示されます。
- 3 【OK】 ボタンをクリックします。**
状態が「エラー」のバッチがすべて「エラー(確認済み)」になります。

読み取り状況を絞り込む

バッチログ一覧に表示するバッチログ（読み取り状況）を絞り込みます。

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「バッチログ」をクリックします。

「バッチログ一覧」画面が表示されます。

バッチログ一覧

🟢 滞留バッチ数 : 0 最終更新時刻 [/10/16 10:54:21]

日時: [/09/16] [10:54:21] - [/10/16] [10:54:21]
 状態: [すべて]

開始日時	スキャナー名	ユーザー名	ジョブ名	状態	説明	バッチの操作
/10/16 9:07:08				エラー	画像の保存に失敗しました。詳細：指定されたフォルダへの接続に失敗しました。ネットワークに接続されていない可能性があります。フォルダパス：[]	再試行 削除
/10/16 9:06:51				完了		削除
/10/16 9:06:46				完了		削除

3 件

2 「日時」を入力し、「状態」を選択して、「絞り込み」に表示対象を絞り込むための文字列の一部またはすべてを入力します。

各項目の詳細は、「バッチログ一覧」画面 (189 ページ) を参照してください。

3 **【検索】** ボタンをクリックします。

絞り込み結果が表示されます。

バッチを再試行する

NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「バッチログ」をクリックして表示される「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列に「再試行」が表示されている場合、[NX Manager の管理者用 Web 画面に表示されるバッチログのメッセージ \(204 ページ\)](#) を参照して対処してから、バッチを再試行します。

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「バッチログ」をクリックします。

「バッチログ一覧」画面が表示されます。

バッチログ一覧

🟢 滞留バッチ数 : 0 最終更新時刻 [/10/16 10:54:21]

日時: [/09/16] [10:54:21] - [/10/16] [10:54:21] 状態: [すべて]

開始日時	スキャナー名	ユーザー名	ジョブ名	状態	説明	バッチの操作
/10/16 9:07:08				エラー	画像の保存に失敗しました。詳細: 指定されたフォルダへの接続に失敗しました。ネットワークに接続されていない可能性があります。フォルダパス:	再試行 削除
/10/16 9:06:51				完了		削除
/10/16 9:06:46				完了		削除

3 件

2 「バッチの操作」列の「再試行」をクリックします。

確認の画面が表示されます。

3 [OK] ボタンをクリックします。

バッチが再試行されます。

バッチを削除する

不要になったバッチを削除します。

ヒント

バッチの状態が「エラー」、「OCR エラー」、「完了」または「エラー(確認済み)」の場合に削除できます。

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「バッチログ」をクリックします。

「バッチログ一覧」画面が表示されます。

[illegible]

- 2 「バッチの操作」列の「削除」をクリックします。
確認の画面が表示されます。
- 3 [OK] ボタンをクリックします。
バッチが削除されます。

イベントログを管理する

NX Manager の管理者用 Web 画面から、イベントログを管理します。

このイベントログでは、NX Manager で発生したシステムエラーや、NX Manager の構成エラーを確認できます。

イベントログを確認する

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「イベントログ」をクリックします。

「イベントログ一覧」画面が表示されます。

イベントログ一覧

エクスポート

クリア

エラーをすべて確認済みにする

種別による絞り込み:

☒ 情報
 ☒ 警告
 ☒ エラー
 ☒ エラー(確認済み)

絞り込み:

検索

発生日時 ▼	種別	メッセージ
/03/30 23:22:10	エラー(確認済み)	サービスが停止しました。サービス名: NxManagerImageSchedule 詳細: 基になるプロバイダーが Open で失敗しました。

1 件

2 イベントログを確認します。

各項目の詳細は、「[イベントログ一覧](#)」画面 (193 ページ)を参照してください。

ヒント

イベントログの詳細は、「発生日時」列のイベントログをクリックして表示される「イベントログ詳細」画面で確認できます。

「イベントログ詳細」画面の詳細は、「[イベントログ詳細](#)」画面 (194 ページ)を参照してください。

イベントログをエクスポートする

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「イベントログ」をクリックします。

「イベントログ一覧」画面が表示されます。

イベントログ一覧

エクスポート

クリア

エラーをすべて確認済みにする

種別による絞り込み: ☒ 情報 ☒ 警告 ☒ エラー ☒ エラー(確認済み)
 絞り込み:

検索

発生日時 ▼	種別	メッセージ
/03/30 23:22:10	エラー(確認済み)	サービスが停止しました。サービス名: NxManagerImageSchedule 詳細: 基になるプロバイダーが Open で失敗しました。

1 件

2 [エクスポート] ボタンをクリックします。

確認の画面が表示されます。

3 [OK] ボタンをクリックします。

ファイルを開くか、または保存するか確認する画面が表示されます。

4 [保存] ボタンの右側にある【▼】ボタンをクリックし、「名前を付けて保存」をクリックします。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

5 「ファイル名」を入力し、「ファイルの種類」を選択します。

6 [保存] ボタンをクリックします。

イベントログをエクスポートしたファイルが保存されます。

イベントログをクリアする

イベントログ一覧に表示されるイベントログが多くなった場合や初期化したい場合に、イベントログをクリアします。

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「イベントログ」をクリックします。

「イベントログ一覧」画面が表示されます。

イベントログ一覧

エクスポート

クリア

エラーをすべて確認済みにする

種別による絞り込み:
☒ 情報
☒ 警告
☒ エラー
☒ エラー(確認済み)
絞り込み:

検索

発生日時 ▼	種別	メッセージ
 /03/30 23:22:10	エラー(確認済み)	サービスが停止しました。サービス名: NxManagerImageSchedule 詳細: 基になるプロバイダーが Open で失敗しました。

1 件

2 [クリア] ボタンをクリックします。

確認の画面が表示されます。

3 [OK] ボタンをクリックします。

イベントログがクリアされます。

イベントログの種別をエラーから確認済みにする

イベントログを確認したことがわかるように、イベントログの種別を「エラー」から「エラー(確認済み)」にします。

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「イベントログ」をクリックします。

「イベントログ一覧」画面が表示されます。

イベントログ一覧

エクスポート

クリア

エラーをすべて確認済みにする

種別による絞り込み:

☒ 情報
 ☒ 警告
 ☒ エラー
 ☒ エラー(確認済み)

絞り込み:

検索

発生日時 ▼	種別	メッセージ
/03/30 23:22:10	エラー(確認済み)	サービスが停止しました。サービス名: NxManagerImageSchedule 詳細: 基になるプロバイダーが Open で失敗しました。

1 件

2 「エラーをすべて確認済みにする」ボタンをクリックします。

確認の画面が表示されます。

3 「OK」ボタンをクリックします。

種別が「エラー」のイベントログがすべて「エラー(確認済み)」になります。

イベントログを絞り込む

イベントログ一覧に表示するイベントログを絞り込みます。

1 NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「イベントログ」をクリックします。

「イベントログ一覧」画面が表示されます。

イベントログ一覧

エクスポート

クリア

エラーをすべて確認済みにする

種別による絞り込み:
☒ 情報
☒ 警告
☒ エラー
☒ エラー(確認済み)
絞り込み:

検索

発生日時 ▼	種別	メッセージ
/03/30 23:22:10	エラー(確認済み)	サービスが停止しました。サービス名: NxManagerImageSchedule 詳細: 基になるプロバイダーが Open で失敗しました。

1 件

- 2 「種別による絞り込み」で表示する種別のチェックボックスにチェックを付け、「絞り込み」に表示対象を絞り込むための文字列の一部またはすべてを入力します。

各項目の詳細は、「イベントログ一覧」画面 (193 ページ)を参照してください。

- 3 「検索」 ボタンをクリックします。

絞り込み結果が表示されます。

NX Manager にログインするときのパスワードを変更する

NX Manager にログインするときのパスワードを変更します。

- 1 NX Manager の管理者用 Web 画面の右上にあるログインユーザー名をマウスでポイントすると表示される「パスワード変更」をクリックします。

「パスワード変更」画面が表示されます。

パスワード変更 ?

ユーザー名: admin

現パスワード:

新パスワード:

新パスワード確認入力:

パスワード変更 キャンセル

2 各項目を入力します。

各項目の詳細は、「パスワード変更」画面 (120 ページ)を参照してください。

3 「パスワード変更」 ボタンをクリックします。

パスワードが変更されます。

重要

パスワードを紛失すると、ログインできなくなります。

パスワードの管理はしっかり行ってください。

万一、パスワードを紛失した場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。

株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

保守

ここでは、NX Manager の保守について説明します。

NX Manager に関するデータを退避・復元する

NX Manager に関するデータを退避・復元するツールを同梱しています。

重要

- NX Manager に関するデータを退避・復元するツールは、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで実行してください。
- NX Manager に関するデータを退避・復元する場合は、NX Manager の Database に関するデータも退避・復元する必要があります。
NX Manager の Database に関するデータの退避・復元では、NX Manager にインポートした PaperStream IP ドライバーのプロファイルも退避・復元します。
旧バージョンから新バージョンの NX Manager へ NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する場合は、[NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する \(114 ページ\)](#)のツールを使用してください。
同一バージョンの NX Manager へ NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する場合は、[NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する \(114 ページ\)](#)のツールまたは [NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する \(簡易ツール\) \(115 ページ\)](#)の簡易ツールを使用してください。

NX Manager に関するデータを退避する

NX Manager に関するデータを退避します。

退避ファイルを使って、NX Manager に関するデータを復元できます。万一に備え、定期的に退避してください。

なお、NX Manager に関するデータの退避中は、NX Manager の機能は一時的に停止します。NX Manager の機能を使用しているときは、NX Manager に関するデータを退避しないでください。

- コマンド格納先

NX Manager のインストールフォルダー¥NXManager¥Application¥Bin フォルダー配下

- コマンド実行形式

NmBackup.exe バックアップファイル名

- 復帰値

- 0

正常終了

- 0 以外

異常終了

NX Manager に関するデータを復元する

退避した NX Manager に関するデータを NX Manager に戻して、NX Manager に関するデータを復元します。

- コマンド格納先

NX Manager のインストールフォルダー¥NXManager¥Application¥Bin フォルダ配下

- コマンド実行形式

NmRestore.exe バックアップファイル名

- 復帰値

- 0

正常終了

- 0 以外

異常終了

NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する

NX Manager の Database に関するデータを退避・復元するツールを同梱しています。

NX Manager にインポートした PaperStream IP ドライバーのプロファイルも退避・復元します。

重要

- NX Manager の Database に関するデータを退避・復元するツールは、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで実行してください。
- NX Manager の Database に関するデータを退避・復元すると、バッチログおよびイベントログのデータも復元されます。
- NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する場合は、NX Manager のバッチ処理がすべて完了していることを確認してから実施してください。
処理中のバッチが存在する状態で NX Manager の Database に関するデータを退避・復元すると、バッチ処理が正しく実行されない場合があります。
- NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する場合は、NX Manager に関するデータも退避・復元する必要があります。
詳細は、[NX Manager に関するデータを退避・復元する \(113 ページ\)](#)を参照してください。
- 旧バージョンから新バージョンの NX Manager へ NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する場合は、このツールを使用してください。
同一バージョンの NX Manager へ NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する場合は、このツールまたは [NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する \(簡易ツール\) \(115 ページ\)](#)の簡易ツールを使用してください。

NX Manager の Database に関するデータを退避する

NX Manager の Database に関するデータを退避します。

退避ファイルを使って、NX Manager の Database に関するデータを復元できます。万一に備え、定期的に退避してください。

- コマンド格納先

NX Manager のインストールフォルダー¥NXManager¥Database¥Bin フォルダ配下

- コマンド実行形式

NmDatabaseBackup.exe バックアップファイル名

- 復帰値

- 0

正常終了

- 0 以外

異常終了

NX Manager の Database に関するデータを復元する

退避した NX Manager の Database に関するデータを NX Manager の Database に戻して、NX Manager の Database に関するデータを復元します。

重要

すでにあるプロファイル名と同じ名前のプロファイルが含まれるデータを復元する場合、同じ名前のプロファイルは、ファイル名の末尾に連番が付与されます。

- コマンド格納先

NX Manager のインストールフォルダー¥NXManager¥Database¥Bin フォルダ配下

- コマンド実行形式

NmDatabaseRestore.exe バックアップファイル名

- 復帰値

- 0

正常終了

- 0 以外

異常終了

NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する（簡易ツール）

SQL Server の機能を利用して NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する簡易ツールを同梱しています。

この簡易ツールは、同一バージョンの NX Manager へ NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する場合に使用してください。

NX Manager にインポートした PaperStream IP ドライバーのプロファイルも退避・復元します。

重要

- NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する簡易ツールは、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで実行してください。
- NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する場合は、NX Manager のバッチ処理がすべて完了していることを確認してから実施してください。
処理中のバッチが存在する状態で NX Manager の Database に関するデータを退避・復元すると、バッチ処理が正しく実行されない場合があります。
- NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する場合は、NX Manager に関するデータも退避・復元する必要があります。
詳細は、[NX Manager に関するデータを退避・復元する \(113 ページ\)](#)を参照してください。
- 旧バージョンから新バージョンの NX Manager へ NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する場合は、[NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する \(114 ページ\)](#)のツールを使用してください。
同一バージョンの NX Manager へ NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する場合は、[NX Manager の Database に関するデータを退避・復元する \(114 ページ\)](#)のツールまたはこの簡易ツールを使用してください。

NX Manager の Database に関するデータを退避する（簡易ツール）

SQL Server の機能を利用して NX Manager の Database に関するデータを退避・復元するツールを実行して、NX Manager の Database に関するデータを退避します。

- コマンド格納先

NX Manager Database のインストールフォルダー¥NXManager¥Database¥Bin フォルダ配下

- コマンド実行形式

NmBackupDatabase.bat データベースインスタンス名 バックアップフォルダー名

例：

NmBackupDatabase.bat .¥NXMANAGER C:¥Temp¥NXManagerDatabaseBackup

NX Manager の Database に関するデータを復元する（簡易ツール）

SQL Server の機能を利用して NX Manager の Database に関するデータを退避・復元するツールを実行して、NX Manager の Database に関するデータを復元します。

重要

すでにあるプロファイル名と同じ名前のプロファイルが含まれるデータを復元する場合、同じ名前のプロファイルは、ファイル名の末尾に連番が付与されます。

- コマンド格納先

NX Manager Database のインストールフォルダー¥NXManager¥Database¥Bin フォルダ配下

- コマンド実行形式

NmRestoreDatabase.bat データベースインスタンス名 バックアップフォルダー名

例：

NmRestoreDatabase.bat .¥NXMANAGER C:¥Temp¥NXManagerDatabaseBackup

NX Manager の保守情報を採取する

NX Manager の導入や運用中になんらかのトラブルが発生したときに、原因を究明するために、NX Manager が保持している保守情報を採取します。

なお、保守情報の採取中は、NX Manager の機能は一時的に停止します。サポートで保守情報の採取を指示されたり、トラブルが発生したとき以外は、保守情報を採取しないでください。

- コマンド格納先

コマンド格納先について、次の場合ごとに説明します。

- NX Manager をサーバー 1 台で運用する場合

次に示すどちらかのフォルダーに格納されているコマンドを実行してください。

どちらのフォルダーに格納されているコマンドを実行しても同じ保守情報が採取されるため、どちらでコマンドを実行してもかまいません。

NX Manager のインストールフォルダー¥NXManager¥Application¥Bin フォルダー配下

または

NX Manager Database のインストールフォルダー¥NXManager¥Database¥Bin フォルダー配下

- NX Manager Database を別サーバーで運用する場合

- NX Manager および PaperStream IP (TWAIN x64) をインストールしたサーバー

次に示すフォルダーに格納されているコマンドを実行してください。

NX Manager のインストールフォルダー¥NXManager¥Application¥Bin フォルダー配下

- NX Manager Database をインストールしたサーバー

次に示すフォルダーに格納されているコマンドを実行してください。

NX Manager Database のインストールフォルダー¥NXManager¥Database¥Bin フォルダー配下

NX Manager Database を別サーバーで運用する場合の詳細は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。

株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

- コマンド実行形式

NmInvestigate.exe -d 出力先フォルダー名 [-p 暗号化パスワード] [-v]

-v は処理の状態を表示する場合に指定します。

- 復帰値

- 0

正常終了

- 0 以外

異常終了

保守情報は、情報の種別ごとに分けて指定した出力先フォルダーに出力されます。

暗号化パスワードを指定すると、保守情報は暗号化されます。

画面

ここでは、NX Manager の管理者用 Web 画面について説明します。

重要

ブラウザでタブを複製しないでください。タブを複製した場合の動作は保証しません。

ログインの画面

NX Manager にログインするときのユーザー名およびパスワードを入力します。

ユーザー名

NX Manager にログインするときのユーザー名を入力します。

パスワード

NX Manager にログインするときのパスワードを入力します。

【ログイン】 ボタン

入力したユーザー名およびパスワードで NX Manager にログインします。

NX Manager の管理者用 Web 画面の共通項目

左メニュー

左メニューの各項目をクリックすると、右側に各項目の画面が表示されます。

ヒント

左メニューの「ユーザー」は、認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合に表示されます。



現在表示している画面のヘルプを表示します。

NX Manager にログインしているユーザー名が表示されます。

このログインユーザー名をマウスでポイントすると表示される「パスワード変更」をクリックすると「パスワード変更」画面が表示され、NX Manager にログインするときのパスワードを変更できます。

「パスワード変更」画面の詳細は、[「パスワード変更」画面 \(120 ページ\)](#)を参照してください。



NX Manager からログアウトします。

「パスワード変更」画面

NX Manager にログインするときのパスワードを変更します。

ユーザー名

NX Manager にログインしているユーザー名が表示されます。

現パスワード

NX Manager にログインするときの現在のパスワードを入力します。

新パスワード

NX Manager にログインするときの新しいパスワードを入力します。

入力できる最小文字数は、7 文字です。

入力できる最大文字数は、128 文字です。

半角の英文字、数字、および記号が入力できます。

新パスワード確認入力

NX Manager にログインするときの新しいパスワードを再入力します。

【パスワード変更】 ボタン

NX Manager にログインするときのパスワードを変更します。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

スキャナー

「スキャナー一覧」画面

スキャナーを確認、削除、絞り込みをします。

【スキャナーのインポート】 ボタン

登録するスキャナーの情報をインポートします。

[「スキャナーのインポート」画面 \(122 ページ\)](#)が表示されます。

選択スキャナー操作

ID の左側にあるチェックボックスにチェックを付けて選択したスキャナーの操作を選択します。

- スキャナー登録

選択したスキャナーを登録します。

登録対象は、fi-8040、fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250 です。

「[スキャナーの登録](#)」画面 (124 ページ)が表示され、スキャナーをまとめて登録できます。

- スキャナー削除
選択したスキャナーを削除します。
「スキャナーの削除」画面が表示され、スキャナーをまとめて削除できます。

絞り込み

表示対象を絞り込むための文字列の一部またはすべてを入力します。

入力できる最大文字数は、32 文字です。

【検索】 ボタン

絞り込み結果を表示します。

ID

ID が表示されます。

「ID」の左側にあるチェックボックスにチェックを付けると、スキャナーのチェックボックスのチェックをすべて付けた状態になります。

「ID」の左側にあるチェックボックスのチェックを外すと、スキャナーのチェックボックスのチェックをすべて外した状態になります。

状態

スキャナーが NX Manager に登録されているかどうかが表示されます。

- 未登録
スキャナーが NX Manager の管理対象に登録されていない状態です。
スキャナーが NX Manager と一度も接続していない場合は、「未登録」の状態となります。
- 登録済
スキャナーが NX Manager の管理対象に登録されている状態です。
スキャナーが NX Manager に一度でも接続したことがある場合は、「登録済」の状態となります。
- 登録失敗
スキャナーが NX Manager の管理対象に登録されていない状態です。
NX Manager の管理者用 Web 画面からスキャナーの登録を実行して、スキャナーに接続できない場合は、「登録失敗」の状態となります。

ヒント

スキャナーの「PaperStream NX Manager」の設定を有効にして NX Manager に接続した場合は、「登録済」と表示されます。
スキャナーでの設定方法は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

スキャナー名

スキャナー名が表示されます。

機種名

スキャナーの機種名が表示されます。

ファームウェアバージョン

スキャナーのファームウェアバージョンが表示されます。
スキャナーの情報をインポートした場合、ファームウェアバージョンは表示されません。

シリアル番号

スキャナーのシリアル番号が表示されます。

IP アドレス

スキャナーの IP アドレスが表示されます。

MAC アドレス

スキャナーの MAC アドレスが表示されます。

通信方式

スキャナーの通信方式が表示されます。

認証名

スキャナーに紐付けられている認証名が表示されます。
紐付けられている認証名がない場合、認証名は表示されません。

ジョブグループ

スキャナーに紐付けられているジョブグループ名が表示されます。
紐付けられているジョブグループがない場合、ジョブグループ名は表示されません。
1 台のスキャナーにつき、1 個のジョブグループが紐付けられています。
表示されているジョブグループ名をクリックすると「ジョブグループ参照」画面が表示され、ジョブグループの設定内容を確認できます。
「ジョブグループ参照」画面の詳細は、[「ジョブグループ参照」画面 \(178 ページ\)](#)を参照してください。

スキャナーの操作

スキャナーの行をマウスでポイントすると表示される「スキャナーの操作」列で次の操作ができます。

- 登録
スキャナーを登録します。
登録対象は、fi-8040、fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250 です。
「スキャナーの登録」画面の詳細は、[「スキャナーの登録」画面 \(124 ページ\)](#)を参照してください。
- 削除
スキャナーを削除します。

「スキャナーのインポート」画面

スキャナーの情報をインポートします。

重要

- スキャナーを検索するときは、スキャナーのすべてのジョブが完了していることを確認してください。

スキャナーの検索中にジョブが実行されていると、実行中のジョブがエラーとなる可能性があります。

- スキャナーを同じ機種で交換して、同じスキャナー名で使用する場合、交換する前に使用していたスキャナーを NX Manager に接続しないでください。
交換したスキャナーの情報が、NX Manager に正しく反映されない可能性があります。
スキャナーを交換する方法は、[スキャナーを交換する \(89 ページ\)](#)を参照してください。

ヒント

- すでに登録されているスキャナーと同じスキャナー名で機種も同じ場合、スキャナーの情報は上書きされます。
また、上書きの対象となるスキャナーが複数登録されている場合は、どのスキャナーの情報を上書きするかを選択する確認画面が表示されます。
- 「登録済」のスキャナーの情報を上書きした場合、スキャナーの状態は「登録済」のままです。

インポート方法

スキャナーの情報をインポートする方法を選択します。

CSV ファイル

CSV ファイルに記載されたスキャナーの情報をインポートします。
CSV ファイルの形式は次のとおりです。

スキャナー名,スキャナー機種名,シリアル番号,IP アドレス,プロトコル

- IP アドレスとプロトコルは、空内容を指定できます。
- プロトコルは「http」と「https」の文字列を指定します。大小文字を区別しません。「http」と「https」以外を指定した場合、「http」を指定したとみなされます。

例:

```
#スキャナー名,スキャナー機種名,シリアル番号,IP アドレス,プロトコル
"fi-8290-F01","fi-8290","ABCD000nn1","192.xxx.xxx.111","http"
"fi-8290-F02","fi-8290","ABCD000nn5","192.xxx.xxx.111"
"fi-8170-G01","fi-8170","ABCD000nn7","" #IP アドレスが空内容
```

ローカルネットワーク検索

NX Manager と同じサブネットワークにあるスキャナーを検索して、該当するスキャナーの情報をインポートします。検索対象は、fi-8040、fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250、fi-7300NX です。

サーバ側の検索用ポート

検索用のポート番号を入力します。初期値には「20447」が表示されます。
スキャナーの検索範囲を選択します。

- スキャナー全検索
NX Manager と同じサブネットワークにある、すべてのスキャナーを検索します。
- スキャナー IP 範囲検索

NX Manager と同じサブネットワークにある、指定した範囲のスキャナーを検索します。

オプション

「登録済みのスキャナーと同じ名前で、シリアル番号が異なる場合は追加する。」チェックボックス

チェックを付けると、すでに登録されているスキャナーと同じスキャナー名で機種も同じ場合、シリアル番号が異なるときは、スキャナーの情報を上書きせずに追加します。

PaperStream NX Manager 2.0 以前と同じ動作にするとときに設定します。

【OK】 ボタン

スキャナーの情報をインポートします。

インポート結果がメッセージで表示されます。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

「スキャナーの登録」画面

スキャナーと NX Manager を接続するための情報を設定して、スキャナーに送信します。

登録対象は、fi-8040、fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250 です。

ホスト名 / IP アドレス

NX Manager のホスト名または IP アドレスを入力します。

ポート番号

NX Manager のポート番号を入力します。

【OK】 ボタン

スキャナーに設定した情報を送信します。

登録結果は、[「スキャナー一覧」画面 \(120 ページ\)](#)の「状態」列で確認できます。

ヒント

- 対象のスキャナーの電源が投入されていることを確認してください。
- 「登録済」になるタイミングは、スキャナーに設定情報が適用されたあと、スキャナーが NX Manager に接続したときです。
- 設定情報の送信結果は通知されません。対象のスキャナーを再起動しても「登録済」にならない場合は、設定する情報を確認して、再度実行してください。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

認証

「認証一覧」画面

各スキャナーに設定した認証方式を一覧で表示します。各スキャナーの認証方式を新たに設定したり、編集および削除ができます。

【認証方式新規作成】ボタン

認証方式を作成します。

認証名

登録されている認証名が表示されます。

説明

登録されている認証名の説明が表示されます。

認証方式

登録されている認証名の認証方式が表示されます。

アカウント管理

認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合、登録されたアカウント管理が表示されます。

認証の操作

認証の行をマウスでポイントすると表示される「認証の操作」列で次の操作ができます。

- 編集
認証を編集するための「認証編集」画面が表示されます。
「認証編集」画面の詳細は、[「認証編集」画面 \(131 ページ\)](#)を参照してください。
- 削除
認証を削除します。

「認証の新規作成(1/2)」画面

認証名、説明を入力し、認証方式を設定して認証を新規に作成します。

認証名

認証名を入力します。
入力できる最大文字数は、32 文字です。

説明

認証名の説明を入力します。
入力できる最大文字数は、256 文字です。

認証方式

認証方式を選択します。

- 認証なし
認証なしでスキャナーを利用します。
 - ジョブグループコード
ジョブグループコードで認証します。
 - ユーザー名／パスワード
ユーザー名およびパスワードで認証します。
 - NFC
IC カードで認証します。
 - ユーザー名／パスワードまたは NFC
次のどちらかで認証します。
 - ユーザー名およびパスワード
 - IC カード
 - スキャナー
スキャナーで認証します。
- 各スキャナーで利用可能な認証方式については、[スキャナー \(23 ページ\)](#)を参照してください。

認証方式が「ユーザー名／パスワード」の場合

認証方式が「NFC」または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合

認証方式が「ユーザー名／パスワード」の場合

次の項目を設定します。

アカウント管理

アカウントを管理するサーバーを選択します。

- Active Directory
認証サーバーに Active Directory サーバーを使用します。
- 認証 API で連携する認証サーバー
認証サーバーに Active Directory サーバー以外の、認証 API で連携する認証サーバーを使用します。

アカウント管理が「Active Directory」の場合

アカウント管理が「認証 API で連携する認証サーバー」の場合

アカウント管理が「Active Directory」の場合

次の項目を設定します。

サーバ

Active Directory サーバーのサーバー名を入力します。
入力できる最大文字数は、255 文字です。

ポート番号

Active Directory サーバーのポート番号を入力します。
入力できる最大文字数は、5 文字です。

「SSL」チェックボックス

SSL を有効にする場合にチェックを付けます。
チェックを付けた場合、ポート番号の初期値が「636」になります。
チェックを外した場合、ポート番号の初期値が「389」になります。

検索ベース

検索ベース（Distinguished Name（以降、DN））を入力します。
入力できる最大文字数は、255 文字です。

例：cn=Users,dc=example,dc=com

タイムアウト時間

タイムアウト時間を選択します。

認証タイプ

認証タイプを選択します。

- NTLM
- Kerberos(V5)
- Kerberos/NTLM

ドメイン(Realm)

ドメイン(Realm)を入力します。
入力できる最大文字数は、255 文字です。

ヒント

「ドメイン(Realm)」は、認証タイプが「Kerberos(V5)」または「Kerberos/NTLM」の場合に表示されます。

【接続テスト】ボタン

Active Directory サーバーに接続できるかどうかテストするための「Active Directory 接続テスト」画面が表示されます。

「Active Directory 接続テスト」画面の詳細は、[「Active Directory 接続テスト」画面](#) / [「Active Directory 接続」画面 \(138 ページ\)](#)を参照してください。

アカウント管理が「認証 API で連携する認証サーバー」の場合

認証 API からメタデータを取得できる場合、次の項目を設定します。

「ジョブの実行ユーザー名をメタデータから設定する」チェックボックス

ジョブの実行ユーザー名に認証 API から取得したメタデータを使用する場合にチェックを付けます。

チェックを付けた場合、「使用するメタデータフィールド名」が選択できるようになります。

使用するメタデータフィールド名

使用するメタデータフィールド名を選択します。

認証 API から取得したメタデータフィールド名が、最大 10 件まで表示されます。

認証方式が「NFC」または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合

次の項目を設定します。

認証方法

認証方法を選択します。

- 認証方式が「NFC」の場合
以下の認証方法が選択できます。
 - NFC ID 認証
 - 認証 API で認証するサーバー
- 認証方式が「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合
以下の認証方法が選択できます。
 - ユーザー名／パスワードまたは NFC ID 認証
 - 認証 API で認証するサーバー

アカウント管理

アカウントを管理するサーバーを選択します。

アカウント管理が「Active Directory」の場合

アカウント管理が「認証 API で連携する認証サーバー」の場合

アカウント管理が「Active Directory」の場合

次の項目を設定します。

サーバ

Active Directory サーバーのサーバー名を入力します。

入力できる最大文字数は、255 文字です。

ポート番号

Active Directory サーバーのポート番号を入力します。

入力できる最大文字数は、5 文字です。

「SSL」チェックボックス

SSL を有効にする場合にチェックを付けます。

チェックを付けた場合、ポート番号の初期値が「636」になります。

チェックを外した場合、ポート番号の初期値が「389」になります。

検索ベース

検索ベース (DN) を入力します。
入力できる最大文字数は、255 文字です。

例 : cn=Users,dc=example,dc=com

タイムアウト時間

タイムアウト時間を選択します。

認証タイプ

認証タイプを選択します。

- NTLM
- Kerberos(V5)
- Kerberos/NTLM

ドメイン(Realm)

ドメイン(Realm)を入力します。
入力できる最大文字数は、255 文字です。

ヒント

「ドメイン(Realm)」は、認証タイプが「Kerberos(V5)」または「Kerberos/NTLM」の場合に表示されます。

【接続テスト】 ボタン

Active Directory サーバーに接続できるかどうかテストするための「Active Directory 接続テスト」画面が表示されます。

「Active Directory 接続テスト」画面の詳細は、[「Active Directory 接続テスト」画面/「Active Directory 接続」画面 \(138 ページ\)](#)を参照してください。

アカウント管理が「認証 API で連携する認証サーバー」の場合

認証 API からメタデータを取得できる場合、次の項目を設定します。

「ジョブの実行ユーザー名をメタデータから設定する」チェックボックス

ジョブの実行ユーザー名に認証 API から取得したメタデータを使用する場合にチェックを付けます。

チェックを付けた場合、「使用するメタデータフィールド名」が選択できるようになります。

使用するメタデータフィールド名

使用するメタデータフィールド名を選択します。

認証 API から取得したメタデータフィールド名が、最大 10 件まで表示されます。

【次へ】 ボタン

「認証の新規作成(2/2)」画面が表示されます。

「認証の新規作成(2/2)」画面の詳細は、「[認証の新規作成\(2/2\)](#)」画面 (130 ページ)を参照してください。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

「認証の新規作成(2/2)」画面

認証に紐付けるスキャナーを登録します。

スキャナー一覧

スキャナーの一覧が表示されます。

追加

認証に紐付けるスキャナーを登録する画面が表示されます。

画面の詳細は、[設定した認証方式に紐付けるスキャナーを選択する画面 \(130 ページ\)](#)を参照してください。

一覧の操作

スキャナーの行をマウスでポイントすると表示される「一覧の操作」列の（一覧から削除）をクリックして、スキャナーを一覧から削除できます。

スキャナー名

スキャナー名が表示されます。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

【戻る】 ボタン

「認証の新規作成(1/2)」画面が表示されます。

【完了】 ボタン

認証を作成します。

ヒント

スキャナーを登録していない状態でも保存できます。

設定した認証方式に紐付けるスキャナーを選択する画面

認証方式に紐付けるスキャナーを選択します。

認証名

認証名が表示されます。

絞り込み文字列

表示対象を絞り込むための文字列の一部またはすべてを入力します。
入力できる最大文字数は、256 文字です。

【検索】 ボタン

絞り込み結果を表示します。

スキャナー名

スキャナー名が表示されます。

1 台のスキャナーに対して、1 つの認証名を紐付けることができます。

「スキャナー名」の左側にあるチェックボックスにチェックを付けると、スキャナーのチェックボックスをすべてチェックを付けた状態になります。

「スキャナー名」の左側にあるチェックボックスのチェックを外すと、スキャナーのチェックボックスのチェックをすべて外した状態になります。

各スキャナーの左側にあるチェックボックスにチェックを付けたスキャナーを、認証に紐付けるスキャナーとして登録します。

すでに別の認証に紐付けられている場合、チェックボックスは表示されません。

認証名

スキャナーに認証が紐付けられていない場合、認証名は表示されません。

スキャナーに別の認証が紐付けられている場合、認証名が表示されます。

【OK】 ボタン

認証に紐付けるスキャナーを登録します。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

「認証編集」画面

保存した認証を編集します。

認証名

認証名を入力します。

入力できる最大文字数は、32 文字です。

説明

認証名の説明を入力します。

入力できる最大文字数は、256 文字です。

認証方式

認証方式が表示されます。

変更はできません。

認証方式が「ユーザー名／パスワード」の場合

認証方式が「NFC」または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合

認証方式が「ユーザー名／パスワード」の場合

次の項目の設定内容が表示されます。

アカウント管理

アカウント管理が表示されます。
変更はできません。

アカウント管理が「Active Directory」の場合

アカウント管理が「認証 API で連携する認証サーバー」の場合

アカウント管理が「Active Directory」の場合

次の項目の設定内容が表示されます。

サーバ

Active Directory サーバーのサーバー名が表示されます。
変更はできません。

ポート番号

Active Directory サーバーのポート番号が表示されます。
変更はできません。

「SSL」チェックボックス

SSL を有効にする場合にチェックが付いています。
変更はできません。

検索ベース

検索ベース（DN）が表示されます。
変更はできません。

タイムアウト時間

選択されたタイムアウト時間が表示されます。
変更はできません。

認証タイプ

選択された認証タイプが表示されます。
変更はできません。

ドメイン(Realm)

ドメイン(Realm)が設定されている場合、表示されます。
変更はできません。

ヒント

「ドメイン(Realm)」は、認証タイプが「Kerberos(V5)」または「Kerberos/NTLM」の場合に表示されます。

アカウント管理が「認証 API で連携する認証サーバー」の場合

次の項目の設定内容が表示されます。

「ジョブの実行ユーザー名をメタデータから設定する」チェックボックス

ジョブの実行ユーザー名に認証 API から取得したメタデータを使用する場合にチェックが付いています。

変更はできません。

使用するメタデータフィールド名

使用するメタデータフィールド名が表示されています。

変更はできません。

認証方式が「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合

次の項目の設定内容が表示されます。

認証方法

認証方法が表示されます。

変更はできません。

アカウント管理

アカウント管理が表示されます。

変更はできません。

アカウント管理が「Active Directory」の場合**アカウント管理が「認証 API で連携する認証サーバー」の場合****アカウント管理が「Active Directory」の場合**

次の項目の設定内容が表示されます。

サーバ

Active Directory サーバーのサーバー名が表示されます。

変更はできません。

ポート番号

Active Directory サーバーのポート番号が表示されます。

変更はできません。

「SSL」チェックボックス

SSL を有効にする場合にチェックが付いています。

変更はできません。

検索ベース

検索ベース (DN) が表示されます。
変更はできません。

タイムアウト時間

選択されたタイムアウト時間が表示されます。
変更はできません。

認証タイプ

選択された認証タイプが表示されます。
変更はできません。

ドメイン(Realm)

ドメイン(Realm)が設定されている場合、表示されます。
変更はできません。

ヒント

「ドメイン(Realm)」は、認証タイプが「Kerberos(V5)」または「Kerberos/NTLM」の場合に表示されます。

アカウント管理が「認証 API で連携する認証サーバー」の場合

次の項目の設定内容が表示されます。

「ジョブの実行ユーザー名をメタデータから設定する」チェックボックス

ジョブの実行ユーザー名に認証 API から取得したメタデータを使用する場合にチェックが付いています。
変更はできません。

使用するメタデータフィールド名

使用するメタデータフィールド名が表示されています。
変更はできません。

スキャナー一覧

「スキャナー一覧」をクリックするたびに、スキャナー一覧の項目が折りたたまれたり、表示されたりします。

追加

認証に紐付けるスキャナーを登録する画面が表示されます。
画面の詳細は、[設定した認証方式に紐付けるスキャナーを選択する画面 \(130 ページ\)](#)を参照してください。

一覧の操作

スキャナーの行をマウスでポイントすると表示される「一覧の操作」列の（一覧から削除）をクリックして、スキャナーを一覧から削除できます。

スキャナー名

認証に紐付けられているスキャナー名が表示されます。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

【完了】 ボタン

設定内容を保存します。

ヒント

- スキャナーを登録していない状態でも保存できます。

「認証参照」画面

保存した認証を参照します。

認証名

参照中の認証名が表示されます。

説明

認証名の説明が表示されます。

認証方式

認証方式が表示されます。

認証方式が「ユーザー名／パスワード」の場合

次の項目の設定内容が表示されます。

アカウント管理

アカウント管理が表示されます。

変更はできません。

アカウント管理が「Active Directory」の場合

次の項目の設定内容が表示されます。

サーバ

Active Directory サーバーのサーバー名が表示されます。

変更はできません。

ポート番号

Active Directory サーバーのポート番号が表示されます。
変更はできません。

「SSL」 チェックボックス

SSL を有効にする場合にチェックが付いています。
変更はできません。

検索ベース

検索ベース (DN) が表示されます。
変更はできません。

タイムアウト時間

選択されたタイムアウト時間が表示されます。
変更はできません。

認証タイプ

選択された認証タイプが表示されます。
変更はできません。

ドメイン(Realm)

ドメイン(Realm)が設定されている場合、表示されます。
変更はできません。

ヒント

「ドメイン(Realm)」は、認証タイプが「Kerberos(V5)」または「Kerberos/NTLM」の場合に表示されます。

アカウント管理が「認証 API で連携する認証サーバー」の場合

次の項目の設定内容が表示されます。

「ジョブの実行ユーザー名をメタデータから設定する」チェックボックス

ジョブの実行ユーザー名に認証 API から取得したメタデータを使用する場合にチェックが付いています。
変更はできません。

使用するメタデータフィールド名

使用するメタデータフィールド名が表示されています。
変更はできません。

認証方式が「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合

次の項目の設定内容が表示されます。

認証方法

認証方法が表示されます。
変更はできません。

アカウント管理

アカウント管理が表示されます。
変更はできません。

アカウント管理が「Active Directory」の場合

次の項目の設定内容が表示されます。

サーバ

Active Directory サーバーのサーバー名が表示されます。
変更はできません。

ポート番号

Active Directory サーバーのポート番号が表示されます。
変更はできません。

「SSL」 チェックボックス

SSL を有効にする場合にチェックが付いています。
変更はできません。

検索ベース

検索ベース（DN）が表示されます。
変更はできません。

タイムアウト時間

選択されたタイムアウト時間が表示されます。
変更はできません。

認証タイプ

選択された認証タイプが表示されます。
変更はできません。

ドメイン(Realm)

ドメイン(Realm)が設定されている場合、表示されます。
変更はできません。

ヒント

「ドメイン(Realm)」は、認証タイプが「Kerberos(V5)」または「Kerberos/NTLM」の場合に表示されます。

アカウント管理が「認証 API で連携する認証サーバー」の場合

次の項目の設定内容が表示されます。

「ジョブの実行ユーザー名をメタデータから設定する」チェックボックス

ジョブの実行ユーザー名に認証 API から取得したメタデータを使用する場合にチェックが付いています。

変更はできません。

使用するメタデータフィールド名

使用するメタデータフィールド名が表示されています。

変更はできません。

スキャナー一覧

認証に紐付けられているスキャナーが表示されます。

スキャナー名

認証に紐付けられているスキャナーのスキャナー名が表示されます。

「Active Directory 接続テスト」画面/「Active Directory 接続」画面

Active Directory サーバーに接続します。

ユーザー名

Active Directory サーバーに接続するときのユーザー名を入力します。

入力できる最大文字数は、256 文字です。

パスワード

Active Directory サーバーに接続するときのパスワードを入力します。

入力できる最大文字数は、127 文字です。

半角の英文字、数字、および記号が入力できます。

【接続】 ボタン

入力したユーザー名およびパスワードで Active Directory サーバーに接続します。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

ジョブ

「ジョブ一覧」画面

ジョブの新規作成、参照作成、編集などの操作をします。

【ジョブ新規作成】 ボタン

ジョブを新規作成するための「ジョブの新規作成」画面が表示されます。

「ジョブの新規作成」画面の詳細は、[「ジョブの新規作成」画面](#)/[「ジョブの編集」画面 \(139 ページ\)](#)を参照してください。

作成できるジョブ数は、最大 1000 個です。

絞り込み

表示対象を絞り込むための文字列の一部またはすべてを入力します。

入力できる最大文字数は、256 文字です。

【検索】 ボタン

絞り込み結果を表示します。

ジョブ名

登録されているジョブ名が表示されます。

説明

登録されているジョブの説明が表示されます。

ジョブグループ

登録されているジョブに紐付けられているジョブグループ名が表示されます。

紐付けられているジョブグループがない場合、ジョブグループ名は表示されません。

ジョブグループが複数ある場合、「, (カンマ)」で区切って列挙されます。

表示されているジョブグループ名をクリックすると「ジョブグループ参照」画面が表示され、ジョブグループの設定内容を確認できます。

「ジョブグループ参照」画面の詳細は、[「ジョブグループ参照」画面 \(178 ページ\)](#)を参照してください。

ジョブの操作

ジョブの行をマウスでポイントすると表示される「ジョブの操作」列で次の操作ができます。

- 編集

ジョブを編集するための「ジョブの編集」画面が表示されます。

「ジョブの編集」画面の詳細は、[「ジョブの新規作成」画面](#)/[「ジョブの編集」画面 \(139 ページ\)](#)を参照してください。

- 参照作成

ジョブを参照作成するための「ジョブの新規作成」画面が表示されます。

「ジョブの新規作成」画面の詳細は、[「ジョブの新規作成」画面](#)/[「ジョブの編集」画面 \(139 ページ\)](#)を参照してください。

- 削除

ジョブを削除します。

「ジョブの新規作成」画面/「ジョブの編集」画面

ジョブを新規作成、参照作成、編集します。詳細は次を参照してください。

- [プロフィール設定](#)
- [スキャナー固有設定](#)

- セパレーション
- メタデータ
- エンコード
- 保存先設定

このジョブは、以下のジョブグループに追加されています。

登録されているジョブに紐付けられているジョブグループ名が表示されます。

紐付けられているジョブグループがない場合、表示されません。

ジョブグループが複数ある場合、「, (カンマ)」で区切って列挙されます。

表示されているジョブグループ名をクリックすると「ジョブグループ参照」画面が表示され、ジョブグループの設定内容を確認できます。

「ジョブグループ参照」画面の詳細は、[「ジョブグループ参照」画面 \(178 ページ\)](#)を参照してください。

ヒント

「このジョブは、以下のジョブグループに追加されています。」は、ジョブを編集する場合に表示されます。

ジョブ名

ジョブ名を入力します。

入力できる最大文字数は、48 文字です。

次に示す文字列は、使用できません。

¥ / * : ? " < > | 0x00～0x1f の制御文字

重要

スキャナーのタッチパネルまたは操作パネルで使用できない文字（環境依存文字など）を入力した場合、スキャナーのタッチパネルまたは操作パネルでジョブ名が正しく表示されないことがあります。

入力したジョブ名がスキャナーのタッチパネルまたは操作パネルで正しく表示されることを確認してください。

説明

ジョブの説明を入力します。

入力できる最大文字数は、256 文字です。

プロファイル設定

「プロファイル設定」をクリックするたびに、プロファイル設定の項目が折りたたまれたり、表示されたりします。

使用するスキャナードライバプロファイル

使用する PaperStream IP ドライバーのプロファイルを選択します。

PaperStream IP ドライバーのプロファイルをインポートして、選択項目に表示する場合は、[インポート] ボタンをクリックします。

インポートできる PaperStream IP ドライバーのプロファイルは、PaperStream IP ドライバーから退避した読み取りプロファイル (*.pav) です。

PaperStream IP ドライバーから読み取りプロファイル (*.pav) を退避する手順については、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。

重要

- PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている項目で NX Manager では動作しないものがあります。
PaperStream IP ドライバーのプロファイルの動作仕様については、[PaperStream IP ドライバーのプロファイルの動作仕様 \(229 ページ\)](#)を参照してください。
- NX Manager が動作しているコンピュータで、PaperStream NX Manager プロファイル作成ツールの退避・復元を使用する場合は、NX Manager ですべてのジョブが完了していることを確認してください。

ヒント

- NX Manager には、PaperStream IP ドライバーの初期値が設定されたプロファイルとプリセットプロファイルが用意されています。
- 「PaperStream IP Default」プロファイルの設定は、PaperStream IP ドライバーの初期設定に相当します。
- コンピューターに PaperStream IP ドライバーがインストールされている場合、PaperStream NX Manager プロファイル作成ツールを使用して、PaperStream IP ドライバーのプロファイルを作成できます。
このとき、コンピューターにスキャナーを接続する必要はありません。
PaperStream NX Manager プロファイル作成ツールを起動するには、次のフォルダーに格納されている「NmPSIPProfile.exe」を起動してください。

%ProgramFiles%\¥PaperStream IP¥NmPSIPProfile フォルダー配下

例：

C:\¥Program Files¥PaperStream IP¥NmPSIPProfile フォルダー配下

PaperStream NX Manager プロファイル作成ツールの使用方法については、起動した「PaperStream NX Manager プロファイル作成ツール」画面の使用方法を参照してください。

- 「使用するスキャナードライバプロファイル」の選択項目には、NX Manager の管理者用 Web 画面の「[プロファイル一覧](#)」画面 (186 ページ) で管理しているプロファイルが表示されます。
- 選択した PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている項目のうち、画像タイプ、解像度、用紙サイズ、読み取り面を変更できます。

スキャナー固有設定

「スキャナー固有設定」をクリックするたびに、スキャナー固有設定の項目が折りたたまれたり、表示されたりします。

スキャナー

設定するスキャナーの機種を選択します。

【設定を全機種に適用する】ボタン

画面に表示されている「スキャナー固有設定」の設定をすべての機種に適用します。

装置パネル設定

ジョブボタンカラー

スキャナーのタッチパネルに表示するジョブの色を選択します。

「継続読み取りする」チェックボックス

読み取りしたあと、継続して読み取りする場合にチェックを付けます。

ADF とフラットベッドを切り替えて、継続読み取りすることはできません。

「サムネールを表示する」チェックボックス

スキャナーのタッチパネルに、画像のサムネールを表示する場合にチェックを付けます。
チェックを付けた場合、「画質モード」が選択できるようになります。

重要

画像処理される前の画像がサムネールで表示されます。

例えば、スキャナーはカラー画像を送信するため、画像タイプに「二値白黒」を指定していても、カラー画像のサムネールが表示されます。

ヒント

- 「継続読み取りする」チェックボックス、および「サムネールを表示する」チェックボックスにチェックを付けた場合、スキャナーのタッチパネルに表示されるサムネールをタッチして、以下の機能を使用できます。
 - 削除：選択している画像を削除します。
 - 差し込み読み取り：選択している画像の前に、追加で読み取った画像を差し込みます。
- 「サムネールを表示する」チェックボックスは、PaperStream IP ドライバーのプロファイルに「表裏合成」が設定されている場合、チェックが外れた状態でチェックを付けられないようになります。

画質モード

サムネールの画質モードを選択します。

- 低画質

- 標準
- 高画質

ヒント

「サムネールを表示する」チェックボックスにチェックを付けた場合、出力できるページ数の上限は「画質モード」によって異なります。

- 高画質の場合
160 ページ
- 標準の場合
400 ページ
- 低画質の場合
1000 ページ

「スキャンボタンを表示する」チェックボックス

スキャナーのタッチパネルに、スキャンボタンを表示する場合にチェックを付けます。
または、スキャナーの操作パネルに、メッセージを表示する場合にチェックを付けます。
チェックを付けた場合、「メッセージを表示する」チェックボックスにチェックが付けられるようになります。

「メッセージを表示する」チェックボックス

タッチパネルまたは操作パネルに、メッセージを表示する場合にチェックを付けます。
チェックを付けた場合、「メッセージ」を入力します。

メッセージ

スキャナーのタッチパネルに表示するメッセージを入力します。
入力できる最大文字数は、100 文字です。

重要

- スキャナーのタッチパネルで使用できない文字（環境依存文字など）を入力した場合、スキャナーのタッチパネルでメッセージが正しく表示されないことがあります。
入力したメッセージがスキャナーのタッチパネルで正しく表示されることを確認してください。
- スキャナーのタッチパネルで表示したときに、折り返した文字列の先頭が空白文字の場合は、空白文字が削除されます。

「メタデータをスキャナーから入力する」チェックボックス

スキャナーのタッチパネルでメタデータを入力する場合にチェックを付けます。
チェックを付けた場合、「フィールド名」、「入力を数字だけにする」チェックボックス、「メッセージを表示する」チェックボックスを設定します。

フィールド名

スキャナーのタッチパネルに表示する、メタデータのフィールド名を入力します。
入力できる最大文字数は、32 文字です。
次に示す文字列は、使用できません。

< >

重要

- スキャナーのタッチパネルで使用できない文字（環境依存文字など）を入力した場合、スキャナーのタッチパネルでフィールド名が正しく表示されないことがあります。
入力したフィールド名がスキャナーのタッチパネルで正しく表示されることを確認してください。
- 入力したフィールド名の文字種によっては、スキャナーのタッチパネルでフィールド名が全文表示されないことがあります。
入力したフィールド名がスキャナーのタッチパネルで正しく表示されることを確認してください。

ヒント

「フィールド名」は、インデックスファイルの「item name」になります。
インデックスファイルの仕様については、[インデックスファイルの仕様 \(225 ページ\)](#)を参照してください。

「入力を数字だけにする」チェックボックス

スキャナーのタッチパネルで数字だけ入力できるようにする場合にチェックを付けます。

「メッセージを表示する」チェックボックス

スキャナーのタッチパネルに、メッセージを表示する場合にチェックを付けます。
チェックを付けた場合、「メッセージ」を入力します。

メッセージ

スキャナーのタッチパネルに表示するメッセージを入力します。
入力できる最大文字数は、100 文字です。

重要

- スキャナーのタッチパネルで使用できない文字（環境依存文字など）を入力した場合、スキャナーのタッチパネルでメッセージが正しく表示されないことがあります。
入力したメッセージがスキャナーのタッチパネルで正しく表示されることを確認してください。

- スキャナーのタッチパネルで表示したときに、折り返した文字列の先頭が空白文字の場合は、空白文字が削除されます。

「ジョブ終了後に即時ログアウトする」チェックボックス

ジョブ終了後にすぐにログアウトする場合にチェックを付けます。

ヒント

認証方式が「ジョブグループコード」、「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合、「ジョブ終了後に即時ログアウトする」チェックボックスにチェックを付けられるようになります。

「ファイルの保存の完了を待ち合わせる」チェックボックス

タッチパネルまたは操作パネルに、保存先へのファイル保存の完了を待っている状態を表示する場合にチェックを付けます。

チェックを付けた場合、「保存が完了したことを表示する」チェックボックスにチェックを付けられるようになります。

「保存が完了したことを表示する」チェックボックス

タッチパネルまたは操作パネルに、保存先へのファイル保存が完了したことを表示する場合にチェックを付けます。

ジョブタイムアウト

スキャナーで次の画面を表示したままにしたときのタイムアウト時間（分）を設定します。タイムアウトになったときの動作は、次のとおりです。

- 継続画面
 - 1 枚以上原稿を読み取っていた場合は、「保存」処理が行われます。
 - 1 枚も原稿を読み取っていない場合は、「中止」処理が行われます。
- 保存完了画面
 - 「ジョブ一覧」画面に戻ります。

ヒント

ジョブメッセージ画面またはエラー画面の場合は、設定した時間が経過してもタイムアウトしません。
ジョブメッセージ画面またはエラー画面は表示されたままになります。

読み取り設定

「読み取り設定」をクリックするたびに、読み取り設定の項目が折りたたまれたり、表示されたりします。

画像タイプ

画像タイプを変更できます。設定する値を選択します。

「プロファイルの設定に従う」を選択した場合、リストの右側に、現在の設定値が表示されます。

設定値を変更しない場合は、「プロファイルの設定に従う」を選択します。

重要

PaperStream IP ドライバーのプロファイルに以下が設定されている場合は、変更できません。

- 「画像タイプ」が「マルチイメージ」
- 「トーン調整」が「e-文書モード」

解像度

解像度を変更できます。設定する値を選択します。

「プロファイルの設定に従う」を選択した場合、リストの右側に、現在の設定値が表示されます。

設定値を変更しない場合は、「プロファイルの設定に従う」を選択します。

重要

- PaperStream IP ドライバーのプロファイルに以下が設定されている場合は、変更できません。

- 「画像タイプ」が「マルチイメージ」
- 「トーン調整」が「e-文書モード」

- PaperStream IP ドライバーのプロファイルに以下が設定されている場合は、解像度が補正されます。

- fi-8040 の場合
「解像度」が 301dpi 以上のときは 300dpi に補正されます
- fi-8040 以外の場合
「解像度」が 401dpi 以上のときは 400dpi に補正されます

用紙サイズ

用紙サイズを変更できます。設定する値を選択します。

「プロファイルの設定に従う」を選択した場合、リストの右側に、現在の設定値が表示されます。

設定値を変更しない場合は、「プロファイルの設定に従う」を選択します。

重要

PaperStream IP ドライバーのプロファイルに以下が設定されている場合は、長さが補正される場合があります。

- 「用紙サイズ」の長さが 14 インチ以上

詳細は、[PaperStream IP ドライバーのプロファイルの動作仕様 \(229 ページ\)](#)を参照してください。

「カスタム」を選択する場合は、次の項目を設定します。

単位

用紙サイズの単位を選択します。

リストの右側に、選択した単位での長さとの幅の設定可能最大値が表示されます。

長さ

用紙サイズの長さを入力します。

幅

用紙サイズの幅を入力します。

読み取り面

読み取り面を変更できます。設定する値を選択します。

「プロファイルの設定に従う」を選択した場合、リストの右側に、現在の設定値が表示されます。

設定値を変更しない場合は、「プロファイルの設定に従う」を選択します。

重要

- PaperStream IP ドライバーのプロファイルに以下が設定されている場合は、変更できません。
 - 「表裏合成」が「オン」
- フラットベッドを搭載していないスキャナーで、PaperStream IP ドライバーのプロファイルに以下が設定されている場合は、原稿の表面を読み取ります。
 - 「給紙」が「フラットベッド」

セパレーション

「セパレーション」をクリックするたびに、セパレーションの項目が折りたたまれたり、表示されたりします。

セパレーション

ドキュメントセパレーター

読み取った原稿の画像を分割して保存するかどうか、分割する場合は分割方法を選択します。

読み取った原稿の画像を分割するとは、複数枚の原稿の読み取りを中断せずに、ブランクページ、ページ数単位、パッチコード、またはバーコードで分割して、それぞれを別のフォルダー/ファイルに保存することです。

ヒント

「ファイルプロパティ」の「ファイル名」に「ドキュメントカウンタ」を設定することで、分割された画像ファイルごとにファイル名を変更できます。

- 使用しない
画像ファイルを分割しません。
- ブランクページ
画像ファイルをブランクページで分割します。

「セパレーターを破棄する」チェックボックス

セパレーターとする、ブランクページの原稿の画像を破棄する場合にチェックを付けます。

「両面がブランクページの場合にセパレーションする」チェックボックス

原稿の両面がブランクページの時だけ分割する場合にチェックを付けます。

- ページ数
画像ファイルをページ数単位で分割します。
分割するページ単位を入力します。
入力できる最大文字数は、4文字です。
- パッチコード
画像ファイルをパッチコードで分割します。

パッチコードの種類

セパレーターとする、パッチコードの種類のチェックボックスにチェックを付けます。

「セパレーターを破棄する」チェックボックス

セパレーターとする、パッチコードが印刷された原稿の画像を破棄する場合にチェックを付けます。

- バーコード
画像ファイルをバーコードで分割します。
バーコードの仕様については、[バーコードの仕様 \(232 ページ\)](#)を参照してください。

バーコードの種類

セパレーターとする、バーコードの種類のチェックボックスにチェックを付けます。

検出範囲

バーコードの検出範囲を選択します。

- 全体
原稿全体を、バーコードの検出範囲とします。
- カスタム
原稿の指定した範囲を、バーコードの検出範囲とします。

単位

バーコードの検出範囲の単位を選択します。

- mm
- inch

上端

バーコードの検出範囲の上端を入力します。

0～「原稿長さ」または「原稿幅」のどちらか大きい方の値が入力できます。

左端

バーコードの検出範囲の左端を入力します。

0～「原稿長さ」または「原稿幅」のどちらか大きい方の値が入力できます。

長さ

バーコードの検出範囲の長さを入力します。

0～「原稿長さ」または「原稿幅」のどちらか大きい方の値が入力できます。

幅

バーコードの検出範囲の幅を入力します。

0～「原稿長さ」または「原稿幅」のどちらか大きい方の値が入力できます。

重要

「上端」、「左端」、「長さ」、「幅」を入力する場合は、次のことに注意してください。

- 単位が「mm」の場合は、小数点第二位が四捨五入され、保存されます。
- 単位が「inch」の場合は、小数点第四位が四捨五入され、保存されます。
- 「上端+長さ」が「原稿長さ」または「原稿幅」のどちらか大きい方の値以下である必要があります。
- 「左端+幅」が「原稿長さ」または「原稿幅」のどちらか大きい方の値以下である必要があります。

「セパレーターを破棄する」チェックボックス

セパレーターとする、バーコードが印刷された原稿の画像を破棄する場合にチェックを付けます。

メタデータ

「メタデータ」をクリックするたびに、メタデータの項目が折りたたまれたり、表示されたりします。

メタデータ

原稿のバーコードの値をメタデータにします。

1つのフィールドに1個のバーコードの値を出力できます。

バーコードの仕様については、[バーコードの仕様 \(232 ページ\)](#)を参照してください。

【追加】 ボタン

新規フィールドを作成します。

作成したフィールドを選択して、[↑] ボタンまたは[↓] ボタンをクリックすると、フィールドの順序を変更できます。

フィールドの順序を変更すると、作成したフィールドのメタデータをインデックスファイルに出力するときの順番を変更できます。

1 個のジョブに設定できるメタデータの数、最大 20 個です。

【削除】 ボタン

選択したフィールドを削除します。

フィールド名

フィールド名を入力します。

入力できる最大文字数は、32 文字です。

バーコードの種類

バーコードの種類のチェックボックスにチェックを付けます。

検出範囲

バーコードの検出範囲を選択します。

- 全体

原稿全体を、バーコードの検出範囲とします。

ヒント

検出範囲が「全体」のフィールドが複数ある場合で、原稿内に 2 つ以上のバーコードがあるときは、順番にバーコードの値が出力されます。

- カスタム

原稿の指定した範囲を、バーコードの検出範囲とします。

単位

バーコードの検出範囲の単位を選択します。

- mm
- inch

上端

バーコードの検出範囲の上端を入力します。

0～「原稿長さ」または「原稿幅」のどちらか大きい方の値が入力できます。

左端

バーコードの検出範囲の左端を入力します。

0～「原稿長さ」または「原稿幅」のどちらか大きい方の値が入力できます。

長さ

バーコードの検出範囲の長さを入力します。

0～「原稿長さ」または「原稿幅」のどちらか大きい方の値が入力できます。

幅

バーコードの検出範囲の幅を入力します。

0～「原稿長さ」または「原稿幅」のどちらか大きい方の値が入力できます。

重要

「上端」、「左端」、「長さ」、「幅」を入力する場合は、次のことに注意してください。

- 単位が「mm」の場合は、小数点第二位が四捨五入され、保存されます。
- 単位が「inch」の場合は、小数点第四位が四捨五入され、保存されます。
- 「上端+長さ」が「原稿長さ」または「原稿幅」のどちらか大きい方の値以下である必要があります。
- 「左端+幅」が「原稿長さ」または「原稿幅」のどちらか大きい方の値以下である必要があります。

エンコード

「エンコード」をクリックするたびに、エンコードの項目が折りたたまれたり、表示されたりします。

2D バーコードのエンコード方法

2次元コードのエンコード方法を選択します。

- マルチバイト
- UTF-8
- 自動判別

保存先設定

「保存先設定」をクリックするたびに、保存先設定の項目が折りたたまれたり、表示されたりします。

保存先

種別

画像を保存する保存先の種別を選択します。

- フォルダ保存
- SharePoint
- SharePoint Online
- FTP/FTPS
- メール
- コネクター API で連携する保存先

ヒント

「コネクター API で連携する保存先」は、コネクター API から取得した名前が選択項目として表示されます。

種別が「フォルダ保存」、「SharePoint」、「SharePoint Online」、「FTP/FTPS」、または「コネクター API で連携する保存先」の場合

次の項目を設定します。

「同名ファイルがあった場合、上書きする」チェックボックス

同じ名前のファイル名があったとき、上書きする場合にチェックを付けます。

重要

「同名ファイルがあった場合、上書きする」チェックボックスにチェックを付けない場合、同じ名前のファイルがあったとき、エラーとなります。

種別が「SharePoint」または「SharePoint Online」の場合

次の項目を設定します。

サイト URL

SharePoint Server または SharePoint Online のサイト URL を入力します。
入力できる最大文字数は、256 文字です。

ライブラリ

SharePoint Server または SharePoint Online のライブラリーを入力します。
入力できる最大文字数は、255 文字です。
SharePoint Server または SharePoint Online で表示されている表示名を入力してください。
SharePoint Server または SharePoint Online の URL に含まれる英数字形式のライブラリー名は入力できません。

ユーザー名

SharePoint Server または SharePoint Online に接続するときのユーザー名を入力します。
入力できる最大文字数は、256 文字です。

パスワード

SharePoint Server または SharePoint Online に接続するときのパスワードを入力します。
入力できる最大文字数は、256 文字です。

「プロキシを有効にする」チェックボックス

プロキシを有効にする場合にチェックを付けます。

プロキシサーバーの設定は、NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「環境設定」をクリックして表示される「設定」画面の「ネットワーク設定」でしてください。

「設定」画面の詳細は、「[設定](#)」画面 (196 ページ)を参照してください。

種別が「FTP/FTPS」の場合

次の項目を設定します。

サーバ

FTP/FTPS サーバーのサーバー名を入力します。

入力できる最大文字数は、255 文字です。

プロトコル

プロトコルを選択します。

- FTP
- FTPS

暗号化方式

暗号化方式を選択します。

- Explicit
- Implicit

ヒント

「暗号化方式」は、プロトコルが「FTPS」の場合に選択できます。

ポート番号

FTP/FTPS サーバーのポート番号を入力します。

入力できる最大文字数は、5 文字です。

プロトコルが「FTP」の場合、ポート番号の初期値が「21」になります。

プロトコルが「FTPS」、暗号化方式が「Explicit」の場合、ポート番号の初期値が「21」になります。

プロトコルが「FTPS」、暗号化方式が「Implicit」の場合、ポート番号の初期値が「990」になります。

「パッシブモードを使用する」チェックボックス

パッシブモードを使用する場合にチェックを付けます。

「プロキシを有効にする」チェックボックス

プロキシを有効にする場合にチェックを付けます。

プロキシサーバーの設定は、NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「環境設定」をクリックして表示される「設定」画面の「ネットワーク設定」でしてください。

「設定」画面の詳細は、「[設定](#)」画面 (196 ページ)を参照してください。

種別が「メール」の場合

次の項目を設定します。

送信先メールアドレス

送信先メールアドレスを入力します。

複数の送信先メールアドレスを入力する場合は、改行で送信先メールアドレスを区切って入力します。

入力できる最大文字数は、送信先メールアドレス 1 個につき、255 文字です。

送信元メールアドレス

送信元メールアドレスを入力します。

送信元メールアドレスには、SMTP サーバーに存在するメールアドレスを入力してください。

使用している SMTP サーバーによっては、認証に使用したメールアドレス以外を入力するとエラーになる場合があります。

入力できる最大文字数は、255 文字です。

認証方式が「Exchange Online OAuth 2.0 認証」の場合、認証が完了すると、認証したメールアドレスが自動で入力されます。SMTP サーバーで許可されているメールアドレスに変更できます。

件名

メールの件名を入力します。

入力できる最大文字数は、128 文字です。

エンコード

メール送信するときのメールの文字コードを選択します。

- 自動選択
- Unicode(UTF-8)

ヒント

エンコードが「自動選択」の場合、メール送信するときのメールの文字コードは、オペレーティングシステムのシステムアカウントの言語によって、自動で選択されます。

言語と文字コードの対応は、次のとおりです。

言語	文字コード
アラビア語	ISO-8859-6
イタリア語	ISO-8859-1
スペイン語	ISO-8859-1
ドイツ語	ISO-8859-1
トルコ語	ISO-8859-9

言語	文字コード
フランス語	ISO-8859-1
ポルトガル語	ISO-8859-1
ロシア語	KOI8-R
英語	US-ASCII
韓国語	KS_C_5601-1987
中国語（簡体字）	GB2312
中国語（繁体字）	Big5
日本語	ISO-2022-JP（JIS コード）
上記以外の言語	US-ASCII

種別が「コネクタ API で連携する保存先」の場合

重要

PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている「画像タイプ」が「マルチイメージ」の場合の、動作および対処方法は以下のとおりです。

- コネクタ API 用ユーザーアプリケーションが呼び出されるのは 1 度だけです。
- 複数のインデックスファイルを取得できるように、コネクタ API 用ユーザーアプリケーションを再作成してください。

次の項目を設定します。

パラメータ

コネクタ API で連携するためのパラメータを入力します。

入力できる最大文字数は、256 文字です。

次のパラメータを入力した場合、対応する値が渡されます。

- %d
画像が保存されたフォルダー名をフルパスで渡します。
このパラメータを省略した場合は、コネクタ API 用ユーザーアプリケーションのファイル名のあとに、自動的に付与された値が渡されます。
- %i
インデックスファイル名をフルパスで渡します。
インデックスファイルの仕様については、[インデックスファイルの仕様 \(225 ページ\)](#)を参照してください。

入力するパラメータと渡される値の例を次に示します。

コネクタ API 用ユーザーアプリケーションのファイル名が「Application.exe」の場合の例です。実際には、ユーザーが作成したコネクタ API 用ユーザーアプリケーションのファイル名となります。

例：パラメーターに「%d」を入力した場合
次に示す値が渡されます。

Application.exe フォルダー名

例：パラメーターに「%i」を入力した場合
次に示す値が渡されます。

Application.exe フォルダー名 インデックスファイル名

「%d」がコネクタ API 用ユーザーアプリケーションのファイル名のあとに、自動的に付与されます。

例：パラメーターに「/s %i %d」を入力した場合
次に示す値が渡されます。

Application.exe /s インデックスファイル名 フォルダー名

複数のパラメーターを入力できます。パラメーターには「%i」、「%d」以外に、ユーザーが作成したパラメーターを入力できます。

この例では、ユーザーが作成したパラメーターは「/s」です。

パラメーターに「/s」を入力すると、任意の文字列を渡せます。

例：パラメーターに「%d %i」を入力し、PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている「画像タイプ」が「マルチイメージ」の場合
次に示す値が渡されます。

Application.exe フォルダー名 インデックスファイル名 1 インデックスファイル名 2 インデックスファイル名 3

この例では、マルチイメージ出力順に、第 1 なら「インデックスファイル名 1」、第 2 なら「インデックスファイル名 2」、第 3 なら「インデックスファイル名 3」のファイル名になります。

ファイルプロパティ

ヒント

PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている「画像タイプ」が「マルチイメージ」の場合、第 1、第 2、第 3 とそれぞれの画像の種類が表示されます。

種別が「フォルダ保存」、「SharePoint」、「SharePoint Online」、「FTP/FTPS」、「メール」、または「コネクタ API で連携する保存先」の場合

次の項目を設定します。

出力ファイル形式

画像ファイルのファイル形式を選択します。

- PDF File(*.pdf)
- SinglePage PDF File(*.pdf)

- Tagged Image File Format(*.tif)
- MultiPage Tagged Image File Format(*.tif)
- JPEG File(*.jpg)

画像ファイルの仕様については、[画像ファイルの仕様 \(231 ページ\)](#)を参照してください。

ヒント

選択項目は、PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている「画像タイプ」によって異なります。

PaperStream IP ドライバーのプロファイルに以下が設定されている場合は、「JPEG File(*.jpg)」は表示されません。

- 「画像タイプ」が「二値白黒」

圧縮

画像ファイルの圧縮形式を選択します。

画像ファイルの仕様については、[画像ファイルの仕様 \(231 ページ\)](#)を参照してください。

ヒント

- 「圧縮」は出力ファイル形式が「Tagged Image File Format(*.tif)」または「MultiPage Tagged Image File Format(*.tif)」の場合に表示されます。
- PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている「画像タイプ」が「カラー/モノクロ自動判別」または「用紙長判別」の場合は、判別結果ごとに圧縮形式を選択します。
- PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている「画像タイプ」が「マルチイメージ」の場合は、画像ごとに圧縮形式を選択します。

ファイル名

画像ファイルの名前を入力します。

次に示す文字列は、使用できません。

.. ¥ / * : ? " < > | 0x00～0x1f の制御文字

ただし、種別が「フォルダ保存」または「コネクタ API で連携する保存先」の場合、¥を使用できます。

重要

- [名前規則] ボタンで選択した項目に、ファイル名で使用できない文字が含まれている場合は、=に置換されます。
ファイル名に..や¥を使用すると=に置換されるため、¥および¥..¥を使用した設定はできません。

- 種別が「SharePoint」または「SharePoint Online」の場合、「~ (チルダ)」や「# (シャープ)」など SharePoint 側でファイル名に使用できない文字が含まれていると、保存に失敗します。

SharePoint 側で使用できない文字は、SharePoint のバージョンによって異なります。

詳細は、マイクロソフトの Web サイトを参照してください。

ヒント

種別が「フォルダ保存」または「コネクタ API で連携する保存先」の場合、¥を入力すると、フォルダーを区切ります。フォルダーが存在しない場合、フォルダーを作成します。

¥は先頭および末尾には使用できません。

【名前規則】 ボタン

ファイル名にする項目を選択します。

選択した場合、「ファイル名」の入力域に、該当の項目が<>で括られて表示されます。

- バッチインデックス

読み取りを実行したときのバッチの、データベース上の ID をファイル名にします。

- ジョブ名

読み取りを実行したときのジョブ名をファイル名にします。

- スキャナー名

読み取りを実行したときのスキャナー名をファイル名にします。

- ユーザー名

読み取りを実行したときのユーザー名をファイル名にします。

認証方式が「認証なし」、「ジョブグループコード」、または「スキャナー」の場合、「USER」をファイル名にします。

- ユーザープリンシパル名

読み取りを実行したときのユーザープリンシパル名 (UPN) をファイル名にします。

認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」かつアカウント管理が「Active Directory」の場合、Active Directory から取得したユーザープリンシパル名 (UPN) をファイル名にします。

それ以外の場合は、出力されません。

- ジョブグループ名

読み取りを実行したときのジョブグループ名をファイル名にします。

- ジョブグループコード

読み取りを実行したときのジョブグループコードをファイル名にします。

認証方式が「ジョブグループコード」の場合、ジョブグループに設定したジョブグループコードをファイル名にします。

それ以外の場合は、出力されません。

- バッチ ID

読み取りを実行したときのバッチ ID をファイル名にします。

- 日付
 - MMddyyyy
読み取り終了通知を受信した日付を、MMddyyyy の日付形式でファイル名にします。
 - ddMMyyyy
読み取り終了通知を受信した日付を、ddMMyyyy の日付形式でファイル名にします。
 - yyyyMMdd
読み取り終了通知を受信した日付を、yyyyMMdd の日付形式でファイル名にします。
- 時刻
読み取り終了通知を受信した時刻をファイル名にします。
- ドキュメントカウンタ
ドキュメントカウンターをファイル名にします。
選択した場合、[カウンタ設定] ボタンをクリックして表示される「カウンタ設定」画面で「最小桁数」を選択してください。
「カウンタ設定」画面の詳細は、[「カウンタ設定」画面 \(167 ページ\)](#)を参照してください。
- ページカウンタ
ページカウンターをファイル名にします。
選択した場合、[カウンタ設定] ボタンをクリックして表示される「カウンタ設定」画面で「最小桁数」を選択してください。
「カウンタ設定」画面の詳細は、[「カウンタ設定」画面 \(167 ページ\)](#)を参照してください。
- ドキュメントセパレーター値
ドキュメントセパレーター値をファイル名にします。
セパレーションに、バーコードを使用する場合、バーコードの値の最大 128 文字分をファイル名にします。
セパレーションに、バーコード以外を使用する場合、形式が「"SEPARATOR"+セパレーター No. (数字 4 桁)」の文字列を、ファイル名にします。
セパレーター No. (数字 4 桁) は、0001 から開始し、セパレーションごとに 1 ずつ加算されます。
SEPARATOR0001～SEPARATOR1000 までです。
- マルチイメージ出力順
マルチイメージ出力順をファイル名にします。
PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている「画像タイプ」が「マルチイメージ」の場合、有効になります。第 1 なら「1」、第 2 なら「2」、第 3 なら「3」の数字がファイル名になります。
PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている「画像タイプ」が「マルチイメージ」以外の場合、固定値「1」がファイル名になります。
- メタデータ
メタデータをファイル名にします。

ヒント

「メタデータ」は、次の場合に表示されます。

- 「メタデータをスキャナーから入力する」チェックボックスにチェックを付けた場合
- 「メタデータ」にフィールドを追加した場合
- アカウント管理に「認証 API で連携する認証サーバー」を選択しているときで、認証 API からメタデータのフィールド名を 1 個以上取得できた場合

- スキャナーのタッチパネルで入力した文字列

「メタデータをスキャナーから入力する」で設定したフィールド名を指定します。スキャナーのタッチパネルのフィールドに入力した文字列が、ファイル名に反映されます。

[名前規則] ボタンをクリックし、「メタデータ」→「スキャナーのタッチパネルで入力した文字列」を選択した場合、「ファイル名」の入力域に、次の形式で表示されます。

<フィールド: [メタデータをスキャナーから入力する] で設定したフィールド名>

例: 「メタデータをスキャナーから入力する」で設定したフィールド名が「FAX 番号」の場合

<フィールド: FAX 番号>

「メタデータをスキャナーから入力する」で設定したフィールド名が「FAX 番号」で、スキャナーのタッチパネルで「FAX 番号」に「1234567890」と入力した場合、ファイル名に「1234567890」が反映されます。

ヒント

「スキャナーのタッチパネルで入力した文字列」は、「メタデータをスキャナーから入力する」で設定したフィールド名の一覧から選択します。

- バーコードの値

「メタデータ」で設定したフィールド名を指定します。

フィールドに出力されたバーコードの値が、ファイル名に反映されます。

[名前規則] ボタンをクリックし、「メタデータ」→「バーコードの値」を選択した場合、「ファイル名」の入力域に、次の形式で表示されます。

<フィールド: [メタデータ] で設定したフィールド名>

例: 「メタデータ」で設定したフィールド名が「従業員番号」の場合

<フィールド: 従業員番号>

「メタデータ」で設定したフィールド名が「従業員番号」で、バーコードの値が「123456」の場合、ファイル名に「123456」が反映されます。ファイル名に反映できる最大文字数は、128 文字です。

ヒント

「バーコードの値」は、「メタデータ」で設定したフィールド名の一覧から選択します。

- 認証 API で認証したユーザーのプロパティ情報
認証 API から取得したメタデータフィールド名の値を保持します。
選択した場合、「ファイル名」の入力域に、次の形式で表示されます。
<フィールド：[認証 API から取得したメタデータフィールド名]>

例：認証 API から取得したメタデータフィールド名が「従業員番号」の場合
<フィールド：従業員番号>

画像を保存するときに、認証 API から取得したメタデータフィールド名の値に置換されます。

認証 API から取得したメタデータフィールド名が「従業員番号」で、その値が「123456」の場合、「123456」に置換されたファイル名になります。

ヒント

- 「認証 API で認証したユーザーのプロパティ情報」は、認証 API から取得したメタデータフィールド名が選択項目として表示されます。
- 認証 API で、認証ユーザー名としてグループ名を返却し、認証サーバーに登録されているグループをジョブグループに紐付けして運用している場合でも、メタデータフィールドにユーザー名を作成することで、ファイル名にユーザー名を使用できます。

【カウンタ設定】 ボタン

「ドキュメントカウンタ」または「ページカウンタ」の「最小桁数」を設定するための「カウンタ設定」画面が表示されます。

「カウンタ設定」画面の詳細は、[「カウンタ設定」画面 \(167 ページ\)](#)を参照してください。

種別が「フォルダ保存」の場合

次の項目を設定します。

保存先フォルダ名

保存先のフォルダー名を入力します。
入力できる最大文字数は、247 文字です。

「認証が必要」 チェックボックス

保存先のフォルダーに接続するときに認証が必要な場合にチェックを付けます。
チェックを付けた場合、「ユーザー名」および「パスワード」を入力します。

ユーザー名

保存先のフォルダーに接続するときのユーザー名を入力します。

入力できる最大文字数は、256 文字です。

パスワード

保存先のフォルダーに接続するときのパスワードを入力します。
入力できる最大文字数は、256 文字です。

ヒント

「保存先フォルダ名」にネットワークフォルダーを指定し、正しいユーザー名およびパスワードを入力しても保存時に認証エラーが発生する場合は、ユーザー名を「[コンピューター名]\[ユーザー名]」または「[ドメイン名]\[ユーザー名]」の形式で入力してください。

「すべての保存先フォルダで共通の認証設定として使用する」チェックボックス

第 1 で入力した「ユーザー名」および「パスワード」を、第 2、第 3 にも使用する場合にチェックを付けます。

ヒント

「すべての保存先フォルダで共通の認証設定として使用する」チェックボックスは、PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている「画像タイプ」が「マルチイメージ」の場合に表示されます。

種別が「FTP/FTPS」の場合

次の項目を設定します。

格納先フォルダパス

保存先のフォルダー名を入力します。
入力できる最大文字数は、255 文字です。

ユーザー名

FTP/FTPS サーバーに接続するときのユーザー名を入力します。
入力できる最大文字数は、256 文字です。

パスワード

FTP/FTPS サーバーに接続するときのパスワードを入力します。
入力できる最大文字数は、256 文字です。

「すべての保存先フォルダで共通の認証設定として使用する」チェックボックス

第 1 で入力した「ユーザー名」および「パスワード」を、第 2、第 3 にも使用する場合にチェックを付けます。

ヒント

「すべての保存先フォルダで共通の認証設定として使用する」チェックボックスは、PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている「画像タイプ」が「マルチイメージ」の場合に表示されます。

インデックスファイル**「出力する」チェックボックス**

インデックスファイルを出力する場合にチェックを付けます。

インデックスファイルの仕様については、[インデックスファイルの仕様 \(225 ページ\)](#)を参照してください。

チェックを付けた場合、「ファイル名」、「同名ファイルがあった場合、上書きする」チェックボックスを設定します。

ファイル名

インデックスファイルの名前を入力します。

次に示す文字列は、使用できません。

.. ¥ / * : ? " < > | 0x00～0x1f の制御文字

ただし、種別が「フォルダ保存」または「コネクタ API で連携する保存先」の場合、¥を使用できます。

重要

【名前規則】 ボタンで選択した項目に、ファイル名で使用できない文字が含まれている場合は、=に置換されます。

ファイル名に..や¥を使用すると=に置換されるため、¥および¥..¥を使用した設定はできません。

ヒント

種別が「フォルダ保存」または「コネクタ API で連携する保存先」の場合、¥を入力すると、フォルダーを区切ります。フォルダーが存在しない場合、フォルダーを作成します。

¥は先頭および末尾には使用できません。

【名前規則】 ボタン

ファイル名にする項目を選択します。

選択した場合、「ファイル名」の入力域に、該当の項目が<>で括られて表示されます。

- バッチインデックス

読み取りを実行したときのバッチの、データベース上の ID をファイル名にします。

- ジョブ名

読み取りを実行したときのジョブ名をファイル名にします。

- スキャナー名

読み取りを実行したときのスキャナー名をファイル名にします。

- ユーザー名

読み取りを実行したときのユーザー名をファイル名にします。

認証方式が「認証なし」、「ジョブグループコード」、または「スキャナー」の場合、「USER」をファイル名にします。

- ユーザープリンシパル名

読み取りを実行したときのユーザープリンシパル名（UPN）をファイル名にします。

認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」かつアカウント管理が「Active Directory」の場合 Active Directory から取得したユーザープリンシパル名（UPN）をファイル名にします。

それ以外の場合は、出力されません。

- ジョブグループ名

読み取りを実行したときのジョブグループ名をファイル名にします。

- ジョブグループコード

読み取りを実行したときのジョブグループコードをファイル名にします。

認証方式が「ジョブグループコード」の場合、ジョブグループに設定したジョブグループコードをファイル名にします。

それ以外の場合は、出力されません。

- バッチ ID

読み取りを実行したときのバッチ ID をファイル名にします。

- 日付

- MMddyyyy

読み取り終了通知を受信した日付を、MMddyyyy の日付形式でファイル名にします。

- ddMMyyyy

読み取り終了通知を受信した日付を、ddMMyyyy の日付形式でファイル名にします。

- yyyyMMdd

読み取り終了通知を受信した日付を、yyyyMMdd の日付形式でファイル名にします。

- 時刻

読み取り終了通知を受信した時刻をファイル名にします。

- ドキュメントセパレーター値

ドキュメントセパレーター値をファイル名にします。

セパレーションに、バーコードを使用する場合、バーコードの値の最大 128 文字分をファイル名にします。

セパレーションに、バーコード以外を使用する場合、形式が「"SEPARATOR"+セパレーター No.（数字 4 桁）」の文字列を、ファイル名にします。

セパレーター No.（数字 4 桁）は、0001 から開始し、セパレーションごとに 1 ずつ加算されます。

SEPARATOR0001～SEPARATOR1000 までです。

- マルチイメージ出力順

マルチイメージ出力順をファイル名にします。

PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている「画像タイプ」が「マルチイメージ」の場合、有効になります。第 1 なら「1」、第 2 なら「2」、第 3 なら「3」の数字がファイル名になります。

PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている「画像タイプ」が「マルチイメージ」以外の場合、固定値「1」がファイル名になります。

- **メタデータ**

メタデータをファイル名にします。

ヒント

「メタデータ」は、次の場合に表示されます。

- 「メタデータをスキャナーから入力する」チェックボックスにチェックを付けた場合
- 「メタデータ」にフィールドを追加した場合
- アカウント管理に「認証 API で連携する認証サーバー」を選択しているときで、認証 API からメタデータのフィールド名を 1 個以上取得できた場合

- スキャナーのタッチパネルで入力した文字列

「メタデータをスキャナーから入力する」で設定したフィールド名を指定します。スキャナーのタッチパネルのフィールドに入力した文字列が、ファイル名に反映されます。

「名前規則」ボタンをクリックし、「メタデータ」→「スキャナーのタッチパネルで入力した文字列」を選択した場合、「ファイル名」の入力域に、次の形式で表示されます。

<フィールド: 「メタデータをスキャナーから入力する」で設定したフィールド名>

例: 「メタデータをスキャナーから入力する」で設定したフィールド名が「FAX 番号」の場合

<フィールド: FAX 番号>

「メタデータをスキャナーから入力する」で設定したフィールド名が「FAX 番号」で、スキャナーのタッチパネルで「FAX 番号」に「1234567890」と入力した場合、ファイル名に「1234567890」が反映されます。

ヒント

「スキャナーのタッチパネルで入力した文字列」は、「メタデータをスキャナーから入力する」で設定したフィールド名の一覧から選択します。

- バーコードの値

「メタデータ」で設定したフィールド名を指定します。

フィールドに出力されたバーコードの値が、ファイル名に反映されます。

「名前規則」ボタンをクリックし、「メタデータ」→「バーコードの値」を選択した場合、「ファイル名」の入力域に、次の形式で表示されます。

<フィールド: 「メタデータ」で設定したフィールド名>

例：「メタデータ」で設定したフィールド名が「従業員番号」の場合
 <フィールド：従業員番号>

「メタデータ」で設定したフィールド名が「従業員番号」で、バーコードの値が「123456」の場合、ファイル名に「123456」が反映されます。
 ファイル名に反映できる最大文字数は、128 文字です。

ヒント

「バーコードの値」は、「メタデータ」で設定したフィールド名の一覧から選択します。

- 認証 API で認証したユーザーのプロパティ情報
 認証 API から取得したメタデータフィールド名の値を保持します。
 選択した場合、「ファイル名」の入力域に、次の形式で表示されます。
 <フィールド：[認証 API から取得したメタデータフィールド名]>

例：認証 API から取得したメタデータフィールド名が「従業員番号」の場合
 <フィールド：従業員番号>

画像を保存するときに、認証 API から取得したメタデータフィールド名の値に置換されます。

認証 API から取得したメタデータフィールド名が「従業員番号」で、その値が「123456」の場合、「123456」に置換されたファイル名になります。

ヒント

- 「認証 API で認証したユーザーのプロパティ情報」は、認証 API から取得したメタデータフィールド名が選択項目として表示されます。
- 認証 API で、認証ユーザー名としてグループ名を返却し、認証サーバーに登録されているグループをジョブグループに紐付けして運用している場合でも、メタデータフィールドにユーザー名を作成することで、ファイル名にユーザー名を使用できます。

「同名ファイルがあった場合、上書きする」チェックボックス

同じ名前のファイル名があったとき、上書きする場合にチェックを付けます。

重要

「同名ファイルがあった場合、上書きする」チェックボックスにチェックを付けない場合の動作は、種別によって異なります。

種別が「フォルダ保存」の場合、同じ名前のファイルがあったとき、既存の同名ファイルに追記します。

種別が「SharePoint」、SharePoint Online」、または「FTP/FTPS」の場合、同じ名前のファイルがあったとき、ファイルの保存に失敗します。

ヒント

「同名ファイルがあった場合、上書きする」チェックボックスは、種別が「フォルダ保存」、「SharePoint」、「SharePoint Online」、または「FTP/FTPS」の場合に表示されます。

【保存】 ボタン

ジョブを新規作成、参照作成する場合は、ジョブを作成します。
ジョブを編集する場合は、設定内容を保存します。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

「カウンタ設定」 画面

画像ファイル名にする「ドキュメントカウンタ」または「ページカウンタ」の最小桁数を設定します。

ドキュメントカウンタ**最小桁数**

ドキュメントカウンターの最小桁数を選択します。

- 1
- 2
- 3
- 4

「セパレーション」で原稿を分割しない場合は、「最小桁数」で選択した桁数で値は「1」となります。

例：「セパレーション」で原稿を分割しないで、最小桁数が「4」の場合
0001

「セパレーション」で原稿を分割する場合は、分割した単位ごとに「最小桁数」で選択した桁数で1から開始します。

例：「セパレーション」で原稿を分割し、最小桁数が「4」の場合
0001、0002、0003、・・・

ページカウンタ**最小桁数**

ページカウンターの最小桁数を選択します。

- 1
- 2
- 3

- 4

ページごとに「最小桁数」で選択した桁数で 1 から開始します。

例：最小桁数が「4」の場合

0001、0002、0003、・・・

【OK】 ボタン

設定内容を保存します。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

ジョブグループ

「ジョブグループ一覧」画面

ジョブグループの新規作成、参照作成、編集などの操作をします。

【ジョブグループ新規作成】 ボタン

ジョブグループを新規作成するための「ジョブグループの新規作成（1/2）」画面/「ジョブグループの新規作成（1/3）」画面が表示されます。

「ジョブグループの新規作成（1/2）」画面/「ジョブグループの新規作成（1/3）」画面の詳細は、[「ジョブグループの新規作成（1/2）」画面/「ジョブグループの新規作成（1/3）」画面（169 ページ）](#)を参照してください。

作成できるジョブグループ数は、最大 1000 個です。

ジョブグループ名

登録されているジョブグループ名が表示されます。

説明

登録されているジョブグループの説明が表示されます。

認証名

登録されているジョブグループの認証名が表示されます。

認証名をクリックすると、「認証参照」画面が表示され、認証の設定内容を確認できます。「認証参照」画面の詳細は [「認証参照」画面（135 ページ）](#)を参照してください。

ジョブグループコード

登録されているジョブグループのジョブグループコードが表示されます。

ジョブグループの操作

ジョブグループの行をマウスでポイントすると表示される「ジョブグループの操作」列で次の操作ができます。

- 編集

ジョブグループを編集するための「ジョブグループ編集」画面が表示されます。

「ジョブグループ編集」画面の詳細は、「[ジョブグループ参照作成](#)」画面/「[ジョブグループ編集](#)」画面 (174 ページ)を参照してください。

- 参照作成
ジョブグループを参照作成するための「ジョブグループ参照作成」画面が表示されます。
「ジョブグループ参照作成」画面の詳細は、「[ジョブグループ参照作成](#)」画面/「[ジョブグループ編集](#)」画面 (174 ページ)を参照してください。
- 削除
ジョブグループを削除します。

「ジョブグループの新規作成 (1/2)」画面/「ジョブグループの新規作成 (1/3)」画面

ジョブグループの名前、説明、ジョブグループコードを入力します。

ジョブグループ

ジョブグループ名を入力します。
入力できる最大文字数は、32 文字です。

重要

スキャナーのタッチパネルまたは操作パネルで使用できない文字（環境依存文字など）を入力した場合、スキャナーのタッチパネルまたは操作パネルでジョブグループ名が正しく表示されないことがあります。
入力したジョブグループ名がスキャナーのタッチパネルまたは操作パネルで正しく表示されることを確認してください。

説明

ジョブグループの説明を入力します。
入力できる最大文字数は、256 文字です。

認証名

登録する認証名を選択します。

ジョブグループコード

ジョブグループのジョブグループコードを入力します。
入力できる最大文字数は、8 文字です。
入力する文字は、スキャナーのタッチパネルまたは操作パネルで入力可能な文字を使用してください。

ヒント

「ジョブグループコード」は、認証方式が「ジョブグループコード」の場合に表示されます。
fi-8040、fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合、「ジョブグループコード」は、数字だけ使用できます。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

【次へ】 ボタン

「ジョブグループの新規作成 (2/2)」画面/「ジョブグループの新規作成 (2/3)」画面が表示されます。

「ジョブグループの新規作成 (2/2)」画面/「ジョブグループの新規作成 (2/3)」画面の詳細は、[「ジョブグループの新規作成 \(2/2\)」画面/「ジョブグループの新規作成 \(2/3\)」画面 \(170 ページ\)](#)を参照してください。

「ジョブグループの新規作成 (2/2)」画面/「ジョブグループの新規作成 (2/3)」画面

ジョブグループにジョブを追加します。

ジョブグループ

「ジョブグループの新規作成 (1/2)」画面/「ジョブグループの新規作成 (1/3)」画面で入力したジョブグループ名が表示されます。

説明

「ジョブグループの新規作成 (1/2)」画面/「ジョブグループの新規作成 (1/3)」画面で入力したジョブグループの説明が表示されます。

認証名

「ジョブグループの新規作成 (1/2)」画面/「ジョブグループの新規作成 (1/3)」画面で入力した認証名が表示されます。

ジョブグループコード

「ジョブグループの新規作成 (1/2)」画面で入力したジョブグループのジョブグループコードが表示されます。

ヒント

「ジョブグループコード」は、認証方式が「ジョブグループコード」の場合に表示されます。

ジョブ一覧

ジョブグループに追加するジョブまたは階層の一覧が表示されます。

ジョブ追加

ジョブグループにジョブを追加する画面が表示されます。

ジョブグループにジョブを追加する画面の詳細は、[ジョブグループにジョブを追加する画面 \(179 ページ\)](#)を参照してください。

ジョブ作成

ジョブグループに追加するジョブを新規作成するための「ジョブの新規作成」画面が表示されます。

「ジョブの新規作成」画面の詳細は、[「ジョブの新規作成」画面](#)/[「ジョブの編集」画面 \(139 ページ\)](#)を参照してください。

階層作成

ジョブグループに追加する階層を作成するための「階層の編集」画面が表示されます。

「階層の編集」画面の詳細は、[「階層の編集」画面 \(177 ページ\)](#)を参照してください。

一覧の操作

ジョブまたは階層の行をマウスでポイントすると表示される「一覧の操作」列で次の操作ができます。

-  (上へ移動)
ジョブまたは階層を上へ移動します。
-  (下へ移動)
ジョブまたは階層を下へ移動します。
-  (一覧から削除)
ジョブまたは階層を一覧から削除します。

ジョブ名

ジョブグループに追加するジョブ名または階層名が表示されます。

階層名が表示されている場合は、▶および▼が表示されます。

▶をクリックすると、階層を開きます。

▼をクリックすると、階層を閉じます。

説明

ジョブグループに追加するジョブまたは階層の説明が表示されます。

ジョブの操作

- ジョブの行をマウスでポイントすると表示される「ジョブの操作」列で次の操作ができます。
 - 編集
ジョブグループに追加するジョブを編集するための「ジョブの編集」画面が表示されます。
「ジョブの編集」画面の詳細は、[「ジョブの新規作成」画面](#)/[「ジョブの編集」画面 \(139 ページ\)](#)を参照してください。
 - 参照作成
ジョブグループに追加するジョブを参照作成するための「ジョブの新規作成」画面が表示されます。
「ジョブの新規作成」画面の詳細は、[「ジョブの新規作成」画面](#)/[「ジョブの編集」画面 \(139 ページ\)](#)を参照してください。
- 階層の行をマウスでポイントすると表示される「ジョブの操作」列で次の操作ができます。

- ジョブ追加
ジョブグループにジョブを追加する画面が表示されます。
ジョブグループにジョブを追加する画面の詳細は、[ジョブグループにジョブを追加する画面 \(179 ページ\)](#)を参照してください。
- ジョブ作成
ジョブグループに追加するジョブを新規作成するための「ジョブの新規作成」画面が表示されます。
「ジョブの新規作成」画面の詳細は、[「ジョブの新規作成」画面](#)/「ジョブの編集」画面 (139 ページ)を参照してください。
- 階層作成、編集、参照作成
ジョブグループに追加する階層を作成、編集、参照作成するための「階層の編集」画面が表示されます。
「階層の編集」画面の詳細は、[「階層の編集」画面 \(177 ページ\)](#)を参照してください。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

【戻る】 ボタン

「ジョブグループの新規作成 (1/2)」画面/「ジョブグループの新規作成 (1/3)」画面が表示されます。

「ジョブグループの新規作成 (1/2)」画面/「ジョブグループの新規作成 (1/3)」画面の詳細は、[「ジョブグループの新規作成 \(1/2\)」画面](#)/「ジョブグループの新規作成 (1/3)」画面 (169 ページ)を参照してください。

【完了】 ボタン

ジョブグループを作成します。

ヒント

【完了】 ボタンは、認証方式が「認証なし」または「ジョブグループコード」の場合に表示されます。

【次へ】 ボタン

「ジョブグループの新規作成 (3/3)」画面が表示されます。

「ジョブグループの新規作成 (3/3)」画面の詳細は、[「ジョブグループの新規作成 \(3/3\)」画面 \(172 ページ\)](#)を参照してください。

ヒント

【次へ】 ボタンは、認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、「ユーザー名／パスワードまたは NFC」、または「スキャナー」の場合に表示されます。

「ジョブグループの新規作成 (3/3)」画面

ジョブグループにユーザーまたはスキャナーを追加します。

ヒント

「ジョブグループの新規作成 (3/3)」画面は、認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、「ユーザー名／パスワードまたは NFC」、または「スキャナー」の場合に表示されます。

ジョブグループ

「ジョブグループの新規作成 (1/2)」画面/「ジョブグループの新規作成 (1/3)」画面で入力したジョブグループ名が表示されます。

説明

「ジョブグループの新規作成 (1/2)」画面/「ジョブグループの新規作成 (1/3)」画面で入力したジョブグループの説明が表示されます。

認証名

「ジョブグループの新規作成 (1/2)」画面/「ジョブグループの新規作成 (1/3)」画面で入力した認証名が表示されます。

ユーザー一覧

ジョブグループに追加するユーザーの一覧が表示されます。

ヒント

「ユーザー一覧」は、認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合に表示されます。

追加

ジョブグループにユーザーを追加する画面が表示されます。

ジョブグループにユーザーを追加する画面の詳細は、[ジョブグループにユーザーを追加する画面 \(180 ページ\)](#)を参照してください。

一覧の操作

ユーザーの行をマウスでポイントすると表示される「一覧の操作」列の（一覧から削除）をクリックして、ユーザーを一覧から削除できます。

ユーザー名

ジョブグループに追加するユーザー名が表示されます。

スキャナー一覧

ジョブグループに追加するスキャナーの一覧が表示されます。

ヒント

「スキャナー一覧」は、認証方式が「スキャナー」の場合に表示されます。

追加

ジョブグループにスキャナーを追加する画面が表示されます。

ジョブグループにスキャナーを追加する画面の詳細は、[ジョブグループにスキャナーを追加する画面 \(181 ページ\)](#)を参照してください。

一覧の操作

スキャナーの行をマウスでポイントすると表示される「一覧の操作」列の（一覧から削除）をクリックして、スキャナーを一覧から削除できます。

スキャナー名

ジョブグループに追加するスキャナー名が表示されます。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

【戻る】 ボタン

「ジョブグループの新規作成 (2/2)」画面/「ジョブグループの新規作成 (2/3)」画面が表示されます。

「ジョブグループの新規作成 (2/2)」画面/「ジョブグループの新規作成 (2/3)」画面の詳細は、[「ジョブグループの新規作成 \(2/2\)」画面/「ジョブグループの新規作成 \(2/3\)」画面 \(170 ページ\)](#)を参照してください。

【完了】 ボタン

ジョブグループを作成します。

「ジョブグループ参照作成」画面/「ジョブグループ編集」画面

ジョブグループを参照作成、編集します。

ジョブグループ

ジョブグループ名を入力します。

入力できる最大文字数は、32 文字です。

説明

ジョブグループの説明を入力します。

入力できる最大文字数は、256 文字です。

認証名

登録されているジョブグループの認証名が表示されます。

ジョブグループコード

ジョブグループのジョブグループコードを入力します。

入力できる最大文字数は、8 文字です。

入力する文字は、スキャナーのタッチパネルまたは操作パネルで入力可能な文字を使用してください。

ヒント

「ジョブグループコード」は、認証方式が「ジョブグループコード」の場合に表示されます。
fi-8040、fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合、「ジョブグループコード」は、数字だけ使用できます。

ジョブ一覧

ジョブグループに追加するジョブまたは階層の一覧が表示されます。

「ジョブ一覧」をクリックするたびに、ジョブ一覧の項目が折りたたまれたり、表示されたりします。

ジョブ追加

ジョブグループにジョブを追加する画面が表示されます。

ジョブグループにジョブを追加する画面の詳細は、[ジョブグループにジョブを追加する画面 \(179 ページ\)](#)を参照してください。

ジョブ作成

ジョブグループに追加するジョブを新規作成するための「ジョブの新規作成」画面が表示されます。

「ジョブの新規作成」画面の詳細は、[「ジョブの新規作成」画面/「ジョブの編集」画面 \(139 ページ\)](#)を参照してください。

階層作成

ジョブグループに追加する階層を作成するための「階層の編集」画面が表示されます。

「階層の編集」画面の詳細は、[「階層の編集」画面 \(177 ページ\)](#)を参照してください。

一覧の操作

ジョブまたは階層の行をマウスでポイントすると表示される「一覧の操作」列で次の操作ができます。

-  (上へ移動)
ジョブまたは階層を上へ移動します。
-  (下へ移動)
ジョブまたは階層を下へ移動します。
-  (一覧から削除)
ジョブまたは階層を一覧から削除します。

ジョブ名

ジョブグループに追加するジョブ名または階層名が表示されます。

階層名が表示されている場合は、 および  が表示されます。

 をクリックすると、階層を開きます。

 をクリックすると、階層を閉じます。

説明

ジョブグループに追加するジョブまたは階層の説明が表示されます。

ジョブの操作

- ジョブの行をマウスでポイントすると表示される「ジョブの操作」列で次の操作ができます。
 - 編集
ジョブグループに追加するジョブを編集するための「ジョブの編集」画面が表示されます。
「ジョブの編集」画面の詳細は、[「ジョブの新規作成」画面/「ジョブの編集」画面 \(139 ページ\)](#)を参照してください。
 - 参照作成
ジョブグループに追加するジョブを参照作成するための「ジョブの新規作成」画面が表示されます。
「ジョブの新規作成」画面の詳細は、[「ジョブの新規作成」画面/「ジョブの編集」画面 \(139 ページ\)](#)を参照してください。
- 階層の行をマウスでポイントすると表示される「ジョブの操作」列で次の操作ができます。
 - ジョブ追加
ジョブグループにジョブを追加する画面が表示されます。
ジョブグループにジョブを追加する画面の詳細は、[ジョブグループにジョブを追加する画面 \(179 ページ\)](#)を参照してください。
 - ジョブ作成
ジョブグループに追加するジョブを新規作成するための「ジョブの新規作成」画面が表示されます。
「ジョブの新規作成」画面の詳細は、[「ジョブの新規作成」画面/「ジョブの編集」画面 \(139 ページ\)](#)を参照してください。
 - 階層作成、編集、参照作成
ジョブグループに追加する階層を作成、編集、参照作成するための「階層の編集」画面が表示されます。
「階層の編集」画面の詳細は、[「階層の編集」画面 \(177 ページ\)](#)を参照してください。

ユーザー一覧

ジョブグループに追加するユーザーの一覧が表示されます。

「ユーザー一覧」をクリックするたびに、ユーザー一覧の項目が折りたたまれたり、表示されたりします。

ヒント

「ユーザー一覧」は、認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合に表示されます。

追加

ジョブグループにユーザーを追加する画面が表示されます。

ジョブグループにユーザーを追加する画面の詳細は、[ジョブグループにユーザーを追加する画面 \(180 ページ\)](#)を参照してください。

一覧の操作

ユーザーの行をマウスでポイントすると表示される「一覧の操作」列の（一覧から削除）をクリックして、ユーザーを一覧から削除できます。

ユーザー名

ジョブグループに追加するユーザー名が表示されます。

スキャナー一覧

ジョブグループに追加するスキャナーの一覧が表示されます。
「スキャナー一覧」をクリックするたびに、スキャナー一覧の項目が折りたたまれたり、表示されたりします。

ヒント

「スキャナー一覧」は、認証方式が「スキャナー」の場合に表示されます。

追加

ジョブグループにスキャナーを追加する画面が表示されます。
ジョブグループにスキャナーを追加する画面の詳細は、[ジョブグループにスキャナーを追加する画面 \(181 ページ\)](#)を参照してください。

一覧の操作

スキャナーの行をマウスでポイントすると表示される「一覧の操作」列の（一覧から削除）をクリックして、スキャナーを一覧から削除できます。

スキャナー名

ジョブグループに追加するスキャナー名が表示されます。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

【完了】 ボタン

ジョブグループを参照作成する場合は、ジョブグループを作成します。
ジョブグループを編集する場合は、設定内容を保存します。

「階層の編集」画面

階層を作成、編集、参照作成します。

階層名

階層名を入力します。
入力できる最大文字数は、48 文字です。

階層の説明

階層の説明を入力します。

入力できる最大文字数は、256 文字です。

階層ボタンカラー

スキャナーのタッチパネルに表示する階層の色を選択します。

【OK】 ボタン

階層を作成、参照作成する場合は、階層を作成します。

階層を編集する場合は、設定内容を保存します。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

「ジョブグループ参照」 画面

ジョブグループの設定内容を確認します。

ジョブグループ名

登録されているジョブグループ名が表示されます。

説明

登録されているジョブグループの説明が表示されます。

認証名

登録されているジョブグループの認証名が表示されます。

ジョブグループコード

登録されているジョブグループのジョブグループコードが表示されます。

ヒント

「ジョブグループコード」は、認証方式が「ジョブグループコード」の場合に表示されます。

ジョブ一覧

ジョブグループに追加されているジョブまたは階層の一覧が表示されます。

ジョブ名

ジョブグループに追加されているジョブ名または階層名が表示されます。

説明

ジョブグループに追加されているジョブまたは階層の説明が表示されます。

ユーザー一覧

ジョブグループに追加されているユーザーの一覧が表示されます。

ヒント

「ユーザー一覧」は、認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合に表示されます。

ユーザー名

ジョブグループに追加されているユーザー名が表示されます。

スキャナー一覧

ジョブグループに追加されているスキャナーの一覧が表示されます。

ヒント

「スキャナー一覧」は、認証方式が「スキャナー」の場合に表示されます。

スキャナー名

ジョブグループに追加されているスキャナー名が表示されます。

【OK】 ボタン

画面を閉じます。

ジョブグループにジョブを追加する画面

ジョブグループにジョブを追加します。

ジョブグループ

ジョブを追加するジョブグループ名が表示されます。

絞り込み文字列

表示対象を絞り込むための文字列の一部またはすべてを入力します。
入力できる最大文字数は、256 文字です。

【検索】 ボタン

絞り込み結果を表示します。

ジョブ名

登録されているジョブ名が表示されます。
「ジョブ名」の左側にあるチェックボックスにチェックを付けると、ジョブのチェックボックスのチェックをすべて付けた状態になります。
「ジョブ名」の左側にあるチェックボックスのチェックを外すと、ジョブのチェックボックスのチェックをすべて外した状態になります。
各ジョブの左側にあるチェックボックスにチェックを付けたジョブを、ジョブグループに追加します。

説明

登録されているジョブの説明が表示されます。

ジョブグループ名

登録されているジョブに紐付けられているジョブグループ名が表示されます。
紐付けられているジョブグループがない場合、表示されません。
ジョブグループが複数ある場合、「, (カンマ)」で区切って列挙されます。

【OK】 ボタン

ジョブグループにジョブを追加します。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

ジョブグループにユーザーを追加する画面

ジョブグループにユーザーを追加します。
アカウント管理が「Active Directory」の場合、ユーザー一覧で追加されたユーザーが表示されます。
ユーザー一覧にユーザーを追加する方法は、[ユーザーを登録する \(37 ページ\)](#)を参照してください。

ジョブグループ

ユーザーを追加するジョブグループ名が表示されます。

絞り込み

表示対象を絞り込むための文字列の一部またはすべてを入力します。
入力できる最大文字数は、256 文字です。

【検索】 ボタン

絞り込み結果を表示します。

識別子名

認証サーバーに登録されているユーザープリンシパル名 (UPN) またはグループ名 (Common Name (以降、CN)) が表示されます。
「識別子名」の左側にあるチェックボックスにチェックを付けると、識別子のチェックボックスのチェックをすべて付けた状態になります。
「識別子名」の左側にあるチェックボックスのチェックを外すと、識別子のチェックボックスのチェックをすべて外した状態になります。
各識別子の左側にあるチェックボックスにチェックを付けたユーザーを、ジョブグループに追加します。

ヒント

「識別子名」は、アカウント管理が「Active Directory」の場合に表示されます。

種別

認証サーバーに登録されているアカウントの種別が表示されます。

ヒント

「種別」は、アカウント管理が「Active Directory」の場合に表示されます。

ユーザー名

認証サーバーに登録されているユーザー名が表示されます。

「ユーザー名」の左側にあるチェックボックスにチェックを付けると、ユーザーのチェックボックスのチェックをすべて付けた状態になります。

「ユーザー名」の左側にあるチェックボックスのチェックを外すと、ユーザーのチェックボックスのチェックをすべて外した状態になります。

各ユーザーの左側にあるチェックボックスにチェックを付けたユーザーを、ジョブグループに追加します。

ヒント

「ユーザー名」は、アカウント管理が「認証 API で連携する認証サーバー」の場合に表示されます。

ジョブグループ名

認証サーバーに登録されているユーザーに紐付けられているジョブグループ名が表示されます。

紐付けられているジョブグループがない場合、ジョブグループ名は表示されません。

1 人のユーザーにつき、1 個のジョブグループが紐付けされます。

【OK】 ボタン

ジョブグループにユーザーを追加します。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

ジョブグループにスキャナーを追加する画面

ジョブグループにスキャナーを追加します。

ジョブグループ

スキャナーを追加するジョブグループ名が表示されます。

絞り込み文字列

表示対象を絞り込むための文字列の一部またはすべてを入力します。

入力できる最大文字数は、256 文字です。

【検索】 ボタン

絞り込み結果を表示します。

スキャナー名

NX Manager に登録されているスキャナー名が表示されます。

「スキャナー名」の左側にあるチェックボックスにチェックを付けると、スキャナーのチェックボックスのチェックをすべて付けた状態になります。

「スキャナー名」の左側にあるチェックボックスのチェックを外すと、スキャナーのチェックボックスのチェックをすべて外した状態になります。

各スキャナーの左側にあるチェックボックスにチェックを付けたスキャナーを、ジョブグループに追加します。

ジョブグループ名

NX Manager に登録されているスキャナーに紐付けられているジョブグループ名が表示されます。

紐付けられているジョブグループがない場合、ジョブグループ名は表示されません。

1 台のスキャナーにつき、1 個のジョブグループが紐付けされます。

【OK】 ボタン

ジョブグループにスキャナーを追加します。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

ユーザー

「ユーザー一覧」画面

ユーザーの確認、追加、削除、絞り込みをします。

認証名

表示する認証名を選択します。

ヒント

「認証名」は、認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」、「ユーザー名／パスワードまたは NFC」の場合に表示されます。

【ユーザーの追加】 ボタン

選択した認証方式にユーザーを追加します。クリックすると、「Active Directory 接続」画面が表示されます。「Active Directory 接続」画面の詳細は、[「Active Directory 接続テスト」画面](#)/[「Active Directory 接続」画面 \(138 ページ\)](#)を参照してください。

Active Directory サーバーに接続すると、NX Manager にユーザーを追加する画面が表示されます。

NX Manager にユーザーを追加する画面の詳細は [NX Manager にユーザーを追加する画面 \(185 ページ\)](#)を参照してください。

ヒント

【ユーザーの追加】 ボタンは、アカウント管理が「Active Directory」の場合に表示されます。

【Active Directory と同期】 ボタン

Active Directory から情報を取得し、NX Manager のユーザーおよびグループを更新します。

- 種別が「ユーザー」の場合
識別子名およびユーザーの所属グループが更新されます。
- 種別が「グループ」の場合
識別子名が更新されます。

ヒント

- 【Active Directory と同期】 ボタンは、アカウント管理が「Active Directory」の場合に表示されます。
- Active Directory からユーザーまたはグループが削除された場合、NX Manager から削除されます。

選択ユーザー操作

識別子名の左側にあるチェックボックスにチェックを付けて、選択したユーザーの操作を選択します。

- IC カードの削除
選択したユーザーに紐付けられている IC カードを削除します。
「IC カードの削除」画面が表示され、IC カードをまとめて削除できます。
- ユーザーの削除
選択したユーザーを削除します。
「ユーザーの削除」画面が表示され、ユーザーをまとめて削除できます。

ヒント

「選択ユーザー操作」は、アカウント管理が「Active Directory」の場合に表示されます。

絞り込み

表示対象を絞り込むための文字列の一部またはすべてを入力します。
入力できる最大文字数は、256 文字です。

【検索】 ボタン

絞り込み結果を表示します。

識別子名

認証サーバーに登録されているユーザープリンシパル名 (UPN) またはグループ名 (CN) が表示されます。

種別

認証サーバーに登録されているアカウントの種別が表示されます。

ジョブグループ

認証サーバーに登録されているユーザーに紐付けられているジョブグループ名が表示されます。

紐付けられているジョブグループがない場合、ジョブグループ名は表示されません。
1人のユーザーにつき、1個のジョブグループが紐付けられています。
表示されているジョブグループ名をクリックすると「ジョブグループ参照」画面が表示され、ジョブグループの設定内容を確認できます。
「ジョブグループ参照」画面の詳細は、[「ジョブグループ参照」画面 \(178 ページ\)](#)を参照してください。

ユーザーのグループ

ユーザーが所属しているグループのグループ名(CN)が表示されます。

ヒント

「ユーザーのグループ」は、アカウント管理が「Active Directory」で、種別が「ユーザー」の場合に表示されます。

最終ログイン日時

ユーザーが最後にログインした日時を表示します。

ヒント

「最終ログイン日時」は、種別が「ユーザー」の場合に表示されます。

ICカード

ユーザーに紐付けられている NFC カードが表示されます。

ヒント

「ICカード」は、アカウント管理が「Active Directory」で、種別が「ユーザー」の場合に表示されます。

ユーザーの操作

ユーザーの行をマウスでポイントすると表示される「ICカードの削除」と「ユーザーの削除」で次の操作ができます。

- ICカードの削除
ユーザーに紐付けられている IC カードを削除します。
種別が「ユーザー」の場合で、IC カードが登録済みの場合に表示されます。
- 削除
ユーザーを削除します。

ヒント

「ユーザーの操作」は、アカウント管理が「Active Directory」の場合に表示されます。

NX Manager にユーザーを追加する画面

NX Manager にユーザーを追加します。

ヒント

この画面はアカウント管理が「Active Directory」の場合に表示されます。

検索ベース

検索ベース (DN) を入力します。
入力できる最大文字数は、255 文字です。

例: cn=Users,dc=example,dc=com

対象

検索対象を選択します。
入力できる最大文字数は、255 文字です。

- ユーザー名
ユーザー名を絞り込み対象とする場合にチェックを付けます。
- グループ名
グループ名を絞り込み対象とする場合にチェックを付けます。

文字列

表示対象を絞り込むための文字列の一部またはすべてを入力します。
入力できる最大文字数は、255 文字です。

【検索】 ボタン

絞り込み結果を表示します。

識別子名

認証サーバーに登録されているユーザープリンシパル名 (UPN) またはグループ名 (CN) が表示されます。
「識別子名」の左側にあるチェックボックスにチェックを付けると、識別子のチェックボックスのチェックをすべて付けた状態になります。
「識別子名」の左側にあるチェックボックスのチェックを外すと、識別子のチェックボックスのチェックをすべて外した状態になります。
各識別子の左側にあるチェックボックスにチェックを付けたユーザーを、「ユーザー一覧」に追加します。

ヒント

ユーザープリンシパル名 (UPN) が設定されていないユーザーアカウントは表示されません。

種別

認証サーバーに登録されているアカウントの種別が表示されます。

【OK】 ボタン

ユーザーを追加します。

【キャンセル】 ボタン

操作を取りやめます。

「プロファイル一覧」 画面

PaperStream IP ドライバーのプロファイルの確認、インポート、削除などの操作をします。

ヒント

NX Manager には、PaperStream IP ドライバーの初期値が設定されたプロファイルとプリセットプロファイルが用意されています。
これらのプロファイルは削除できません。

【プロファイルのインポート】 ボタン

PaperStream IP ドライバーのプロファイルをインポートします。
インポートできる PaperStream IP ドライバーのプロファイルは、PaperStream IP ドライバーから退避した読み取りプロファイル (*.pav) です。
PaperStream IP ドライバーから読み取りプロファイル (*.pav) を退避する手順については、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。

重要

- PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている項目で NX Manager では動作しないものがあります。
PaperStream IP ドライバーのプロファイルの動作仕様については、[PaperStream IP ドライバーのプロファイルの動作仕様 \(229 ページ\)](#)を参照してください。
- NX Manager が動作しているコンピューターで、PaperStream NX Manager プロファイル作成ツールの退避・復元を使用する場合は、NX Manager ですべてのジョブが完了していることを確認してください。

ヒント

コンピューターに PaperStream IP ドライバーがインストールされている場合、PaperStream NX Manager プロファイル作成ツールを使用して、PaperStream IP ドライバーのプロファイルを作成できます。
このとき、コンピューターにスキャナーを接続する必要はありません。
PaperStream NX Manager プロファイル作成ツールを起動するには、次のフォルダーに格納されている「NmPSIPProfile.exe」を起動してください。

%ProgramFiles%\PaperStream IP\NmPSIPProfile フォルダー配下

例：

C:\Program Files\PaperStream IP\NmPSIPProfile フォルダー配下

PaperStream NX Manager プロファイル作成ツールの使用方法については、起動した「PaperStream NX Manager プロファイル作成ツール」画面の使用方法を参照してください。

絞り込み

表示対象を絞り込むための文字列の一部またはすべてを入力します。
入力できる最大文字数は、256 文字です。

【検索】 ボタン

絞り込み結果を表示します。

ID

ID が表示されます。

プロファイル名

インポートした PaperStream IP ドライバーのプロファイル名が表示されます。

プロファイルの操作

PaperStream IP ドライバーのプロファイルの行をマウスでポイントすると表示される「プロファイルの操作」列の「削除」をクリックして、PaperStream IP ドライバーのプロファイルを削除できます。

「ステータス」画面

ステータスを確認します。

最終更新時刻

「ステータス」画面を最後に更新した年月日と時刻が表示されます。

X 秒間隔で更新中

X 秒間隔で更新中であることが表示されます。

X には、NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「環境設定」をクリックして表示される「設定」画面の「画面設定」の「画面更新間隔」で選択した値が表示されます。

「設定」画面の詳細は、[「設定」画面 \(196 ページ\)](#)を参照してください。

【今すぐ更新】 ボタン

「ステータス」画面を更新します。

バッチログ

次に示すバッチの件数が表示されます。

- 状態が「エラー」のバッチの件数

状態が「エラー」のバッチの件数が表示されます。

件数をクリックすると、「バッチログ一覧」画面が表示されます。

「バッチログ一覧」画面の詳細は、[「バッチログ一覧」画面 \(189 ページ\)](#)を参照してください。

表示されるアイコンについては、次のとおりです。

アイコン	説明
 正常	状態が「エラー」のバッチがない場合に表示されます。
 エラー	状態が「エラー」のバッチがある場合に表示されます。

- 滞留しているバッチの件数

滞留しているバッチの件数が表示されます。

滞留とは、NX Manager 上で処理待ちの状態のことです。

件数をクリックすると、「バッチログ一覧」画面が表示されます。

「バッチログ一覧」画面の詳細は、[「バッチログ一覧」画面 \(189 ページ\)](#)を参照してください。

表示されるアイコンについては、次のとおりです。

アイコン	説明
 滞留バッチ数	NX Manager 上で処理待ちのバッチが、0～30 件の場合に表示されます。
 滞留バッチ数	NX Manager 上で処理待ちのバッチが、31 件以上の場合に表示されます。

イベントログ

種別が「エラー」のイベントログの件数が表示されます。

件数をクリックすると、「イベントログ一覧」画面が表示されます。

「イベントログ一覧」画面の詳細は、[「イベントログ一覧」画面 \(193 ページ\)](#)を参照してください。

表示されるアイコンについては、次のとおりです。

アイコン	説明
 正常	種別が「エラー」のイベントログがない場合に表示されます。
 エラー	種別が「エラー」のイベントログがある場合に表示されます。

バッチログ

「バッチログ一覧」画面

バッチログ（読み取り状況）を確認します。

バッチの滞留状態

滞留しているバッチの件数に応じたアイコンが表示されます。

滞留とは、NX Manager 上で処理待ちの状態のことです。

表示されるアイコンについては、次のとおりです。

アイコン	説明
	NX Manager 上で処理待ちのバッチが、0～30 件の場合に表示されます。
	NX Manager 上で処理待ちのバッチが、31 件以上の場合に表示されます。

滞留バッチ数

滞留しているバッチの件数が表示されます。

最終更新時刻

NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ステータス」をクリックして表示される「ステータス」画面を最後に更新した年月日と時刻が表示されます。

【エクスポート】ボタン

バッチログをファイルに出力します。

【エラーをすべて確認済みにする】ボタン

状態が「エラー」のバッチをすべて「エラー(確認済み)」にします。

日時

表示するバッチログの期間を入力します。

開始の年月日

表示するバッチログの開始年月日を入力します。

入力できる最大文字数は、100 文字です。

開始の時刻

表示するバッチログの開始時刻を入力します。

入力できる最大文字数は、100 文字です。

終了の年月日

表示するバッチログの終了年月日を入力します。

入力できる最大文字数は、100 文字です。

終了の時刻

表示するバッチログの終了時刻を入力します。
入力できる最大文字数は、100 文字です。

状態

表示するバッチの状態を選択します。

絞り込み

表示対象を絞り込むための文字列の一部またはすべてを入力します。
入力できる最大文字数は、1024 文字です。
絞り込みの対象になる項目は、「スキャナー名」、「ユーザー名」、「ジョブ名」、「説明」だけです。

【検索】 ボタン

絞り込み結果を表示します。

開始日時

読み取りを開始した日時が表示されます。
表示されている開始日時をクリックすると「バッチログ詳細」画面が表示され、バッチログの詳細内容を確認できます。
「バッチログ詳細」画面の詳細は、[「バッチログ詳細」画面 \(192 ページ\)](#)を参照してください。

ヒント

状態が「エラー」のバッチの場合、「バッチログ詳細」画面でバッチログの詳細内容を確認して閉じると、状態が「エラー(確認済み)」になります。

スキャナー名

読み取りを実行したスキャナー名が表示されます。

ユーザー名

読み取りを実行したユーザー名が表示されます。

ジョブ名

実行したジョブ名が表示されます。

状態

次に示すバッチの状態が表示されます。

- エラー
スキャナーから転送された画像の画像処理またはファイル保存に失敗した状態です。
- OCR 処理中
スキャナーから転送された画像を OCR 処理している状態です。
- OCR エラー
スキャナーから転送された画像の OCR 処理に失敗した状態です。
- 受付中

スキャナーからの画像転送を受け付けている状態です。

- 画像処理待ち
スキャナーからの画像転送が完了し、画像処理を待っている状態です。
- 画像処理中
スキャナーから転送された画像を画像処理している状態です。
- QC 処理中
Web Scan での読み取り設定を設定中の状態です。
- 画像編集待ち
Web Scan で読み取った原稿の画像が編集待ちの状態です。
- 画像編集中
Web Scan で読み取った原稿の画像が編集中の状態です。
- ファイル保存待ち
スキャナーから転送された画像の画像処理または OCR 処理が完了し、画像ファイルおよびインデックスファイルの保存を待っている状態です。
- ファイル保存中
画像ファイルおよびインデックスファイルを保存先に保存している状態です。
- 完了
画像ファイルおよびインデックスファイルの保存が完了し、バッチが完了した状態です。
- キャンセル
スキャナーで読み取りを中止/キャンセルした状態です。
- エラー(確認済み)
状態が「エラー」のバッチを「バッチログ詳細」画面で確認した状態です。

ヒント

 **エラー** のアイコンは、バッチの状態が「エラー」の場合に表示されます。

説明

バッチの説明が表示されます。

バッチの操作

- 再試行
「再試行」が表示されている場合、[NX Manager の管理者用 Web 画面](#)に表示されるバッチログの [メッセージ \(204 ページ\)](#)を参照して対処してから、「再試行」をクリックして、バッチを再試行します。

ヒント

「再試行」は、バッチの状態が「エラー」の場合に表示されます。

- 削除
バッチを削除します。

ヒント

「削除」は、バッチの状態が「エラー」、「OCR エラー」、「完了」または「エラー(確認済み)」の場合に表示されます。

「バッチログ詳細」画面

バッチログの詳細内容を確認します。

開始日時

読み取りを開始した日時が表示されます。

最終更新日

バッチが最後に更新された日時が表示されます。

スキャナー機種名

読み取りを実行したスキャナーの機種名が表示されます。

シリアル番号

読み取りを実行したスキャナーのシリアル番号が表示されます。

スキャナー名

読み取りを実行したスキャナー名が表示されます。

IP アドレス

読み取りを実行したスキャナーの IP アドレスが表示されます。

ユーザー名

読み取りを実行したユーザー名が表示されます。

ジョブ名

実行したジョブ名が表示されます。

再試行

バッチの再試行ができるかどうかが表示されます。

バッチ ID

バッチ ID が表示されます。

状態

次に示すバッチの状態が表示されます。

- エラー
スキャナーから転送された画像の画像処理またはファイル保存に失敗した状態です。
- 受付中
スキャナーからの画像転送を受け付けている状態です。

- 画像処理待ち
スキャナーからの画像転送が完了し、画像処理を待っている状態です。
- 画像処理中
スキャナーから転送された画像を画像処理している状態です。
- QC 処理中
Web Scan での読み取り設定を設定中の状態です。
- 画像編集待ち
Web Scan で読み取った原稿の画像が編集待ちの状態です。
- 画像編集中
Web Scan で読み取った原稿の画像が編集中の状態です。
- ファイル保存待ち
スキャナーから転送された画像の画像処理または OCR 処理が完了し、画像ファイルおよびインデックスファイルの保存を待っている状態です。
- ファイル保存中
画像ファイルおよびインデックスファイルを保存先に保存している状態です。
- 完了
画像ファイルおよびインデックスファイルの保存が完了し、バッチが完了した状態です。
- キャンセル
スキャナーで読み取りを中止/キャンセルした状態です。
- エラー(確認済み)
状態が「エラー」のバッチを「バッチログ詳細」画面で確認した状態です。

説明

バッチの説明が表示されます。

【OK】 ボタン

画面を閉じます。

イベントログ

「イベントログ一覧」画面

イベントログを確認します。

【エクスポート】 ボタン

イベントログをファイルに出力します。

【クリア】 ボタン

イベントログをクリアします。

【エラーをすべて確認済みにする】 ボタン

種別が「エラー」のイベントログをすべて「エラー(確認済み)」にします。

種別による絞り込み

絞り込み対象とする種別のチェックボックスにチェックを付けます。

「情報」チェックボックス

種別が「情報」で絞り込む場合にチェックを付けます。

「警告」チェックボックス

種別が「警告」で絞り込む場合にチェックを付けます。

「エラー」チェックボックス

種別が「エラー」で絞り込む場合にチェックを付けます。

「エラー(確認済み)」チェックボックス

種別が「エラー(確認済み)」で絞り込む場合にチェックを付けます。

絞り込み

表示対象を絞り込むための文字列の一部またはすべてを入力します。

入力できる最大文字数は、1024 文字です。

絞り込みの対象になる項目は、「メッセージ」だけです。

【検索】 ボタン

絞り込み結果を表示します。

発生日時

イベントが発生した日時が表示されます。

表示されている開始日時をクリックすると「イベントログ詳細」画面が表示され、イベントログの詳細内容を確認できます。

「イベントログ詳細」画面の詳細は、[「イベントログ詳細」画面 \(194 ページ\)](#)を参照してください。

種別

次に示すイベントログの種別が表示されます。

- 情報
- 警告
- エラー
- エラー(確認済み)

メッセージ

イベントログのメッセージが表示されます。

イベントログのメッセージの詳細は、[NX Manager の管理者用 Web 画面に表示されるイベントログのメッセージ \(207 ページ\)](#)を参照してください。

「イベントログ詳細」画面

イベントログの詳細内容を確認します。

発生日時

イベントが発生した日時が表示されます。

発生元

イベントの発生元が表示されます。

IP アドレス

読み取りを実行したスキャナーの IP アドレスが表示されます。

スキャナー機種名

読み取りを実行したスキャナーの機種名が表示されます。

シリアル番号

読み取りを実行したスキャナーのシリアル番号が表示されます。

ユーザー名

読み取りを実行したユーザー名が表示されます。

ジョブ名

実行したジョブ名が表示されます。

種別

次に示すイベントログの種別が表示されます。

- 情報
- 警告
- エラー
- エラー(確認済み)

【エラー詳細】 ボタン

エラーの詳細内容を確認します。

ヒント

【エラー詳細】 ボタンは、種別が「エラー」の場合に表示されます。

イベントコード

イベントログのイベントコードが表示されます。

メッセージ

イベントログのメッセージが表示されます。

イベントログのメッセージの詳細は、[NX Manager の管理者用 Web 画面に表示されるイベントログのメッセージ \(207 ページ\)](#)を参照してください。

【OK】 ボタン

画面を閉じます。

「設定」 画面

NX Manager の環境設定をします。

ブラウザ設定**「通信に HTTPS を使用する」 チェックボックス**

通信に HTTPS を使用する場合にチェックを付けます。

ポート番号

ポート番号を入力します。

1～65535 の整数値が入力できます。

スキャナー通信設定**「通信に HTTPS を使用する」 チェックボックス**

通信に HTTPS を使用する場合にチェックを付けます。

ポート番号

ポート番号を入力します。

1～65535 の整数値が入力できます。

画面設定**画面更新間隔**

NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ステータス」をクリックして表示される「ステータス」画面を更新する間隔を選択します。

画面設定**画面更新間隔**

NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「ステータス」をクリックして表示される「ステータス」画面を更新する間隔を選択します。

SMTP 設定

次の場合に、メール送信するための SMTP を設定します。

- 異常通知をメールで送信する場合
- バッチの状態をメールで送信する場合
- ジョブ設定の「保存先」で「メール」を選択する場合

SMTP サーバー

SMTP サーバーのサーバー名を入力します。

入力できる最大文字数は、255 文字です。

認証方式が「Exchange Online OAuth 2.0 認証」の場合、「smtp.office365.com」が自動で入力されますが、変更できます。

SMTP サーバーポート番号

SMTP サーバーのポート番号を入力します。

1～65535 の整数値が入力できます。

認証方式が「Exchange Online OAuth 2.0 認証」の場合、「587」固定になります。

SSL 通信

SMTP サーバーとの通信で、SSL 通信をするかどうか、および SSL 通信方式を選択します。

認証方式が「Exchange Online OAuth 2.0 認証」の場合、「有効 (STARTTLS)」固定になります。

- 無効
- 有効 (SSL)
- 有効 (STARTTLS)

「サーバー認証が必要」チェックボックス

SMTP サーバーに接続するときに認証が必要な場合にチェックを付けます。

チェックを付けた場合、認証方式を選択します。

認証方式

認証方式を選択します。

認証方式が「基本認証」の場合

基本認証

ユーザー名とパスワードを使用して認証します。

ユーザー名

SMTP サーバーに接続するときのユーザー名を入力します。

入力できる最大文字数は、256 文字です。

半角の英文字、数字、および記号が入力できます。

パスワード

SMTP サーバーに接続するときのパスワードを入力します。

入力できる最大文字数は、256 文字です。

認証方式が「Exchange Online OAuth 2.0 認証」の場合

Exchange Online OAuth 2.0 認証

Microsoft 社のアクセス許可コードを使用して認証します。

SMTP サーバーの認証方式に Exchange Online OAuth 2.0 認証を使用する場合、[SMTP サーバーの認証方式に「Exchange Online OAuth 2.0 認証」を使用する \(241 ページ\)](#)を参照してください。

アクセス許可コード

アクセス許可コードを取得すると、コードおよび【コピー】ボタンが表示されます。

【取得】ボタン

アクセス許可コードを取得します。

アクセス許可コードを取得すると、【更新】ボタンに変わります。

【コピー】ボタン

表示されているアクセス許可コードをクリップボードにコピーします。

認証するときに、コピーしたアクセス許可コードを、認証画面に貼り付けできます。

【更新】ボタン

アクセス許可コードが使用できない場合や、新しいアクセス許可コードが必要な場合に、アクセス許可コードを更新します。

更新したアクセス許可コードで認証が完了すると、元の【取得】ボタンに変わります。

認証状態

現在の認証状態が表示されます。

- 認証が完了した場合、「完了」と表示されます。
- 未認証または認証期限が切れた場合は、「未完了」と表示されます。

【認証開始】ボタン

認証を開始します。

認証画面が表示されます。

認証が完了すると、【再認証】ボタンに変わります。また、認証したユーザー名が表示されます。

このボタンは、アクセス許可コードを取得すると、クリックできます。

【再認証】ボタン

アクセス許可コードを更新したときに、新しいコードで再認証します。

認証画面が表示されます。

メール保存設定

ジョブ設定の「保存先」で「メール」を選択する場合に設定します。

添付ファイルサイズ

メールで送信可能な画像ファイルサイズの合計を入力します。

1～2147483647 の整数値が入力できます。

単位は MB です。

異常通知設定

「異常通知メールを送信する」チェックボックス

NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「イベントログ」をクリックして表示される「イベントログ一覧」画面に、エラーが発生したときにメールを送信する場合にチェックを付けます。

メールの内容については、[異常通知メールの仕様 \(236 ページ\)](#)を参照してください。

送信先メールアドレス

送信先メールアドレスを入力します。

複数の送信先メールアドレスを入力する場合は、改行で送信先メールアドレスを区切って入力します。

入力できる最大文字数は、送信先メールアドレス 1 個につき、255 文字です。

送信元メールアドレス

送信元メールアドレスを入力します。

送信元メールアドレスには、SMTP サーバーに存在するメールアドレスを入力してください。

使用している SMTP サーバーによっては、認証に使用したメールアドレス以外を入力するとエラーになる場合があります。

入力できる最大文字数は、255 文字です。

認証方式が「Exchange Online OAuth 2.0 認証」の場合、認証が完了すると、認証したメールアドレスが自動で入力されます。SMTP サーバーで許可されているメールアドレスに変更できます。

件名

メールの件名を入力します。

入力できる最大文字数は、128 文字です。

エンコード

メール送信するときのメールの文字コードを選択します。

- 自動選択
- Unicode(UTF-8)

ヒント

エンコードが「自動選択」の場合、メール送信するときのメールの文字コードは、オペレーティングシステムのシステムアカウントの言語によって、自動で選択されます。

メールをテスト送信するときのメールの文字コードは、ブラウザの言語によって、自動で選択されます。

言語と文字コードの対応は、次のとおりです。

言語	文字コード
アラビア語	ISO-8859-6

言語	文字コード
イタリア語	ISO-8859-1
スペイン語	ISO-8859-1
ドイツ語	ISO-8859-1
トルコ語	ISO-8859-9
フランス語	ISO-8859-1
ポルトガル語	ISO-8859-1
ロシア語	KOI8-R
英語	US-ASCII
韓国語	KS_C_5601-1987
中国語（簡体字）	GB2312
中国語（繁体字）	Big5
日本語	ISO-2022-JP（JIS コード）
上記以外の言語	US-ASCII

【テスト送信】 ボタン

メールが送信できるかどうかテストします。

バッチログ通知設定

「バッチログ通知メールを送信する」チェックボックス

バッチの状態をメール送信する場合にチェックを付けます。

メールの内容については、[バッチログ通知メールの仕様 \(237 ページ\)](#)を参照してください。

「状態が「エラー」のバッチだけ通知する」チェックボックス

NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「バッチログ」をクリックして表示される「バッチログ一覧」画面のバッチの状態が「エラー」、「エラー(確認済み)」のバッチが発生したときにメールを送信する場合にチェックを付けます。

チェックを外した場合、NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「バッチログ」をクリックして表示される「バッチログ一覧」画面のバッチの状態が「エラー」、「完了」、「エラー(確認済み)」のバッチが発生したときにメールを送信します。

送信先メールアドレス

送信先メールアドレスを入力します。

複数の送信先メールアドレスを入力する場合は、改行で送信先メールアドレスを区切って入力します。

入力できる最大文字数は、送信先メールアドレス 1 個につき、255 文字です。

送信元メールアドレス

送信元メールアドレスを入力します。

送信元メールアドレスには、SMTP サーバーに存在するメールアドレスを入力してください。

使用している SMTP サーバーによっては、認証に使用したメールアドレス以外を入力するとエラーになる場合があります。

入力できる最大文字数は、255 文字です。

認証方式が「Exchange Online OAuth 2.0 認証」の場合、認証が完了すると、認証したメールアドレスが自動で入力されます。SMTP サーバーで許可されているメールアドレスに変更できます。

件名

メールの件名を入力します。

入力できる最大文字数は、128 文字です。

エンコード

メール送信するときのメールの文字コードを選択します。

- 自動選択
- Unicode(UTF-8)

ヒント

エンコードが「自動選択」の場合、メール送信するときのメールの文字コードは、オペレーティングシステムのシステムアカウントの言語によって、自動で選択されます。

メールをテスト送信するときのメールの文字コードは、ブラウザの言語によって、自動で選択されます。

言語と文字コードの対応は、次のとおりです。

言語	文字コード
アラビア語	ISO-8859-6
イタリア語	ISO-8859-1
スペイン語	ISO-8859-1
ドイツ語	ISO-8859-1
トルコ語	ISO-8859-9
フランス語	ISO-8859-1
ポルトガル語	ISO-8859-1
ロシア語	KOI8-R
英語	US-ASCII
韓国語	KS_C_5601-1987
中国語（簡体字）	GB2312

言語	文字コード
中国語（繁体字）	Big5
日本語	ISO-2022-JP（JIS コード）
上記以外の言語	US-ASCII

【テスト送信】 ボタン

メールが送信できるかどうかテストします。

ネットワーク設定

「プロキシサーバを使用する」チェックボックス

ジョブ設定の「保存先」で、プロキシ経由が必要な SharePoint/SharePoint Online/FTP/FTPS を選択する場合にチェックを付けます。

プロキシサーバ

プロキシサーバのサーバー名を入力します。
入力できる最大文字数は、255 文字です。

プロキシサーバポート番号

プロキシサーバのポート番号を入力します。
1～65535 の整数値が入力できます。

例外

プロキシサーバを使用しない例外のアドレスを入力します。
複数のアドレスを入力する場合は、「;（セミコロン）」でアドレスを区切って入力します。
入力できる最大文字数は、アドレス 1 個につき、255 文字です。合計で入力できる最大文字数は、2064 文字です。
半角の英文字、数字、および記号（-、_、*、/、:）が入力できます。

「サーバー認証が必要」チェックボックス

プロキシサーバに接続するときに認証が必要な場合にチェックを付けます。
チェックを付けた場合、「ユーザー名」および「パスワード」を入力します。

ユーザー名

プロキシサーバに接続するときのユーザー名を入力します。
入力できる最大文字数は、256 文字です。
半角の英文字、数字、および記号が入力できます。

パスワード

プロキシサーバに接続するときのパスワードを入力します。
入力できる最大文字数は、256 文字です。

【保存】 ボタン

設定内容を保存します。

「コネクター設定」 画面

PaperStream Connector Option で連携するコネクターの情報を設定します。

「コネクター設定」 画面の詳細は、PaperStream Connector Option ヘルプを参照してください。

【PaperStream Connector Option をダウンロード】リンク

PaperStream Connector Option のダウンロードページを表示します。

「情報」 画面

バージョン情報を確認します。

次の情報が表示されます。

- NX Manager のバージョン
- コネクター API のバージョン
- 認証 API のバージョン
- PaperStream NX Manager Searchable PDF Option のバージョン
- コピーライト

付録

付録では、補足情報について説明します。

メッセージ一覧

NX Manager を使用しているときに表示されるメッセージの一覧を示します。

NX Manager の管理者用 Web 画面に表示されるバッチログのメッセージ

メッセージは、NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「バッチログ」をクリックして表示される「バッチログ一覧」画面の「説明」に表示されます。

メッセージ	対処
指定されたフォルダーの認証に失敗しました。詳細コード:[詳細] フォルダパス:[フォルダパス]	認証の設定を見直して、「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
指定されたフォルダーへの接続に失敗しました。ネットワークに接続されていない可能性があります。	ネットワーク接続を確認後、「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
画像処理に失敗しました。詳細コード:[サーバー エラーコード]([画像処理 エラーコード])	● [サーバー エラーコード] - 3、4、5、6、7、10、11、12、13、14、15、16、17、18 の場合 [画像処理 エラーコード]を確認し、対処してください。 - 2、9 の場合 「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。 再度発生する場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。 ● [画像処理 エラーコード] - 101 の場合 メモリー不足のため処理できません。「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。 - 102 の場合 ディスクへの書き込みに失敗しました。ディスク容量を確認のうえ、「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
画像編集に失敗しました。詳細コード:[サーバー エラーコード]([画像処理 エラーコード])	

メッセージ	対処
	- 103 の場合 「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。 - 111 の場合 PaperStream IP (TWAIN x64) がインストールされているか確認してください。 再度発生する場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
画像の保存に失敗しました。	ジョブの設定を見直して、「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
SharePoint への保存に失敗しました。	
SharePoint Online への保存に失敗しました。	
コネクタ連携先の保存に失敗しました。	
FTP/FTPS サーバーへの接続に失敗しました。	
FTP/FTPS サーバーへの保存に失敗しました。	詳細の内容に従って、ジョブの設定を見直して、「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
画像の保存に失敗しました。詳細：[詳細]	
画像の保存に失敗しました。詳細：指定されたユーザのアクセスが許可されていません。	画像の保存先の設定およびジョブの設定を見直して、「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
インデックスファイルの追記に失敗しました。ファイル名：[ファイル名]詳細：[詳細]	詳細の内容に従って、保存先のインデックスファイルを見直して、「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
インデックスファイルの保存に失敗しました。詳細：[詳細]	詳細の内容に従って、ジョブの設定を見直して、「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
SharePoint への保存に失敗しました。詳細：[詳細]	
SharePoint への保存に失敗しました。詳細：指定されたユーザのアクセスが許可されていません。	画像の保存先の設定およびジョブの設定を見直して、「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。

メッセージ	対処
SharePoint Online への保存に失敗しました。詳細：[詳細]	詳細の内容に従って、ジョブの設定を見直して、「バッチロガー覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
SharePoint Online への保存に失敗しました。詳細：指定されたユーザのアクセスが許可されていません。	保存先の設定およびジョブの設定を見直して、「バッチロガー覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
FTP/FTPS サーバーへの接続に失敗しました。詳細：[詳細]	詳細の内容に従って、ジョブの設定を見直して、「バッチロガー覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
FTP/FTPS サーバーへの保存に失敗しました。詳細：[詳細]	
FTP/FTPS サーバーへの保存に失敗しました。詳細：指定されたユーザのアクセスが許可されていません。	保存先の設定およびジョブの設定を見直して、「バッチロガー覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
FTP/FTPS サーバーへの保存に失敗しました。詳細：FTP/FTPS サーバーの空き容量がありません。	
メールの送信に失敗しました。詳細：[詳細]	詳細の内容に従って、ジョブの設定を見直して、「バッチロガー覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
メールの送信に失敗しました。詳細：ファイルサイズ([添付ファイルサイズ]MB)が制限([上限サイズ]MB)を超えています。	メールに添付するファイルサイズが、「設定」画面の「メール保存設定」の「添付ファイルサイズ」に入力した値を超えました。 - 再度読み取りを実行し、不要な画像を削除して、合計のファイルサイズを減らしてください。 - ジョブの設定を見直し、ファイルサイズを減らして、「バッチロガー覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
コネクタ API のバージョンがサポート範囲外のため使用できません。サポート範囲のコネクタ API バージョン: [バージョン]以下	メッセージの内容に従って、コネクタ API を修正して、「ジョブの編集」画面から再度設定してください。
コネクタ設定ファイルの読込に失敗しました。	
コネクタ API の格納先フォルダ設定に誤りがあります。	
コネクタ API の格納先フォルダの認証に失敗しました。	
コネクタ API の起動に失敗しました。	

メッセージ	対処
画像処理に失敗しました。詳細：[詳細]	詳細の内容に従って、ジョブの設定を見直して、「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
画像編集に失敗しました。詳細：[詳細]	詳細の内容に従って、Web Scan の設定を見直して、「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
スキャンが完了しませんでした。詳細：スキャン中にスキャナーの電源が切断された、またはネットワーク接続が切断された可能性があります。	スキャナーの接続状態を確認し、再度読み取りを実行してください。
OCR 処理に失敗しました。詳細：指定されたフォルダーの認証に失敗しました。詳細コード:[詳細]	認証の設定を見直して、「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
OCR 処理に失敗しました。詳細コード：[エラーコード]([詳細エラーコード])	• [詳細エラーコード] - 8、2147549185、2147614721 の場合 メモリー不足のため処理できません。不要なアプリケーションを停止させるなど、メモリー不足を解消したあとに、「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。 - 再度発生する場合や、それ以外のエラーコードの場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 - 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

NX Manager の管理者用 Web 画面に表示されるイベントログのメッセージ

メッセージは、NX Manager の管理者用 Web 画面の左メニューから「イベントログ」をクリックして表示される「イベントログ一覧」画面の「メッセージ」に表示されます。

イベントコード	メッセージ	対処
0B011002	Active Directory からの同期を開始しました。	対処の必要はありません。
0B011003	Active Directory からの同期に成功しました。	
6B012018	Active Directory からの同期に失敗しました。Active Directory 設定の検索ベースに誤りがあります。	詳細を確認後、Active Directory の設定が正しいか確認してください。

イベントコード	メッセージ	対処
6B012019	Active Directory からの同期に失敗しました。検索でタイムアウトが発生しました。	
6B012020	Active Directory からの同期に失敗しました。Active Directory サーバに接続できません。Active Directory 設定のアドレスに誤りがあるか、または、Active Directory サーバが利用可能ではありません。	
6B012022	Active Directory からの同期に失敗しました。Active Directory サーバのアクセスに失敗しました。Active Directory 設定や環境を確認し直してください。	
6B022212	IC カードの登録に失敗しました。登録可能なアカウントの最大件数に達しています。認証名: [認証名]	「ユーザー一覧」画面で不要なユーザーまたはグループを削除してください。
6B022018	Active Directory との接続に失敗したためユーザー認証が実行できませんでした。詳細: Active Directory 設定の検索ベースに誤りがあります。	詳細を確認後、Active Directory の設定が正しいか確認してください。
6B022019	Active Directory との接続に失敗したためユーザー認証が実行できませんでした。詳細: 検索でタイムアウトが発生しました。	
6B022020	Active Directory との接続に失敗したためユーザー認証が実行できませんでした。詳細: Active Directory サーバに接続できません。Active Directory 設定のアドレスに誤りがあるか、または、Active Directory サーバが利用可能ではありません。	
6B022021	Active Directory との接続に失敗したためユーザー認証が実行できませんでした。詳細: ユーザー名またはパスワードに誤りがあるか、Active Directory 設定の検索ベースに誤りがあります。	
6B022022	Active Directory との接続に失敗したためユーザー認証が実行できませんでした。詳細: Active Directory サーバのアクセスに失敗しました。Active Directory 設定や環境を確認し直してください。	

イベントコード	メッセージ	対処
6B032025	指定されたフォルダーの認証に失敗しました。詳細コード:[詳細] フォルダパス:[詳細]	認証の設定を見直して、「バッチログ一覧」画面の「バッチの操作」列の「再試行」をクリックしてください。
6B032036	ネットワーク接続がされていません。	SMTP サーバーとの通信状態を確認してください。
6B032037	メールテンプレートが設定されていません。	サービス「NxManagerImageSchedule」を再起動してください。 再度発生する場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
6B032057	ファイルの保存を待ち合わせる処理に失敗しました。スキャナー名:[スキャナー名]	スキャナーがネットワークに接続されているか確認してください。
6B032060	フォルダの削除に失敗しました。フォルダ名:[フォルダ名]	[フォルダ名]を手動で削除してください。
6B032134	使用できないバーコードが選択されているため、バーコードの検出が行われませんでした。ジョブを再保存してください。ジョブ名:[ジョブ名]	[ジョブ名]を編集し、使用できるバーコードの種類を選択して、ジョブを保存してください。
7B023025	認証 API の読込に失敗したためユーザ認証が実行できませんでした。ファイル名:[ファイル名]	認証 API を修正して、「認証一覧」画面から再度設定してください。
7B023026	認証 API からのユーザーの取得に失敗したためユーザ認証が実行できませんでした。ファイル名:[ファイル名]詳細:[認証 API で設定したエラーメッセージ]	
7B023027	認証 API からのユーザーの取得に失敗したためユーザ認証が実行できませんでした。ファイル名:[ファイル名]詳細:ユーザー名の文字数を 256 文字以下に設定してください。	
7B023028	認証 API バージョンの取得に失敗したためユーザ認証が実行できませんでした。ファイル名:[ファイル名]詳細:[詳細]	

イベントコード	メッセージ	対処
7B023029	認証 API のバージョンがサポート範囲外のためユーザー認証が実行できませんでした。 サポート範囲の認証 API バージョン: [NXManager の認証 API バージョン]以下 ファイル名:[ファイル名]バージョン:[認証 API のバージョン]	
7B023030	認証 API の読込に失敗したためスキャナーに IC カード読み取りパラメータの通知ができませんでした。ファイル名:[ファイル名]	
7B023031	認証 API の読み取りパラメータ取得に失敗したためスキャナーに IC カード読み取りパラメータの通知ができませんでした。ファイル名:[ファイル名] 詳細:[認証 API で設定したエラーメッセージ]	
7B023032	認証 API の読み取りパラメータ取得に失敗したためスキャナーに IC カード読み取りパラメータの通知ができませんでした。ファイル名:[ファイル名] 詳細:IC カード読み取りパラメータが設定可能な最大文字数を超過しました。	
7B023033	認証 API バージョンの取得に失敗したためスキャナーに IC カード読み取りパラメータの通知ができませんでした。ファイル名:[ファイル名] 詳細:[詳細]	
7B023034	認証 API のバージョンがサポート範囲外のためスキャナーに IC カード読み取りパラメータの通知ができませんでした。 サポート範囲の認証 API バージョン: [NXManager の認証 API バージョン]以下 ファイル名:[ファイル名]バージョン:[認証 API のバージョン]	
7B023035	Active Directory との接続に失敗したためユーザー認証が実行できませんでした。 詳細: Active Directory 認証時に異常が発生したためユーザー認証が実行できませんでした。	詳細を確認後、Active Directory の設定が正しいか確認してください。
7B033001	サービスが停止しました。サービス名: [サービス名] 詳細:[詳細]	サービス「[サービス名]」を再起動してください。
7B053001		

イベントコード	メッセージ	対処
7B033008	設定ファイルの読込に失敗しました。 ファイルが存在しません。ファイル名: [ファイル名] 詳細: [詳細]	[ファイル名]の設定値を確認してください。
7B033009	設定ファイルの読込に失敗しました。形式に誤りがあります。ファイル名: [ファイル名] 詳細: [詳細]	
7B033010	認証 API のバージョン取得に失敗しました。詳細: [詳細]	認証 API を修正して、「認証一覧」画面から再度設定してください。
7B023011	未サポートの認証 API です。ファイル名: [ファイル名]	
7B023012	認証 API の読み取りパラメータ取得に失敗しました。詳細: [詳細]	
7B023013	Active Directory との接続に失敗したためユーザー認証が実行できませんでした。詳細: [詳細]	Active Directory の設定が正しいか確認してください。
7B023014	認証 API との接続に失敗しました。詳細: [詳細]	認証 API を修正して、「認証一覧」画面から再度設定してください。
7B023015	設定ファイルの読込に失敗しました。 ファイルが存在しません。ファイル名: [ファイル名] 詳細: [詳細]	[ファイル名]の設定値を確認してください。
7B023016	設定ファイルの読込に失敗しました。形式に誤りがあります。ファイル名: [ファイル名] 詳細: [詳細]	
7B053017	イベント通知に失敗しました。詳細: [詳細]	Web API で設定したイベント通知用 URL が正しいかどうか確認してください。
7B023018	認証 API の読込に失敗しました。ファイル名: [ファイル名] 詳細: [詳細]	次のことを確認してください。 ● 認証 API が存在しているか ● 認証 API が破損していないか
7B033019	ネットワーク接続がされていません。	SMTP サーバーとの通信状態を確認してください。
7B033021	異常通知メールの送信に失敗しました。[詳細]	SMTP サーバーとの通信状態、メールの送信設定を確認して、サービス「NxManagerImageSchedule」を再起動してください。 再度発生する場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。
7B033022	バッチログ通知メールの送信に失敗しました。[詳細]	

イベントコード	メッセージ	対処
		株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
7B033023	標準プロファイルの設定に失敗しました。	次の対処をしてください。 ● サービス「NxManagerImageSchedule」を再起動してください。 ● PaperStream IP (TWAIN x64) がインストールされているか確認してください。 再度発生する場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
7B033100	内部エラーが発生しました。詳細: [詳細]	サービス「NxManagerImageProcess」を再起動してください。 再度発生する場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
7B033101		サービス「NxManagerImageRelease」を再起動してください。 再度発生する場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
7B033102		サービス「NxManagerImageSchedule」を再起動してください。 再度発生する場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメー

イベントコード	メッセージ	対処
		ジング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
7B023103		NX Manager をインストールしたコンピュータを再起動してください。 再度発生する場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
7B023104		
7B023105		
7B023106		
7B023107		
7B023108		
7B023109		
7B023110		
7B023111		
7B043112		PaperStream IP (TWAIN x64) がインストールされているか確認してください。
7B043113		NX Manager をインストールしたコンピュータを再起動してください。 再度発生する場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
7B043114		
7B043115		
7B043116		
7B043117		
7B043118		
7B043119		
7B043120		
7B043121		
7B043122		
7B043123		
7B043124		
7B043125		
7B043126		
7B043127		
7B043128		

イベントコード	メッセージ	対処
7B043129		
7B043130		
7B043131		
7B043132		
7B043133		
7B053134		サービス「NxManagerWebhooks」を再起動してください。

NX Manager に関するデータの退避・復元コマンドのメッセージ

メッセージは、NX Manager に関するデータの退避・復元コマンドを実行したコンピューターのコマンドプロンプトに表示されます。

NX Manager に関するデータの退避・復元コマンドのメッセージには次の 2 種類があります。

- 情報
- エラー
- 情報

コード	メッセージ	対処
0B062001	バックアップを開始します。	対処の必要はありません。
0B062002	バックアップを終了します。	
0B063001	リストアを開始します。	
0B063002	リストアを終了します。	

- エラー

コード	メッセージ	対処
7B062001	PaperStream NX Manager がインストールされていません。	NX Manager がインストールされていません。 NX Manager が正しくインストールされているコンピューターで実行してください。
7B062002	バックアップファイルの指定が正しくありません。	退避コマンドのパラメーターにバックアップファイル名が指定されていません。バックアップファイル名を指定して、再度実行してください。
7B062003	すでにバックアップファイルが存在します。	同名のバックアップファイルが存在しています。

コード	メッセージ	対処
		すでに存在するバックアップファイルを削除する、または、バックアップファイル名を変更して、再度実行してください。
7B062004	バックアップファイルの指定が正しくありません。	次の場合、このエラーメッセージが出力されますので、確認後再度コマンドを実行してください。 ● 退避コマンドのパラメーターに指定したバックアップファイルに書き込み権限がない場合 ● 指定したバックアップファイルがファイルとしてすでに存在している場合 ● バックアップファイルのフルパスが 128 バイトを超えた場合
7B062005	バックアップに失敗しました。	補助コード「7B069012」が付加されてこのメッセージが出力された場合は、ディスクに空き容量がない可能性があります。ディスクの空き容量を確認し、再度コマンドを実行してください。 補助コードなしでこのメッセージが出力される場合は、次のような形式で異常内容が表示されます。 ．．． 異常内容の詳細 ．．． .NET Framework の言語パックがインストールされていない場合は、異常内容の詳細は英語で表示されます。 上記以外の補助コードが付加されたこのメッセージが頻繁に出力するようであれば、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
7B062006	バックアップまたはリストアがすでに動作中です。	動作中のバックアップまたはリストアが完了後に、再実行してください。

コード	メッセージ	対処
7B062007	オプションの指定が正しくありません。	同じオプションが複数指定されています。同じオプションは 1 つだけ指定して、再度実行してください。
7B062008	バックアップファイルのバージョンがリストア対象外です。	指定されたバックアップファイルは、NX Manager の現在のバージョンに対応していません。 正しいバージョンのバックアップファイルを指定して、再度実行してください。
7B062009	管理者権限を持つユーザーで実行してください。	管理者権限がありません。 コンピューターの管理者権限を持つユーザーで再度実行してください。
7B063001	PaperStream NX Manager がインストールされていません。	NX Manager がインストールされていません。 NX Manager が正しくインストールされているコンピューターで実行してください。
7B063002	バックアップファイルの指定が正しくありません。	復元コマンドのパラメーターにバックアップファイル名が指定されていません。バックアップファイル名を指定して、再度実行してください。
7B063003	バックアップファイルが存在しません。	退避コマンドで指定したバックアップファイル名を指定して、再度実行してください。または、指定したバックアップファイルの読み込み権限を確認してください。
7B063004	リストアに失敗しました。	補助コード「7B069013」が付加されてこのメッセージが出力された場合は、ディスクに空き容量がない可能性があります。ディスクの空き容量を確認し、再度コマンドを実行してください。 補助コード「7B069010」が付加されてこのメッセージが出力された場合は、復元先のフォルダーに使用中のファイルがある可能性があります。使用中ではないかどうかを確認し、再度コマンドを実行してください。 補助コードなしでこのメッセージが出力される場合は、次のような形式で異常内容が表示されます。 ．．．

コード	メッセージ	対処
		異常内容の詳細NET Framework の言語パックがインストールされていない場合は、異常内容の詳細は英語で表示されます。 上記以外の補助コードが付加されたこのメッセージが頻繁に出力するようであれば、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
7B063005	バックアップまたはリストアがすでに動作中です。	動作中のバックアップまたはリストアが完了後に、再実行してください。
7B063006	ポート番号(XXXX) がすでに使用されています。	ポート番号(XXXX)は、すでにほかのアプリケーションで使用されています。 XXXX を使用しているアプリケーションの設定を変更し、再度リストアを実行してください。
7B063007	オプションの指定が正しくありません。	同じオプションが複数指定されています。同じオプションは 1 つだけ指定して、再度実行してください。
7B063008	バックアップファイルの指定が正しくありません。	次の場合、このエラーメッセージが出力されますので、確認後再度コマンドを実行してください。 ● 退避コマンドのパラメーターに指定したバックアップファイルに書き込み権限がない場合 ● 指定したバックアップファイルがファイルとしてすでに存在している場合 ● バックアップファイルのフルパスが 128 バイトを超えた場合
7B063009	管理者権限を持つユーザーで実行してください。	管理者権限がありません。コンピューターの管理者権限を持つユーザーで再度実行してください。

NX Manager の Database に関するデータの退避・復元コマンドのメッセージ

メッセージは、NX Manager の Database に関するデータの退避・復元コマンドを実行したコンピューターのコマンドプロンプトに表示されます。

NX Manager の Database に関するデータの退避・復元コマンドのメッセージには次の 2 種類があります。

- 情報
- エラー
- 情報

コード	メッセージ	対処
0B062001	バックアップを開始します。	対処の必要はありません。
0B062002	バックアップを終了します。	
0B063001	リストアを開始します。	
0B063002	リストアを終了します。	

- エラー

コード	メッセージ	対処
7B060001	PaperStream NX Manager Database がインストールされていません。	NX Manager Database がインストールされていません。 NX Manager Database が正しくインストールされているコンピューターで実行してください。
7B060002	オプションの指定が正しくありません。	退避コマンドのパラメーターにバックアップファイル名が指定されていません。バックアップファイル名を指定して、再度実行してください。
7B060003	すでにバックアップファイルが存在します。	同名のバックアップファイルが存在しています。 すでに存在するバックアップファイルを削除する、または、バックアップファイル名を変更して、再度実行してください。
7B060004	バックアップファイルの指定が正しくありません。	次の場合、このエラーメッセージが出力されますので、確認後再度コマンドを実行してください。 ● 退避コマンドのパラメーターに指定したバックアップファイルに書き込み権限がない場合

コード	メッセージ	対処
		バックアップファイルのフルパスが 128 バイトを超えた場合
7B060005	バックアップに失敗しました。	補助コード「7B069012」が付加されてこのメッセージが出力された場合は、ディスクに空き容量がない可能性があります。ディスクの空き容量を確認し、再度コマンドを実行してください。 補助コードなしでこのメッセージが出力される場合は、次のような形式で異常内容が表示されます。 ．．． 異常内容の詳細 ．．． .NET Framework の言語パックがインストールされていない場合は、異常内容の詳細は英語で表示されます。 上記以外の補助コードが付加されたこのメッセージが頻繁に出力するようであれば、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
7B060006	バックアップまたはリストアがすでに動作中です。	動作中のバックアップまたはリストアが完了後に、再実行してください。
7B060007	オプションの指定が正しくありません。	NX Manager の Database に関するデータを退避する (114 ページ) を参照してオプションの指定を確認し、再度コマンドを実行してください。
7B060009	管理者権限を持つユーザーで実行してください。	管理者権限がありません。コンピュータの管理者権限を持つユーザーで再度実行してください。
7B061001	PaperStream NX Manager Database がインストールされていません。	NX Manager Database がインストールされていません。 NX Manager Database が正しくインストールされているコンピュータで実行してください。

コード	メッセージ	対処
7B061002	オプションの指定が正しくありません。	復元コマンドのパラメーターにバックアップファイル名が指定されていません。バックアップファイル名を指定して、再度実行してください。
7B061003	バックアップファイルが存在しません。	回避コマンドで指定したバックアップファイル名を指定して、再度実行してください。または、指定したバックアップファイルの読み込み権限を確認してください。
7B061004	バックアップファイルの指定が正しくありません。	バックアップファイルのフルパスが 128 バイトを超えています。パスの長さを確認後、再度コマンドを実行してください。
7B061005	リストアに失敗しました。	補助コード「7B069013」が付加されてこのメッセージが出力された場合は、ディスクに空き容量がない可能性があります。ディスクの空き容量を確認し、再度コマンドを実行してください。 補助コードなしでこのメッセージが出力される場合は、次のような形式で異常内容が表示されます。 ．．． 異常内容の詳細 ．．． .NET Framework の言語パックがインストールされていない場合は、異常内容の詳細は英語で表示されます。 上記以外の補助コードが付加されたこのメッセージが頻繁に出力するようであれば、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
7B061006	バックアップまたはリストアがすでに動作中です。	動作中のバックアップまたはリストアが完了後に、再実行してください。

コード	メッセージ	対処
7B061007	オプションの指定が正しくありません。	NX Manager の Database に関するデータを復元する (115 ページ) を参照してオプションの指定を確認し、再度コマンドを実行してください。
7B061008	バックアップファイルのバージョンがリストア対象外です。	指定されたバックアップファイルのバージョンが、インストールされている NX Manager Database のバージョンよりも新しいため、リストアできません。インストールされている NX Manager Database のバージョンを確認し、再度コマンドを実行してください。
7B061009	管理者権限を持つユーザーで実行してください。	管理者権限がありません。コンピュータの管理者権限を持つユーザーで再度実行してください。

Windows Server のイベントログのメッセージ

メッセージは、Windows Server のイベントログ一覧に表示されます。

- ログの種類：アプリケーション
- イベントソース：NX Manager

イベントコード	メッセージ	対処
11001	サービスが正常に開始しました。サービス名：[サービス名]	対処の必要はありません。
11002	サービスが正常に停止しました。サービス名：[サービス名]	
12037	メールテンプレートが設定されていません。	サービス「NxManagerImageSchedule」を再起動してください。 再度発生する場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
13003	データベースアクセスに失敗しました。 詳細: [詳細]	データベースの稼働状況を確認してください。
13007	サービスが停止しました。サービス名：[サービス名] 詳細：[詳細]	サービス「[サービス名]」を再起動してください。

イベントコード	メッセージ	対処
13008	設定ファイルの読込に失敗しました。 ファイルが存在しません。ファイル名: [ファイル名] 詳細: [詳細]	[ファイル名]の設定値を確認してください。
13009	設定ファイルの読込に失敗しました。形式に誤りがあります。ファイル名: [ファイル名] 詳細: [詳細]	
13017	イベント通知に失敗しました。詳細:[詳細]	Web API で設定したイベント通知用 URL が正しいかどうか確認してください。
13100	内部エラーが発生しました。詳細: [詳細]	サービス「NxManagerImageProcess」を再起動してください。 再度発生する場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
13101		サービス「NxManagerImageRelease」を再起動してください。 再度発生する場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
13102		サービス「NxManagerImageSchedule」を再起動してください。 再度発生する場合は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
13103		NX Manager をインストールしたコンピュータを再起動してください。
13104		

イベントコード	メッセージ	対処
13105		再度発生する場合は、スキャナーを購入した 販社/販売店または株式会社 PFU イメージ ング サービス & サポートセンターにお 問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先に ついては、使用しているスキャナーのオペ レーターガイドを参照してください。
13106		
13107		
13108		
13109		
13110		
13111		
13112		PaperStream IP (TWAIN x64) がインス トールされているか確認してください。
13113		NX Manager をインストールしたコン ピューターを再起動してください。 再度発生する場合は、スキャナーを購入した 販社/販売店または株式会社 PFU イメー ジング サービス & サポートセンターにお 問い合わせください。 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先に ついては、使用しているスキャナーのオペ レーターガイドを参照してください。
13114		
13115		
13116		
13117		
13118		
13119		
13120		
13121		
13122		
13123		
13124		
13125		
13126		
13127		
13128		
13129		
13130		
13131		
13132		
13133		

イベントコード	メッセージ	対処
13134	内部エラーが発生しました。詳細:[詳細]	サービス「NxManagerWebhooks」を再起動してください。

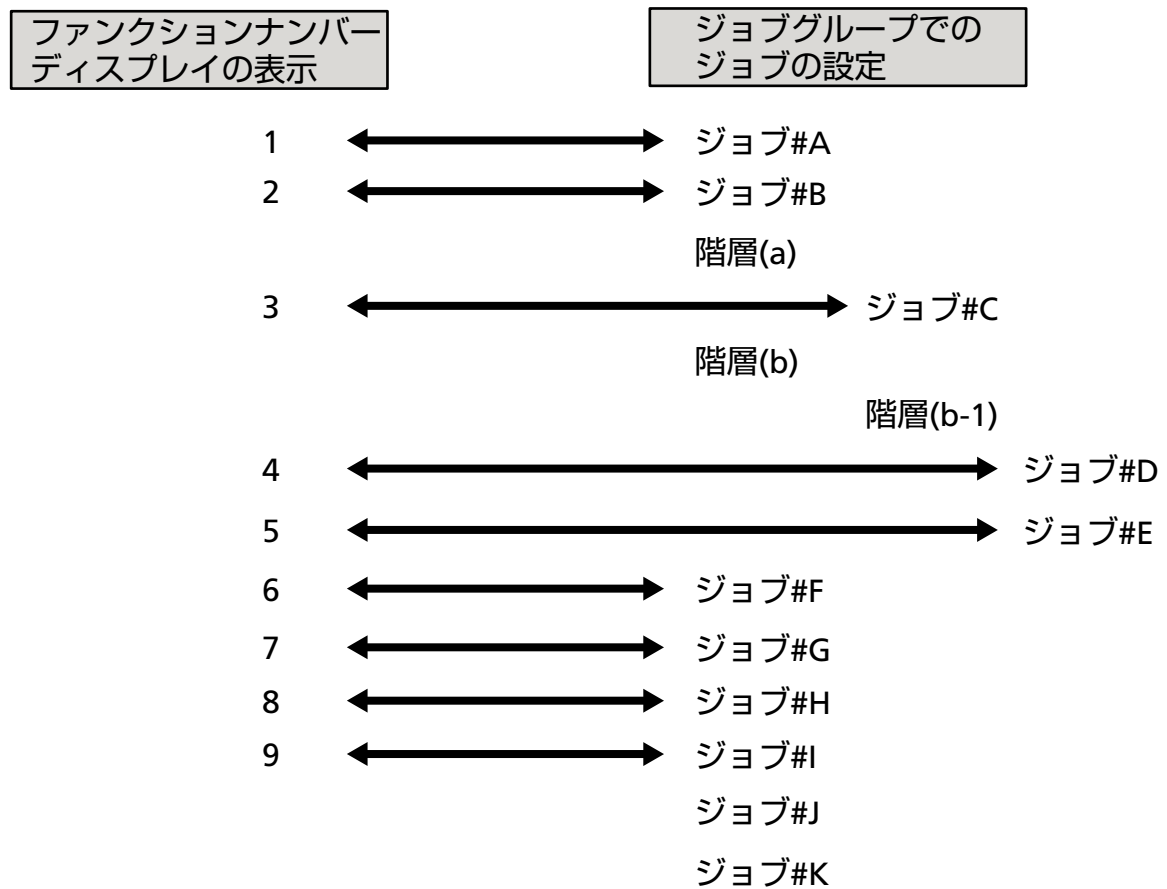
ジョブ/ジョブグループの仕様

項目	仕様
1 個のジョブグループに作成できる階層数	1～4 階層
1 階層のジョブグループに設定できるジョブ数	最大 20 個
1 個のジョブグループに設定できる合計ジョブ数	1～1000 個
1 個のジョブグループに追加できるユーザー数	全ジョブグループ合計で 1～3000 人のユーザー
1 個のジョブグループに追加できるスキャナー数	全ジョブグループ合計で最大 1000 台
1 人のユーザーに紐付けできるジョブグループ数	1 個（1 人のユーザーにつき、1 個のジョブグループが紐付けできる）
1 台のスキャナーに紐付けできるジョブグループ数	1 個（1 台のスキャナーにつき、1 個のジョブグループが紐付けできる）
作成できるジョブグループ数	最大 1000 個
作成できるジョブ数	最大 1000 個
作成できる認証数	最大 100 個

ヒント

- 認証方式が「認証なし」の場合、ジョブグループは 1 つの認証につき 1 つだけ作成できます。
- fi-8150/fi-8250 の場合、ジョブグループで設定したジョブは、上から順に最大 9 個までがファンクションナンバーに関連付けられて利用できます。

例



「ジョブ#J」および「ジョブ#K」は、ファンクションナンバーと関連付けができないため利用できません。

インデックスファイルの仕様

- ファイル形式

XML

- 文字コード

UTF-8

- ファイル出力単位

バッチ単位

ヒント

- PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている「画像タイプ」が「マルチイメージ」の場合、インデックスファイルは第 1、第 2、第 3 それぞれ別のファイルに出力されます。

インデックスファイル名が重複する場合は、第 1、第 2、第 3 の順で 1 つのファイルに結合されて出力されます。

- コネクター API 用ユーザーアプリケーションから取得したバージョンが 1.4.0 より古い場合、インデックスファイルは第 1、第 2、第 3 の順で 1 つのファイルに結合されて出力されます。

● 出力項目

項目	説明	XML 項目名
セパレーター No.	ドキュメント番号	Separator No.
ドキュメント内総ページ	ドキュメント内の総ページ数	Total pages in current document
ドキュメント内ページ番号	ドキュメント内のページ番号	Page Number in Document
ページ番号	先頭からのページ番号	Page number
実際のページ番号	ブランクページスキップやジョブセパレーターの破棄で読み飛ばされたページを含めたページ番号	Actual page number
日付と時刻	読み取りを開始した日付+時刻	Date&Time
ユーザー名	読み取りを実行したユーザー名 (*1)	User name
ユーザープリンシパル名	読み取りを実行したときのユーザープリンシパル名 (*2)	User Principal Name(Active Directory)
ファイル名 (フルパス)	画像ファイルのフルパスファイル名 (*3)	Full Path
ファイル名	画像ファイルのファイル名	File name
フォルダー名	画像ファイルの保存先フォルダー名 (*3)	Folder name
スキャナー機種名	読み取りに使用したスキャナーの機種名	Scanner name
解像度	画像の解像度 (単位: DPI)	Resolution
幅	画像の幅 (単位: ピクセル)	Width
高さ	画像の高さ (単位: ピクセル)	Height
ビットの深さ	画像のビットの深さ	Bit depth
読み取り面	画像の読み取り面 (表/裏)	Output side
ジョブグループ名	読み取りに使用したジョブが紐付けられているジョブグループ名	Job group name
ジョブグループコード	読み取りに使用したジョブが紐付けられているジョブグループコード (*4)	Job group code

項目	説明	XML 項目名
ジョブ名	読み取りに使用したジョブ名	Job name
スキャナー名 (デバイス名)	読み取りに使用したスキャナー名	Scanner device name
バーコード	画像ファイルをバーコードで分割した場合の、 バーコードの値	Barcode(Separator)
	画像ファイルをバーコードで分割した場合の、 バーコードの種類	Barcode Type(Separator)
メタデータ	読み取りに使用したジョブの「メタデータをスキャナーから入力する」で設定したフィールドに、 作業者がスキャナーのタッチパネルで入力した文字列 (*5)	読み取りに使用したジョブの「メタデータをスキャナーから入力する」で設定したフィールドの名前(Scanner Entry)
	認証 API から取得したメタデータフィールドに指定した値 (*6)	認証 API から取得したメタデータフィールドの名前 (Authentication API)
	読み取りに使用したジョブの「メタデータ」で設定したフィールドに出力されたバーコードの値	読み取りに使用したジョブの「メタデータ」で設定したフィールドの名前(Barcode)
	読み取りに使用したジョブの「メタデータ」で設定したフィールドに出力されたバーコードの種類	Barcode Type

*1：認証方式が次の場合だけ出力します。

- ユーザー名／パスワード
- NFC
- ユーザー名／パスワードまたは NFC

*2：認証方式が「ユーザー名／パスワード」、「NFC」または「ユーザー名／パスワードまたは NFC」かつアカウント管理が「Active Directory」の場合だけ出力します。

*3：保存先が次の場合だけ出力します。

- フォルダ保存
- コネクター API による保存先

*4：認証方式が「ジョブグループコード」の場合だけ出力します。

*5：「ジョブの新規作成」画面/「ジョブの編集」画面の「メタデータをスキャナーから入力する」チェックボックスにチェックを付けた場合だけ出力します。

*6：アカウント管理に「認証 API で連携する認証サーバー」を選択しているときで、認証 API からメタデータのフィールド名を 1 個以上取得できた場合だけ出力します。

認証 API から取得したメタデータフィールドが複数ある場合は、すべて出力されます。

詳細は、[出力例 \(228 ページ\)](#)を参照してください。

● 出力例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<root>
<page>
<item name="Separator No." value="セパレーター No." />
<item name="Total pages in current document" value="ドキュメント内総ページ" />
<item name="Page Number in Document" value="ドキュメント内ページ番号" />
<item name="Page number" value="ページ番号" />
<item name="Actual page number" value="実際のページ番号" />
<item name="Date&Time" value="日付と時刻" />
<item name="User name" value="ユーザー名" />
<item name="User Principal Name(Active Directory)" value="ユーザープリンシパル名" />
<item name="Full Path" value="ファイル名（フルパス）" />
<item name="File name" value="ファイル名" />
<item name="Folder name" value="フォルダー名" />
<item name="Scanner name" value="スキャナー機種名" />
<item name="Resolution" value="解像度" />
<item name="Width" value="幅" />
<item name="Height" value="高さ" />
<item name="Bit depth" value="ビットの深さ" />
<item name="Output side" value="読み取り面" />
<item name="Job group name" value="ジョブグループ名" />
<item name="Job group code" value="ジョブグループコード" />
<item name="Job name" value="ジョブ名" />
<item name="Scanner device name" value="スキャナー名（デバイス名）" />
<item name="Barcode(Separator)" value="画像ファイルをバーコードで分割した場合の、バーコードの値" />
<item name="Barcode Type(Separator)" value="画像ファイルをバーコードで分割した場合の、バーコードの種類" />
<item name="読み取りに使用したジョブの「メタデータをスキャナーから入力する」で設定したフィールドの名前(Scanner Entry)" value="読み取りに使用したジョブの「メタデータをスキャナーから入力する」で設定したフィールドに、作業者がスキャナーのタッチパネルで入力した文字列" /> (*1)
<item name="認証 API から取得したメタデータフィールドの名前(Authentication API)" value="認証 API から取得したメタデータフィールドに指定した値" /> (*2)
<item name="読み取りに使用したジョブの「メタデータ」で設定したフィールドの名前(Barcode)" value="読み取りに使用したジョブの「メタデータ」で設定したフィールドに出力されたバーコードの値" /> (*3)
<item name="Barcode Type" value="読み取りに使用したジョブの「メタデータ」で設定したフィールドに出力されたバーコードの種類" />
</page>
.
.
</root>
```

- *1:「ジョブの新規作成」画面/「ジョブの編集」画面の「メタデータをスキャナーから入力する」で設定したフィールド名が「FAX 番号」で、スキャナーのタッチパネルで「FAX 番号」に「1234567890」と入力した場合、次のように出力されます。

```
<item name="FAX 番号(Scanner Entry)" value="1234567890" />
```

- *2: 認証 API から取得したメタデータフィールド名が「従業員番号」でその値が「123456」の場合、次のように出力されます。

```
<item name="従業員番号(Authentication API)" value="123456" />
```

なお、認証 API から取得したメタデータフィールドが複数ある場合、次のように出力されます。

```
<item name="従業員番号(Authentication API)" value="123456" />
```

```
<item name="部署コード(Authentication API)" value="7890" />
```

```
<item name="メールアドレス(Authentication API)" value="abc@def.com" />
```

- *3:「ジョブの新規作成」画面/「ジョブの編集」画面の「メタデータ」で設定したフィールド名が「従業員番号」で、原稿から読み取ったバーコードの値が「123456」の場合、次のように出力されます。

```
<item name="従業員番号(Barcode)" value="123456" />
```

- ページ単位の情報は「page」エレメントで区切られます。ページ内各項目情報は「item」エレメントで区切られます。「item」エレメントの「name」属性の内容は該当項目の XML 項目名です。「value」属性は該当項目の値です。

- 「<」、「>」、「&」、「"」は、エンティティ参照となります。

PaperStream IP ドライバーのプロファイルの動作仕様

PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている項目の動作仕様について説明します。

ここでは、PaperStream IP ドライバーのプロファイルに設定されている項目で、サポートしていない項目を示します。これ以外の項目はサポートしています。

この表では、PaperStream IP ドライバーの画面の項目について、項目の位置を「-」でつなげて記載しています。

例:「コードシート切り替え」の場合

基本 - 画像タイプ - コードシート切り替え

PaperStream IP ドライバーの画面の項目	項目を設定したときの動作
基本 - 画像タイプ - コードシート切り替え	「二値白黒」として動作します。
基本 - 解像度 ● fi-8040 の場合 301dpi 以上のとき ● fi-8040 以外の場合 401dpi 以上のとき	● fi-8040 の場合 300dpi として動作します。 ● fi-8040 以外の場合 400dpi として動作します。
基本 - 用紙サイズ (*1) (*2) ● fi-8040 の場合 「長さ」が「355.6mm (14 インチ)」より長い	次のように動作します。 ● fi-8040 の場合 「長さ」を「355.6mm (14 インチ)」に補正します。

PaperStream IP ドライバーの画面の項目	項目を設定したときの動作
● fi-8040 以外の場合 - 「フィーダー（表面）」、「フィーダー（裏面）」、または「フィーダー（両面）」が設定されているとき 「301dpi」以上で、「長さ」が「355.6mm（14 インチ）」より長い - 「フィーダー（表面）」または「フィーダー（裏面）」が設定されているとき 「300dpi」以下で、「長さ」が「1828.8mm（72 インチ）」より長い - 「フィーダー（両面）」が設定されているとき 「300dpi」以下で、「長さ」が「863.6mm（34 インチ）」より長い - Web API 連携/Web Scan 連携するとき 「長さ」が「355.6mm（14 インチ）」より長い	● fi-8040 以外の場合 - 「フィーダー（表面）」、「フィーダー（裏面）」、または「フィーダー（両面）」が設定されているとき 「301dpi」以上は、「長さ」を「355.6mm（14 インチ）」に補正します。 - 「フィーダー（表面）」または「フィーダー（裏面）」が設定されているとき 「300dpi」以下は、「長さ」を「1828.8mm（72 インチ）」に補正します。 - 「フィーダー（両面）」が設定されているとき 「300dpi」以下は、「長さ」を「863.6mm（34 インチ）」に補正します。 - Web API 連携/Web Scan 連携するとき 「長さ」を「355.6mm（14 インチ）」に補正します。
基本 - キャリアシート	「オフ」として動作します。 「基本 - キャリアシート」に「見開き」または「切り出し（両面）」が設定されている場合、「基本 - 給紙」は「フィーダー（両面）」として動作します。 「基本 - キャリアシート」に「切り出し（表面）」が設定されている場合、「基本 - 給紙」は「フィーダー（表面）」として動作します。 「ページ - クロッピング」は「後端検出、オーバースキャン」として動作します。
画像 - 二値化の方法 - ハーフトーン - ハーフトーンパターン - ダウンロード	「単純スライス」として動作します。
画像 - 二値化の方法 - 選択的強調 - ハーフトーンパターン - ダウンロード	「単純スライス」として動作します。
画像 - トーン調整 - ダウンロード	「標準」として動作します。
画像 - ドロップアウトカラー - 装置設定	「緑」として動作します。
ページ - クロッピング - 優先度 - 精度重視	「速度重視」として動作します。
ページ - 上下分割	「オフ」として動作します。
用紙搬送 - マルチフィード検出 - 制御 - 読み取りを中断し画像を表示する	原稿の重なりを検出した場合、原稿を読み取ってから、エラーが通知されます。 エラー画面で画像を残すかどうかを選択できます。 なお、エラー画面に画像は表示されません。
バッチ - アシストスキャン	「オフ」として動作します。

PaperStream IP ドライバーの画面の項目	項目を設定したときの動作
バッチ - 継続読み取り	「オフ」として動作します。
バッチ - ジョブ制御	「オフ」として動作します。
バッチ - パッチコード検出	「オフ」として動作します。
バッチ - バーコード検出	「オフ」として動作します。
バッチ - 自動プロファイル選択	「オフ」として動作します。 「ページ - 回転」は「自動」として動作します。
出力 - 統計情報 - 読み取り結果画面	「表示しない」として動作します。
出力 - 統計情報 - ファイルに保存	「オフ」として動作します。
ツールバー - オプション - 表面・裏面を別々に設定する	「表面・裏面を同時に設定する」として動作します。
ツールバー - オプション - 設定面ごとに読み取り領域を設定する	「すべての設定面で同じ読み取り領域を設定する」として動作します。
ツールバー - 環境設定 - イベント - エラー・警告イベント - メッセージ表示（ドライバ画面表示時）	「表示しない」として動作します。
ツールバー - 環境設定 - イベント - エラー・警告イベント - メッセージ表示（ドライバ画面非表示時）	「表示しない」として動作します。
エンドーサ - インプリンタ - 設定画面	「表示しない」として動作します。

*1：PaperStream IP ドライバーのプロファイルに、「長さ」を指定する項目が設定されている場合は、用紙サイズに合わせて「長さ」を補正します。

*2：長さが 355.6mm（14 インチ）より長い原稿の読み取りをサポートしているのは、プッシュスキャンだけです。

画像ファイルの仕様

● 二値白黒の画像

ファイル形式	圧縮形式
PDF File(*.pdf) (*1) (*2)	CCITT G4
SinglePage PDF File(*.pdf) (*1)	
Tagged Image File Format(*.tif)	● CCITT G4 ● LZW ● 非圧縮
MultiPage Tagged Image File Format(*.tif)	

*1：PDF/A は未サポートです。

*2：検索可能な PDF にする機能をオプション（PaperStream NX Manager Searchable PDF Option）として用意しています。

対応している言語は、日本語です。

オプションの詳細は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。

株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

● グレースケール/カラーの画像

ファイル形式	圧縮形式
PDF File(*.pdf) (*1) (*2)	JPEG
SinglePage PDF File(*.pdf) (*1)	
Tagged Image File Format(*.tif)	● JPEG ● LZW ● 非圧縮
MultiPage Tagged Image File Format(*.tif)	
JPEG File(*.jpg)	JPEG

*1：PDF/A は未サポートです。

*2：検索可能な PDF にする機能をオプション（PaperStream NX Manager Searchable PDF Option）として用意しています。

対応している言語は、日本語です。

オプションの詳細は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。

株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

バーコードの仕様

セパレーターおよびメタデータとして使用できるバーコードの仕様について説明します。

ここでは、検出できるバーコードの種類と検出条件を示します。

● 1次元バーコード



例：Code 3 of 9

コード	キャラクタセット	桁数
UPC-A	数字	12（チェックデジットを含む）

コード	キャラクタセット	桁数
EAN 8 (JAN 8) EAN 13 (JAN 13)	数字	8 または 13 (チェックデジットを含む)
Code 3 of 9	ASCII	1～32 (スタート・ストップコードを含まない)
Code 128 (EAN 128)	ASCII	1～32 (チェックキャラクタを含まない)
Codabar (NW-7)	4 種のスタート・ストップキャラクタ、数字、6 種の記号	1～32 (スタート・ストップコードを含まない)
ITF	数字	2～32 (必ず偶数桁)

● 2 次元コード



例：PDF417



例：QR コード



例：Data Matrix

コード	キャラクターセット	桁数
PDF417	ASCII データ、 バイナリーデータ (マルチバイト文字)、 上記の混在	英数字：最大 1850 字 数字：最大 2710 桁 バイナリーデータ：最大 1108 バイト
QR コード	数字、英字、記号、 バイナリーデータ (マルチバイト文字)、 制御コード、 上記の混在	英数字：最大 395 字 数字：最大 652 桁 全角文字：最大 167 字

コード	キャラクターセット	桁数
Data Matrix	ASCII データ、 バイナリーデータ（マルチバイト文字）、 上記の混在	英数字：最大 2335 字 数字：最大 3116 桁 バイナリーデータ：最大 1555 バイト

● 1 次元バーコードの検出条件

項目	条件
バーコードの縦幅	10～30mm
バーコードの横幅(長さ)	300mm 以下
バーコードの余白	バーコードの周囲 5mm 以上 (ITF の左端および右端は、5mm 以上か、細エレメント幅の 6 倍以上のどちらか大きい方)
バーコードの色	黒色
バーコードの下地色	白色
解像度	200dpi 以上
バーコードの角度	水平、垂直
細エレメント幅/モジュール幅	● UPC-A/EAN 8 (JAN 8)/EAN13 (JAN 13) 300dpi 以上の場合：0.264mm 以上 300dpi 未満の場合：0.30mm 以上 ● Code 3 of 9/Code 128 (EAN 128)/Codabar (NW-7) 300dpi 以上の場合：0.20mm 以上 300dpi 未満の場合：0.30mm 以上 ● ITF 300dpi 以上の場合：0.254mm 以上 300dpi 未満の場合：0.30mm 以上
太エレメント幅	14.0mm 以下 (UPC-A/EAN 8 (JAN 8)/EAN13 (JAN 13)/Code 128 (EAN 128)では、最も太い(4 モジュール相当の) エレメント幅です)
キャラクタ間ギャップ	● UPC-A/EAN 8 (JAN 8)/EAN13 (JAN 13)/Code 128 (EAN 128)/ITF キャラクタ間ギャップは存在しません。 ● Code 3 of 9/Codabar (NW-7) 細エレメント幅以上で、1.52mm または細エレメント幅の 3 倍のどちらか大きい方以下

● PDF417 の検出条件

項目	条件
モジュールの横幅	0.3 ～ 2.0mm

項目	条件
モジュールの縦幅（高さ）	モジュールの幅の 3 倍以上推奨 （モジュールの幅の 2 倍未満となる場合は認識されません）
バーコードの横幅（全体幅）	25.5 ～ 170.0mm
バーコードの縦幅（高さ）	10.0 ～ 30.0mm
バーコードの余白	バーコードの周囲 5mm 以上
バーコードの色	黒色
バーコードの下地色	白色（用紙によっては正しく認識されない場合があります）
解像度	200 ～ 600dpi
バーコードの角度	水平、垂直
エラー訂正レベル	0/2/3/4/5/6/7

● QR コードの検出条件

項目	条件
モデル	モデル 2 ただし、ECI モード、FNC1 モードは未対応
バージョン	2 ～ 10
セルサイズ	0.28mm 以上（0.40mm 以上を推奨）
バーコードの余白	上下左右 4 セル以上
バーコードの色	黒色
バーコードの下地色	白色（用紙によっては正しく認識されない場合があります）
解像度	300 ～ 600dpi
バーコードの角度	水平、垂直
エラー訂正レベル	L/M/Q/H

● Data Matrix の検出条件

項目	条件
バージョン	ECC200 ただし、FNC1 モード（GS1）は未対応
セルサイズ	0.50mm 以上
バーコードの余白	上下左右 2 セル以上
バーコードの色	黒色
バーコードの下地色	白色（用紙によっては正しく認識されない場合があります）

項目	条件
解像度	300 ～ 600dpi
バーコードの角度	水平、垂直

ヒント

- バーコードが傾いている場合は正しく認識されない場合があります。
- 同一のシートを複数回使用すると、紙がよごれて認識精度が低下する場合があります。正しく認識しない場合や、紙がよごれた場合は、再度、新しいシートに交換して使用してください。
- 1次元バーコードの認識文字列に制御コード [NUL] が含まれていた場合、" "（スペース）に置換されます。
- 2次元コードの認識文字列に制御コード [NUL] が含まれていた場合、[NUL] 以降のデータは認識されません。
- 制御文字の認識が失敗した場合、認識結果が以下のようになることがあります。
 - 制御文字が数値として認識される。
 - 制御文字だけでなく、それ以外の文字の一部も全く認識されず、無視される。
- 読み取り原稿が傾いている場合やスキャナードライバーの設定、バーコードの印刷状態によっては、正しく認識できない場合があります。事前に正しく認識されることを確認したあと、運用してください。
- バーコードを使用し、読み取り性能が劣化した場合、検出するバーコードの種類を少なくするか、バーコードを検出する領域を小さくすることで、読み取り性能が改善することがあります。
- 認識領域に 1次元バーコードと 2次元コードの両方が存在する場合、1次元バーコードの認識が優先されます。
- 認識領域に複数のバーコードが存在する場合や、QRコードを縦または横に分割した場合、どのバーコードが有効になるかは不定となります。複数のバーコードが存在する場合は、必ず検出したいバーコードだけが含まれるように領域を設定してください。
- 認識領域に複数のバーコードが存在する場合、バーコードが認識される順番は不定です。
- バーコードの下地色、およびバーコードの色が白、黒以外の色の場合でも、認識が可能になる場合があります。カラーのバーコードを認識させる場合には、事前にカラー原稿の読み取り条件を調整して正しく認識されることを確認したあと、運用してください。
- バーコードが小さい場合や、エラー訂正レベルの指定によっては、認識結果に誤りが発生する場合があります。
- 検出できるバーコード数は、最大 20 個です。

異常通知メールの仕様

異常通知メールの仕様について説明します。

項目	説明
発生日時	イベントが発生した日時が表示されます。
発生元	イベントの発生元が表示されます。
IP アドレス	読み取りを実行したスキャナーの IP アドレスが表示されます。
スキャナー機種名	読み取りを実行したスキャナーの機種名が表示されます。
シリアル番号	読み取りを実行したスキャナーのシリアル番号が表示されます。
ユーザー名	読み取りを実行したユーザー名が表示されます。
ジョブ名	実行したジョブ名が表示されます。
種別	次に示すイベントログの種別が表示されます。 ● 情報 ● 警告 ● エラー ● エラー(確認済み)
イベントコード	イベントログのイベントコードが表示されます。
メッセージ	イベントログのメッセージが表示されます。

バッチログ通知メールの仕様

バッチログ通知メールの仕様について説明します。

項目	説明
開始日時	読み取りを開始した日時が表示されます。
最終更新日	バッチが最後に更新された日時が表示されます。
シリアル番号	読み取りを実行したスキャナーのシリアル番号が表示されます。
スキャナー名	読み取りを実行したスキャナー名が表示されます。
IP アドレス	読み取りを実行したスキャナーの IP アドレスが表示されます。
ユーザー名	読み取りを実行したユーザー名が表示されます。
ジョブ名	実行したジョブ名が表示されます。
画像データ状態	次に示すスキャナーから転送された画像の状態が表示されます。 ● 削除 スキャナーから転送された画像が保存先に保存され、NX Manager から削除されています。 ● 未削除 バッチ処理が完了せず、スキャナーから転送された画像は NX Manager に保存されています。

項目	説明
	バッチ処理が完了しなかった原因は、「状態」および「説明」を参照してください。 「状態」がエラーのとき、管理者用 Web 画面からバッチを再試行できる場合があります。 詳細は、 NX Manager の管理者用 Web 画面に表示されるバッチログのメッセージ (204 ページ) を参照してください。
バッチ ID	バッチ ID が表示されます。
状態	次に示すバッチの状態が表示されます。 • エラー • 受付中 • 画像処理待ち • 画像処理中 • QC 処理中 • 画像編集待ち • 画像編集中 • ファイル保存待ち • ファイル保存中 • 完了 • キャンセル • エラー(確認済み)
説明	バッチの説明が表示されます。

NX Manager を移行する

- 1 移行前および移行後の NX Manager がインストールされているコンピューターをネットワークから切断します。
- 2 移行前の NX Manager がインストールされているコンピューターで、NX Manager に関するデータおよび NX Manager の Database に関するデータを退避します。
詳細は、[NX Manager に関するデータを退避する \(113 ページ\)](#)および [NX Manager の Database に関するデータを退避する \(114 ページ\)](#)を参照してください。
- 3 移行後の NX Manager がインストールされているコンピューターで、NX Manager に関するデータおよび NX Manager の Database に関するデータを復元します。
詳細は、[NX Manager に関するデータを復元する \(114 ページ\)](#)および [NX Manager の Database に関するデータを復元する \(115 ページ\)](#)を参照してください。
- 4 移行前および移行後の NX Manager がインストールされているコンピューターをネットワークに接続します。

NX Manager をアップグレードする

- 1 コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows Server にログオンします。
- 2 NX Manager をアップグレードするためのインストーラーを入手します。
NX Manager をアップグレードするためのインストーラーの入手方法については、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。
株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
- 3 NX Manager がインストールされているコンピューターをネットワークから切断します。
- 4 NX Manager がインストールされているコンピューターで、NX Manager に関するデータおよび NX Manager の Database に関するデータを退避します。
詳細は、[NX Manager に関するデータを退避する \(113 ページ\)](#)および [NX Manager の Database に関するデータを退避する \(114 ページ\)](#)を参照してください。

ヒント

退避した NX Manager に関するデータおよび NX Manager の Database に関するデータは、アップグレード作業中に異常が発生した場合だけ使用します。
アップグレード作業中に異常が発生した場合は、NX Manager に関するデータおよび NX Manager の Database に関するデータを復元してください。
詳細は、[NX Manager に関するデータを復元する \(114 ページ\)](#)および [NX Manager の Database に関するデータを復元する \(115 ページ\)](#)を参照してください。

- 5 手順 2 で入手した NX Manager をアップグレードするためのインストーラーを起動して、NX Manager をアップグレードします。
- 6 NX Manager がインストールされているコンピューターをネットワークに接続します。

重要

NX Manager をアップグレードしたあと、既存の PaperStream IP ドライバーのプロファイルは、アップグレード前と同じ設定になります。
PaperStream IP ドライバーに追加された設定を使用する場合は、PaperStream IP ドライバーのプロファイルを再度インポートしてください。

ヒント

- バージョン 2.0 以前の NX Manager に同じ名前のプロファイルが複数ある場合、バージョン 2.1 以降にアップグレードすると、同じ名前のプロファイルは、ファイル名の末尾に連番が付与されます。
- NX Manager Database を別サーバーで運用する場合は、NX Manager をアップグレードしたあとで、SQL Server の設定を変更する必要があります。

NX Manager Database を別サーバーで運用する場合の詳細は、スキャナーを購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。
株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターへのお問い合わせ先については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

NX Manager をアンインストールする

- 1 コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows Server にログインします。
- 2 動作しているソフトウェアをすべて終了させます。
- 3 「コントロール パネル」画面を表示します。
「スタート」メニュー→「Windows システムツール」→「コントロール パネル」をクリックします。
- 4 「プログラムのアンインストール」をクリックします。
「プログラムと機能」画面が表示され、インストールされているソフトウェアの一覧が表示されます。
- 5 削除するソフトウェアをクリックします。
 - NX Manager を削除する場合
「PaperStream NX Manager」をクリックしてください。
 - NX Manager Database を削除する場合
「PaperStream NX Manager Database」をクリックしてください。
 - PaperStream IP (TWAIN x64) を削除する場合
「PaperStream IP (TWAIN x64)」をクリックしてください。
- 6 【アンインストール】 ボタンまたは【アンインストールと変更】 ボタンをクリックします。
- 7 アンインストールの確認画面が表示される場合は、【OK】 ボタンまたは【はい】 ボタンをクリックします。
アンインストールが実行されます。

一時的にスキャナーをコンピューターに接続して使用する

スキャナーの運用中に、一時的にスキャナーをコンピューターとの接続（USB 接続）に切り替える方法について説明します。

ヒント

ネットワークトラブルが発生したときや、原稿の読み取り結果を事前に確認したいときなどに、スキャナーをコンピューターに接続して作業を行えます。

コンピューターとの接続（USB 接続）に切り替える【fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270】

- 1 スキャナーの LAN コネクタから LAN ケーブルを抜きます。
- 2 スキャナーの USB コネクタに USB ケーブルを接続します。
- 3 エラーが表示されている場合は、【Stop/Clear】 ボタンを押します。
コンピューターとの接続（USB 接続）に切り替わり、操作パネルに「読み取り可能」が表示されます。

コンピューターとの接続（USB 接続）に切り替える【fi-8150/fi-8250】

- 1 スキャナーの LAN コネクタから LAN ケーブルを抜きます。
- 2 スキャナーの USB コネクタに USB ケーブルを接続します。
- 3 エラーが表示されている場合は、【Scan/Stop】 ボタンまたは【Send to】 ボタンを押します。
コンピューターとの接続（USB 接続）に切り替わります。

SMTP サーバーの認証方式に「Exchange Online OAuth 2.0 認証」を使用する

SMTP サーバーの認証方式に「Exchange Online OAuth 2.0 認証」を使用する場合の手順を説明します。

- 1 「環境設定」をクリックし、「SMTP 設定」の「サーバー認証が必要」チェックボックスにチェックを入れます。
画面項目の詳細は「設定」画面 (196 ページ)を参照してください。
- 2 「認証方式」で「Exchange Online OAuth 2.0 認証」を選択します。
- 3 【取得】 ボタンをクリックし、アクセス許可コードを取得します。
アクセス許可コードが表示され、【取得】 ボタンが【更新】 ボタンに変わります。
- 4 【コピー】 ボタンをクリックし、アクセス許可コードをコピーします。
- 5 【認証開始】 ボタンをクリックし、画面の指示に従って認証します。
認証が完了すると、「認証状態」に「完了」と表示され、認証したユーザー名が表示されます。

ヒント

アクセス許可コードが使用できない場合や、新しいアクセス許可コードが必要な場合は、以下の手順で再認証します。

- 1 【更新】 ボタンをクリックし、アクセス許可コードを取得します。
- 2 【コピー】 ボタンをクリックし、アクセス許可コードをコピーします。
- 3 【再認証】 ボタンをクリックし、画面の指示に従って認証します。
認証が完了すると、「認証状態」に「完了」と表示され、認証したユーザー名が表示されます。